

大学概要 2020-2021

公立大学法人



名桜大学

MEIO UNIVERSITY

公立大学法人 名桜大学 MEIO UNIVERSITY



# 平和・自由・進歩

名桜大学は、平和を愛し、自由を尊重し、人類の進歩と福祉に貢献する国際的教養人と専門家の育成を建学の精神とする。

名桜大学は、1994年、沖縄県並びに名護市を中心とする北部12市町村によって設立された沖縄県唯一の公設民営の私立大学であったが、2010年「平和・自由・進歩」の建学の精神はそのまま継承され、公立大学に生まれ変わることとなった。

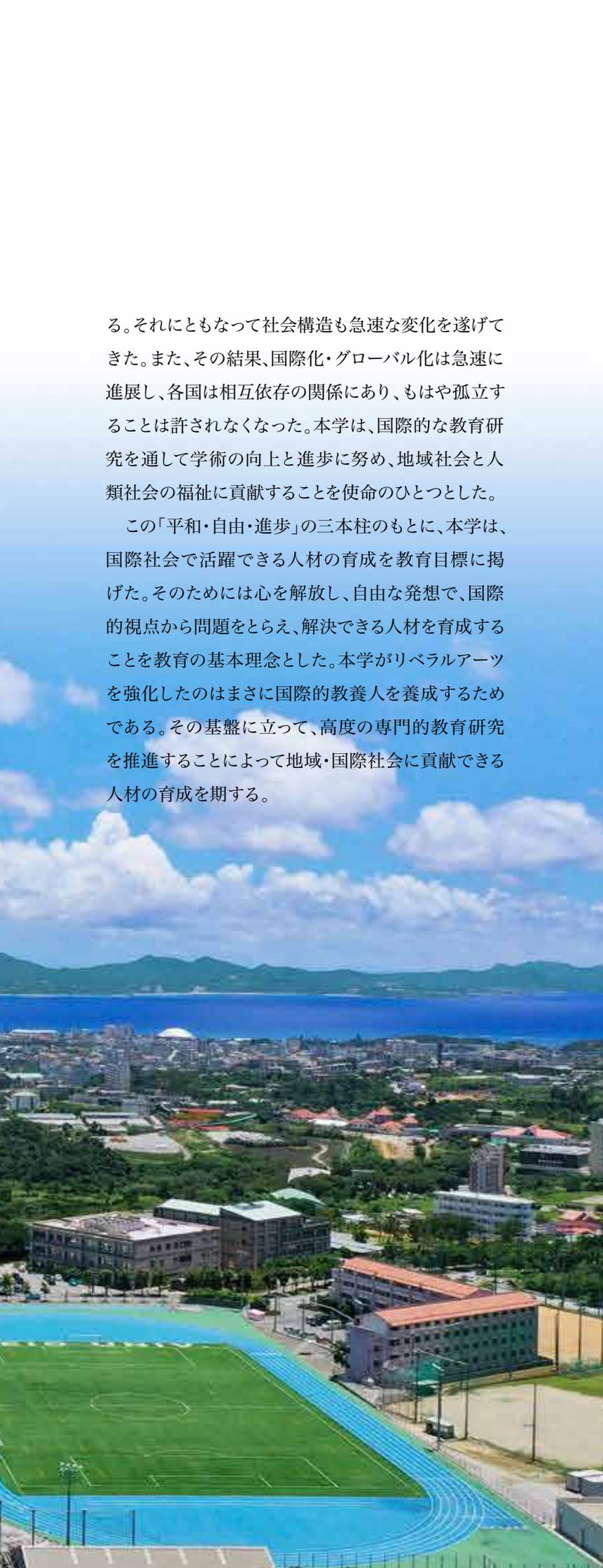
人類の歴史をたどると、それは戦争の歴史であったといっても過言ではなく、それだけに人類の平和を希求する精神は絶えることはない。とりわけ第二次大戦最後の激戦地と化したわが沖縄県においては、熾烈な地上戦が展開され、われわれの祖先が築きあげた文化遺産がことごとく破壊され、20万余の尊い生命が失われた。従って県民の平和に対する願望は強烈なものがある。

本学は、そのような歴史的背景を踏まえ、世界平和の維持と構築に貢献することによって、平和発信

の使命を果たすべく創設された。

平和なくして自由はありえない。自由への闘争もまた人類の歴史そのものであった。独裁者からの解放、圧制からの解放、社会的階級からの解放、差別からの解放、貧困や飢餓からの解放を目指して人類は戦ってきた。わが国でも自由を圧迫する封建社会や軍国主義の時代を経験した歴史があり、本県の場合は沖縄戦に続き27年間にわたる米国の占領と施政権下におかれた。本学が最も強調していることは、いうまでもなく言論・信条・学問の自由であることは論を俟たない。自由なくして大学の教育研究の進展はありえない。

平和と自由なくして人類社会の進歩はありえず、平和と自由なくして文化の創造はありえない。現代の科学の進歩は著しく、人類の幸福に多大な貢献をしてい



る。それにともなって社会構造も急速な変化を遂げてきた。また、その結果、国際化・グローバル化は急速に進展し、各国は相互依存の関係にあり、もはや孤立することは許されなくなった。本学は、国際的な教育研究を通して学術の向上と進歩に努め、地域社会と人類社会の福祉に貢献することを使命のひとつとした。

この「平和・自由・進歩」の三本柱のもとに、本学は、国際社会で活躍できる人材の育成を教育目標に掲げた。そのためには心を解放し、自由な発想で、国際的視点から問題をとらえ、解決できる人材を育成することを教育の基本理念とした。本学がリベラルアーツを強化したのはまさに国際的教養人を養成するためである。その基盤に立って、高度の専門的教育研究を推進することによって地域・国際社会に貢献できる人材の育成を期する。

## CONTENTS

建学の精神	01
学長あいさつ	03
社会連携の考え方	04
大学創設の経緯	05
沿革	06
組織図／教職員数	07
役員／教育研究審議会委員／経営審議会委員／大学役員	08
大学の使命・目的および全学的三つのポリシー	09
名桜大学の教養教育	15
国際学群	19
■ 国際文化専攻	
■ 語学教育専攻	
■ 経営専攻	
■ 情報システムズ専攻	
■ 診療情報管理専攻	
■ 観光産業専攻	
人間健康学部	23
■ スポーツ健康学科	
■ 看護学科	
助産学専攻科	27
大学院	29
■ 国際文化研究科 修士（国際文化）	
■ 看護学研究科 修士（看護学）	
■ 国際文化研究科 博士（国際地域文化）	
環太平洋地域文化研究所	35
外部資金	36
地域貢献Ⅰ	37
地域貢献Ⅱ	39
校舎等施設	41
在学生状況	45
志願者・入学・卒業・修了状況	48
進路・就職状況／教員免許取得状況	51
大学間交流	53
学費・奨学金等	55
クラブ・サークル	57
学年暦	58
名桜大学のFD活動／自己点検・評価、認証評価の取組み	59
交通アクセス	60



# 未来への跳躍

名桜大学学長 砂川昌範 Masanori Sunagawa, MD, Ph.D.

Profile : 宮古島市(旧平良市)出身。琉球大学医学部医学教育企画室講師を経て、  
2015年 名桜大学人間健康学部看護学科教授、  
2017年 名桜大学人間健康学部長、  
2020年 第6代学長に就任。専攻は循環器生理学・イオンチャネル学。

【略歴】 1992年 琉球大学医学部医学科卒業(MD)  
1996年 琉球大学大学院医学研究科形態機能系専攻修了(Ph.D.)  
1996-2000年 米国シンシナティ州立大学医学部分子細胞生理学客員研究員  
日本生理学会評議員、日本病態生理学会評議員、日本臨床生理学会評議員  
【著書】 『Heart Physiology and Pathophysiology 第4版』(Academic Press, 2001年)  
『Cardiovascular Toxicology 第3版』(Taylor & Francis, 2001年)

【原著論文】  
Habutobin releases plasminogen activator (u-PA) from bovine pulmonary artery endothelial cells. *Toxicol.* 34: 691-699, 1996.  
The concentration of u-PA and PAI-1 antigen in tissue extracts of nasopharyngeal carcinoma. *Eur Arch Otorhino-laryngol.* 254: 277-80, 1997.  
Lack of Tyrosine Protein Kinase Regulation of L-Type  $Ca^{2+}$  Channel Current in Transfected Cells Stably Expressing  $\alpha_{1C-b}$  Subunit. *Jpn J Physiol.* 51: 115-119, 2001.  
Electrophysiologic characteristics of atrial myocytes in levo-thyroxine-treated rats. *Thyroid.* 15: 3-11, 2005.  
Cloning of habutobin cDNA and antithrombotic activity of recombinant protein. *Biochem Biophys Res Commun.* 362: 899-904, 2007.  
その他60編

【受賞】 公益財団法人沖縄県医科学研究財団研究奨励賞(2006年)、  
一般財団法人生命医学研究振興財団 ライフサイエンスプロジェクト助成(2015年)

名桜大学は、1994年に沖縄本島北部12市町村と沖縄県の出資による公設民営の大学として設立され、2010年に公立大学法人名桜大学として生まれ変わりました。大学の名称は、全国で一番早く(毎年1月下旬)桜前線が出発する所で、桜で有名な土地柄であることから命名されました。本学は、沖縄本島北部の緑豊かな山原(やんばる)の自然豊かな環境に囲まれています。2016年、沖縄本島北部地域に国内33箇所目として「やんばる国立公園」が誕生しました。学生の構成は沖縄県出身者と県外出身者がほぼ半々、北は北海道から南は石垣島まで、全国から学生が集まって切磋琢磨しています。また、多くの留学生も本学で学んでおり、キャンパスには多言語、多文化世界が出現しています。学問、異文化体験、さらにアウトドアスポーツなど様々な事にチャレンジできる最適な場所です。

### 建学の精神と大学の使命・目的

名桜大学は、平和を愛し、自由を尊重し、人類の進歩と福祉に貢献する国際的教養人と専門家の育成を建学の精神としています。建学の精神は、初代学長東江康治先生と外間守善先生(法政大学沖縄文化研究所長を歴任され、本学の創設に尽力された)との議論から生まれました。東江先生は、外間先生が提案された「自由・進歩」に、自身の戦争などの不幸の経験から「平和」を先頭に加えました。建学の精神に「平和」を入れたことは、沖縄の大学として大きな意味があります。大学は、「人類の普遍的価値」の継承、発展と「新しい価値の創造」に貢献する使命を担っています。本学のシンボルマークである桜の五枚の花びらは、真・善・美・聖・健の人類普遍的価値を象徴しています。大学の営みの最も価値あるものとして、研究があります。研究とは大学における考える機能ともいえます。世界中の大学は創造された新たな知の境界に身を置き、少しでもその最先端(カッティングエッジ)を延伸しようと努力する共同体です。大学の教員は同時に研究者でもあり、それぞれの専門分野で新たな知の生産に日々精進しています。研究から得られた成果は、学生がこの世界で生きていくための糧となる教育に活用されます。

### 「心を解放する」リベラルアーツ教育

情報技術に代表されるテクノロジーの急速な進化や人の移動を含む社会活動のグローバル化の進展により社会は益々複雑化しています。このような予測困難な時代では、自ら学び続ける能力が必要とされます。本学は、学生が自ら学修目標を設定し、主体的な学修と適切な自己評価をとおして、さらに必要な学びを深化させ、目標を達成することのできる自律的な学修者を育成します。そのための多くの仕組みが準備されています。

名桜大学の教育の特徴にリベラルアーツ教育があります。リベラルアーツという言葉は、七自由科(文法、修辞学、弁証法の三学および算術、幾何、天文学、音楽の四科)を起源とする学問体系を指し、自由人の修めるべき学問とされてきました。ここでいう自由とは、他者から与えられるものではなく、自らが言葉を正しく使い、論じ、真実でないことから解放されることを意味しています。日本語では教養教育と訳されることが多く、大学の教育課程では教養教育科目として組み込まれています。名桜大学の教養教育科目は、自由な発想のもと、入学後から将来に亘って自律的に学ぶ基本的能力として、批判的な読書ができる能力、批判的な思考能力、論理的な思考と判断ができる能力などを重点的に育成し、それに続く専門基礎教育、専門教育の礎としています。

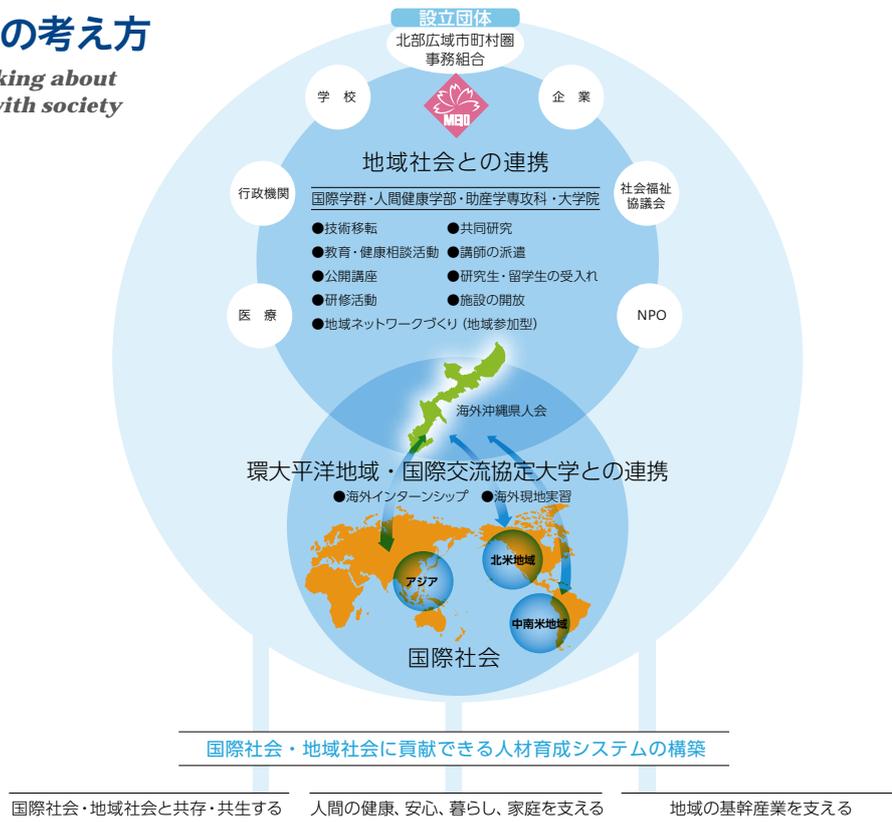
### 学生による学生のためのピアサポート・ピアチュータリング

学生の居場所づくりや人間関係づくりを支援する学生ピアサポート団体(ウェルナビ、S-CUBE)は新入生支援、就職・キャリア形成支援を顧問教員や担当職員と連携して行っています。大学の入り口から出口まで、本学の学生は、先輩・後輩コミュニティを大切にして、相互支援を行っています。

また、学生の学びが止まることなく前進し続けるための学習支援として(1)母語を中心とする文章力を養成するライティングセンター、(2)数理的な判断・分析力を養成する数理学習セ

# 社会連携の考え方

Ways of thinking about  
Connecting with society



ンター、(3)外国語を用いたコミュニケーション力を養成する言語学習センター、(4)基礎的・汎用的な情報活用能力を養成するICT学習センターの四センターがあり、学生会館(SAKURAUM)に設置されています。学習支援センターとして4つの異なる部門を設けている大学は国内ではとても珍しいことです。そこでは、センター教員から研修を受けた大学院生・学部生からなるチューターが全ての学生を対象に正課の講義と連携しながら学習支援(ピアチュータリング)を行っています。

## 国際社会で活躍できる人材の育成

本学は、国際社会で活躍できる人材の育成を教育目標に掲げています。2020年3月現在、本学が教育・研究の対象としている米国や中南米、アジアなど海外17カ国・1地域、44大学と交流協定を締結し、積極的に国際交流事業を展開しています。海外協定校への交換留学制度は、留学期間1年間を上限とし、本学に在籍したまま留学できます。毎年60名程の長期留学生がおり、国公立大学の中でもその数の多さが10位にランクされています。また教養教育カリキュラムでは夏季休暇を活用し、1、2年次の希望学生を対象にした1週間の海外スタディツアー(中国コース、シンガポールコース)や国際学群観光産業専攻の実習科目である2週間の海外インターンシップ(台湾、韓国、マレーシアなど)、さらに国際学群国際文化専攻では、3年次以上の学生を対象とした約2週間程度の現地実習(国外、国内、県内)等にも積極的に取り組んでいます。このような貴重な経験は大学での学びの原動力となり、探究心や共働力を涵養することになります。

## 課外活動と地域ボランティア

本学の大きな特徴は、教室を越えて体験する課外活動や地域でのボランティア活動がとても盛んであることです。例えば、世界中から訪れる外国人観光客への語学サポートや朝市を活用した地域住民の健康チェックなどがあります(ヒトの活用)。

名桜大学は、沖縄本島北部の緑豊かな山原(やんばる)の自然豊かな環境に囲まれています。平成28年9月15日には国内33箇所目として沖縄本島北部地域に「やんばる国立公園」が誕生しました。勉学やアウトドアスポーツなど様々な事にチャレンジできる最適な場所です(モノの活用)。学生たちは学内外で特色ある課外活動を展開しています。たとえば、本土の盆踊りにあたる沖縄の伝統芸能のひとつで、旧盆の夜に踊りながら練り歩くエイサーがありますが、名桜大学には迫力の演舞で知られる名桜エイサーがあります。地元名護市での旧盆道じゅねーや大阪市大正区で行われるエイサー祭りへの参加のみならず、国際交流基金日中交流センター大学生交流事業に採択され、日本を飛び出し中国・成都にてエイサーや食文化など沖縄の伝統文化を紹介するという偉業を達成しました(コトの活用)。このような活動の中で、多くの友人と出会い、深い洞察を得て、学生は世界を広げ成長していきます。このように、地域を通しての貴重な経験は大学での学びの原動力となり、探究心や共働力を涵養することになります。

## 感化力を有する大学教育

学生は、在学中に多くの教員と語り、多くの友人と出会い、深い洞察を得て、自身の世界を広げ成長していきます。神学者ジョン・ヘンリー・ニューマンがアイルランドカトリック大学学長就任の講演で、次のように語っています。「教師の人間としての感化力は、教育制度なくともその力を示すことができるが、教育制度は、教師の感化力なくしてはその機能を果たさない。感化力あるところに生命(life)あり、感化力なきところに生命(life)なし」。情報通信技術や人工知能(AI)導入が益々促進され、インターネットを介してありとあらゆる知識(情報)を入手できる今、大学が存在し得る意義として、感化力が求められています。名桜大学は、これからも感化力を有する大学教育を通して、国際社会で活躍できる人材を育成していきます。

## 大学創設の趣旨

### 1. 国際的な教育・研究の場の創設

沖縄県は、地理的、歴史的要因により、東アジア、東南アジア、オセアニア、南北アメリカとの古くからの密接な関係のもと、特色ある地域文化を発展させてきた。

このような沖縄県の特性を活かして環太平洋地域を結ぶ高等教育の場を創設することは極めて意義深いものであり、これらの地域に関する教育・研究を発展させる必要がある。また、これらの地域からの留学生、移民の子弟及び帰国子女の受入れも積極的に対応する必要がある。

### 2. 産業振興への対応・沖縄県北部の地域活性化

沖縄県では、観光立県として数多くのリゾート開発プロジェクト等が県全域において計画、運営されているが、この分野に関わる人材が不足しており、高等教育機関もない。そのため、『観光産業』に関する教育・研究体制を整備し、地域産業界のニーズに対応する必要がある。

沖縄県北部圏域は、情報や人材の都市集中などに伴い、人口が流出し過疎化傾向にある。大学設置は、この地域の人口の定着と地域文化の向上そして地域振興に大きな意義をもつものである。

### 3. 教育の機会均等

沖縄県は、地理的、経済的、家庭慣習等の理由により県外への進学が困難な場合がある。また、長期にわたり本土から分離されていたため高等教育の機会に恵まれなかった社会人が多い。学習機会の拡大を図り、生涯教育の要請に応える必要がある。

沖縄県内の4つの大学はいずれも県中南部に立地し、その収容率は対18歳人口比が10.7%で極めて低い(平成2年度。全国平均は20.7%)。北部地域に大学を新設することで通学の利便性を高めるとともに、収容力拡大及び進学率上昇を図る。

出典 名護総合学園設立準備委員会(1992)「大学等設置の趣旨及び特に設置を必要とする理由を記載した書類」『名桜大学設置認可申請書』

## 創設経緯

1979(昭和54)年	名護市に『大学誘致懇話会』設置
1980(昭和55)年 6月	名護市議会が『名護市大学誘致委員会設置条例』制定が可決
1983(昭和58)年 12月	『名護市大学誘致委員会』による答申。「地域総合短期大学」誘致を目標とすることを提案(北部12市町村で組織する『北部広域市町村圏協議会』に検討を委託)
1984(昭和59)年	『北部広域市町村圏協議会』で大学誘致について検討
1985(昭和60)年	『北部広域市町村圏協議会』が「やんばる市民大学の展望」と題し報告書を提出(キャンパスを持たない「市民大学」を提案)
1986(昭和61)年	名護市で大学誘致を断念し大学設置を検討
1991(平成3)年 3月29日	名護市議会が『名護市総合学園設立審議会条例』制定が可決
5月1日	名護市に『総合学園設立準備室』発足
7月5日	名護市に『名護市総合学園設立審議会』発足。大学の基本計画、敷地等について検討
7月14日	『学校法人名護総合学園設立準備委員会発起人会』開催 『学校法人名護総合学園設立準備委員会』発足 『学校法人名護総合学園設立準備事務局』発足
1992(平成4)年 3月31日	『名護市総合学園設立審議会』より名護市長へ大学の基本計画及び大学の位置・敷地の選定について答申
4月30日	「学校法人名護総合学園寄附行為認可申請」及び「名桜大学設置認可申請」[一次申請](文部大臣へ)
7月31日	「学校法人名護総合学園寄附行為認可申請」[追加書類提出]及び「名桜大学設置認可申請」[一次申請追加書類提出](文部大臣へ)
1993(平成5)年 5月6日	名桜大学敷地造成工事地鎮祭
6月30日	「学校法人名護総合学園寄附行為認可申請」及び「名桜大学設置認可申請」[第二次書類提出](文部大臣へ)
7月8日	名桜大学校舎等建設工事合同安全祈願祭
12月21日	学校法人名護総合学園寄附行為認可及び名桜大学設置認可(文部大臣)

## 創設経費

創設経費	6,629,357千円		
補助金	6,629,357千円	沖縄県	1,030,000千円
		名護市	5,299,057千円
		北部11町村	300,300千円

## 学校法人名護総合学園設立準備委員会

1991(平成3)年 7月14日 発足  
1993(平成5)年12月21日 学校法人名護総合学園設立認可及び名桜大学設置認可(文部大臣)

氏名	所属・職名(当時)	備考
東江 康治	琉球大学名誉教授	委員長
外間 守善	法政大学文学部教授	副委員長
阿部 充夫	放送大学学園理事長	委員
瀬名波榮喜	琉球大学教育学部教授	委員
山里 清	琉球大学理学部教授	委員
崎間 晃	琉球銀行代表取締役頭取	委員
稲嶺 恵一	株式会社りゅうせき代表取締役社長・沖縄県経営者協会会長	委員
比嘉 幹郎	プセナリゾート株式会社代表取締役	委員
比嘉 茂政	恩納村長・北部市町村会会長	委員
安里 進	名護市議会議長	委員
比嘉 鉄也	名護市長	委員

1994(平成6)年	4月1日	名桜大学開学(国際学部 国際文化学科、経営情報学科、観光産業学科)
	4月15日	第1回名桜大学入学式(入学生384人)
1995(平成7)年	4月15日	名桜大学開学記念式典
	9月8日	名桜大学総合研究所設立(平成8年4月1日開所)
1997(平成9)年	10月14日	名桜大学後援会設立
	11月28日	名桜大学完成記念植樹
1998(平成10)年	3月20日	第1回名桜大学卒業式
1999(平成11)年	4月29日	第50回沖縄県植樹祭が名桜大学で開催
	7月17日	名桜大学開学5周年式典
2000(平成12)年	6月30日	名桜大学大学院国際文化研究科設置認可申請
	12月21日	名桜大学大学院国際文化研究科設置認可(文部大臣)
2001(平成13)年	4月1日	名桜大学大学院国際文化研究科開設
	4月1日	名桜大学言語学習センター設立・開室
	5月23日	名桜大学メディアネットワークセンター設立(同年6月1日開室)
2002(平成14)年	2月16日	名桜大学同窓会設立
2003(平成15)年	3月20日	名桜大学大学院国際文化研究科第1期生 修了式
2004(平成16)年	9月29日	名桜大学人間健康学部設置認可申請
	10月1日	北部生涯学習推進センター設立・開設
	12月21日	名桜大学開学10周年記念式典
2005(平成17)年	1月28日	名桜大学人間健康学部設置認可(文部科学大臣)
	4月1日	名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科開設
2006(平成18)年	6月20日	名桜大学人間健康学部看護学科設置認可申請
	7月26日	名桜大学教員養成支援センター設立・開室
	7月31日	名桜大学国際学群国際学類設置届出(国際学部3学科を改組)
	11月30日	名桜大学人間健康学部看護学科設置認可(文部科学大臣)、平成19年4月1日付けをもって保健師助産師看護師法第19条第1号、同第21条第1号に定める学校として指定(文部科学大臣)
2007(平成19)年	4月1日	名桜大学国際学群国際学類(国際文化専攻、語学教育専攻、システムマネジメント専攻、情報システムズ専攻、観光産業専攻)開設
	4月1日	名桜大学人間健康学部看護学科開設
2009(平成21)年	4月1日	名桜大学国際学群国際学類に診療情報管理専攻を設置、システムマネジメント専攻を経営専攻に名称変更
	5月8日	名桜大学数理学習センター設立・開室
	12月21日	北部広域市町村圏事務組合より公立大学法人名桜大学設立認可申請(沖縄県知事へ)、学校法人名護総合学園より名桜大学の設置者変更認可申請及び学校法人解散認可申請(文部科学大臣へ)
2010(平成22)年	3月19日	公立大学法人名桜大学設立認可(沖縄県知事)、名桜大学の設置者変更認可/設置者変更に伴う学校法人名護総合学園解散認可(文部科学大臣)
	4月1日	名桜大学の設置者変更による学校法人名護総合学園の解散、北部広域市町村圏事務組合が設立した公立大学法人名桜大学により設置された名桜大学の開学
	5月25日	名桜大学大学院看護学研究科設置認可申請
	10月29日	名桜大学大学院看護学研究科設置認可(文部科学大臣)
2011(平成23)年	2月23日	名桜大学教養教育センター設立(同年4月1日開設)
	4月1日	名桜大学大学院看護学研究科開設
2012(平成24)年	10月24日	名桜大学健康・長寿サポートセンター設立(同年12月21日開設)
2013(平成25)年	3月21日	看護実践教育研究センター設立(同年4月1日開設)
	4月1日	北部生涯学習推進センター内にエクステンションセンター開設
	4月1日	名桜大学保健センター開設(保健室を廃止・拡充)
2014(平成26)年	12月21日	名桜大学開学20周年・公立大学法人化5周年記念式典
2015(平成27)年	3月19日	名桜大学国際交流センター設立(同年4月1日開設)
	3月31日	名桜大学国際学部(国際文化学科、経営情報学科、観光産業学科)廃止
	4月1日	名桜大学リベラルアーツ機構設立(教養教育センターを廃止・拡充)
	4月1日	名桜大学ライティングセンター設立(2016(平成28)年5月16日開室)
2016(平成28)年	10月13日	名桜大学助産学専攻科 保健師助産師看護師法第20条第1号に定める学校として指定申請
2017(平成29)年	1月31日	名桜大学助産学専攻科 平成29年4月1日付けをもって保健師助産師看護師法第20条第1号に定める学校として指定(文部科学大臣)
	4月1日	名桜大学助産学専攻科開設
	4月1日	地域連携機構開設(エクステンションセンターを廃止・拡充)
2018(平成30)年	3月30日	名桜大学大学院国際文化研究科国際地域文化専攻(博士後期課程)設置認可申請
	8月31日	名桜大学大学院国際文化研究科国際地域文化専攻(博士後期課程)設置認可(文部科学大臣)
2019(平成31)年	4月1日	名桜大学大学院国際文化研究科国際地域文化専攻(博士後期課程)開設

## 歴代理事長・学長・客員教授等

歴代理事長	歴代	氏名	就任
	初代	東江 康治	平成6年 4月 1日
第2代	比嘉 鉄也	平成12年 1月 1日	
第3代	嘉数 啓	平成22年 4月 1日	
第4代	比嘉 佑典	平成24年 6月 1日	
第5代	比嘉 良雄	平成26年 4月 1日	
第6代	高良 文雄	平成31年 4月 1日	

歴代学長	歴代	氏名	就任
	初代	東江 康治	平成6年 4月 1日
第2代	東江 平之	平成12年 4月 1日	
第3代	安田 晃次	平成15年 4月 1日	
第4代	瀬名波 榮喜	平成18年 2月17日	
第5代	山里 勝己	平成26年 4月 1日	
第6代	砂川 昌範	令和2年 4月 1日	

名誉学長	称号記番号	氏名	称号授与年月日
	第1号	東江 康治	平成13年 5月30日
第2号	瀬名波 榮喜	平成26年 6月28日	

名誉客員教授	称号記番号	氏名	称号授与年月日
	第1号	外間 守善	平成15年 9月24日
第2号	島袋 嘉昌	平成20年10月22日	
第3号	比嘉 幹郎	平成20年10月22日	
第4号	平 恒次	平成25年11月17日	

名誉教授	称号記番号	氏名	称号授与年月日
	第1号	伊江 朝章	平成11年 4月30日
第2号	古波倉 正偉	平成11年 4月30日	
第3号	外間 完和	平成11年 4月30日	
第4号	平敷 浩邦	平成11年 4月30日	
第5号	島袋 哲	平成12年 4月21日	
第6号	山里 将晃	平成12年 4月21日	
第7号	宮平 進	平成12年 4月21日	
第8号	小谷 達男	平成12年 4月21日	
第9号	上江洲 均	平成15年 9月24日	
第10号	東江 平之	平成15年 9月24日	
第11号	上間 隆則	平成15年 9月24日	
第12号	山里 清	平成15年 9月24日	
第13号	瀬名波 榮喜	平成16年 5月27日	
第14号	屋比久 浩	平成16年 5月27日	
第15号	宮城 真宏	平成16年 5月27日	
第16号	芝野 治郎	平成18年 5月29日	
第17号	安井 祐一	平成18年 5月29日	
第18号	新城 敏男	平成20年 6月18日	
第19号	山端 清英	平成20年 6月18日	
第20号	石川 清治	平成20年 6月18日	
第21号	内間 直仁	平成21年 4月28日	
第22号	西平 守孝	平成21年 4月28日	
第23号	竹内 伸也	平成21年 4月28日	
第24号	杉本 英夫	平成21年 4月28日	
第25号	久手堅 憲一	平成21年 4月28日	
第26号	ガイエル、ティモシー C.	平成23年 6月 3日	
第27号	シーキンス、ドナルド M.	平成23年 6月 3日	
第28号	清水 則之	平成23年 6月 3日	
第29号	吉川 安一	平成24年 6月23日	
第30号	眞喜屋 尚美	平成24年 6月23日	
第31号	高宮城 繁	平成24年 9月 4日	
第32号	仲地 清	平成25年 6月22日	
第33号	中村 誠司	平成25年 6月22日	
第34号	上間 篤	平成25年 6月22日	
第35号	宮里 捷	平成25年 6月22日	
第36号	レイサムキャロライン C.	平成26年 6月28日	
第37号	平識 善盛	平成27年 6月28日	
第38号	稲垣 綱代	平成27年 6月28日	
第39号	金城 祥教	平成28年 3月26日	
第40号	金城 やす子	平成29年 3月29日	
第41号	金城 利雄	平成29年 3月29日	
第42号	山里 勝己	令和2年 4月 1日	
第43号	朴 在徳	令和2年 4月 1日	

客員教授	氏名
	小和田 恆
川嶋 辰彦	
山谷 正己	
西平 守孝	
船戸 高樹	
吉原 真理	
ゲーリー・Y・オキヒロ	
フランク・シュアート	
根路銘 国昭	
野村 一成	
我那覇 宗孝	
佐藤 優	
中路 重之	
我部 政男	



# 役員／教育研究審議会委員／ 経営審議会委員／大学役職員

Officers/  
Education and Research Council Members/  
Management Council Members/  
University Executive staff

## 役員(理事・監事)

令和2年5月1日現在

役職	氏名	所属先役職
理事長	高良 文雄	公立大学法人名桜大学理事長
副理事長	砂川 昌範	名桜大学学長
理事	鈴木 啓子	名桜大学副学長
理事	金城 秀郎	名護市副市長

役職	氏名	所属先役職
理事	岸本 能子	名護市母子寡婦福祉会会長
理事	仲間 一	金武町長
監事	宮里 猛	開法律事務所 弁護士
監事	原田 泰人	やんばる会計事務所 公認会計士・税理士

## 教育研究審議会委員

令和2年5月1日現在

役職	氏名	所属先役職
議長	砂川 昌範	名桜大学学長
委員	鈴木 啓子	名桜大学副学長
委員	新垣 裕治	名桜大学国際学群長
委員	奥本 正	名桜大学人間健康学部部長
委員	高嶺 司	名桜大学図書館長

役職	氏名	所属先役職
委員	仲尾次 洋子	名桜大学環太平洋地域文化研究所長
委員	波照間 永吉	名桜大学大学院国際文化研究科長(博士後期課程)
委員	中村 浩一郎	名桜大学大学院国際文化研究科長(修士課程)
委員	永田 美和子	名桜大学大学院看護学研究科長(修士課程)
委員	小番 達	名桜大学リベラルアーツ機構長

## 経営審議会委員

令和2年5月1日現在

役職	氏名	所属先役職
議長	高良 文雄	公立大学法人名桜大学理事長
委員	砂川 昌範	名桜大学学長
委員	鈴木 啓子	名桜大学副学長
委員	山城 耕政	名桜大学事務局長
委員	荻堂 盛秀	前名桜大学後援会会長

役職	氏名	所属先役職
委員	比嘉 克雄	北部広域市町村圏事務組合事務局長
委員	比嘉 幹郎	ザ・テラスホテルズ特別顧問・名桜大学名誉客員教授
委員	宮里 好一	医療法人タビック沖縄リハビリテーション病院理事長
委員	新垣 力太	新垣産業株式会社代表取締役社長

## 大学役職員

令和2年5月1日現在

氏名	職名
高良 文雄	理事長
砂川 昌範	学長・副理事長
鈴木 啓子	副学長(研究担当)
林 優子	副学長(教育担当)
新垣 裕治	国際学群長
奥本 正	人間健康学部部長
小番 達	リベラルアーツ機構長
高嶺 司	附属図書館長
仲尾次 洋子	環太平洋地域文化研究所長
波照間 永吉	大学院国際文化研究科長(博士後期課程)
中村 浩一郎	大学院国際文化研究科長(修士課程)
永田 美和子	大学院看護学研究科長(修士課程)
大城 凌子	学長補佐(COI担当)
高安 美智子	学長補佐(北部地域教育担当)
金城 正英	学長補佐(企画戦略担当)
木村 堅一	学長補佐(大学教育質保証・評価担当)
渡慶次 正則	国際学群国際文化教育研究学系長
木村 堅一(再掲)	国際学群経営情報教育研究学系長
宮城 敏郎	国際学群観光産業教育研究学系長
高瀬 幸一	人間健康学部スポーツ健康学科長
横川 裕美子	人間健康学部看護学科長

氏名	職名
屋良 健一郎	国際学群国際文化専攻長
フィーウェル,ノーマン	国際学群語学教育専攻長
金城 亮	国際学群経営専攻長
佐久本 功達	国際学群情報システムズ専攻長
木村 堅一(再掲)	国際学群診療情報管理専攻長
伊良皆 啓	国際学群観光産業専攻長
島田 友子	助産学専攻科長
渡慶次 正則(再掲)	外国語教育主任(言語学習センター長)
高安 美智子(再掲)	数理学習センター長
大峰 光博	ライティングセンター長
天願 健	メディアネットワークセンター長
板山 勝樹	教員養成支援センター長
大城 真理子	保健センター長
大谷 健太郎	国際交流センター長
前川 美紀子	地域連携機構長
大城 凌子(再掲)	健康長寿サポートセンター長
清水 かおり	看護実践教育研究センター長
平野 貴也	広報室長
佐久本 功達(再掲)	IR室長
高安 美智子(再掲)	北部教育研修センター長
山城 耕政	大学事務局長

# 大学の使命・目的および全学的 **三つのポリシー**

## 国際社会で活躍できる人材育成

名桜大学は、建学の精神「平和・自由・進歩」を基本理念とし、「国際社会で活躍できる人材の育成」を教育目標として、次のような人材を育成することを目指します。

1. グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語力、母語によるライティング力）、数理的分析能力、ICT 活用力を持った人材
2. 豊かな教養と専門性、総合的な判断力と論理的な思考力、創造性、協調性、積極性、自立性、主体性を併せ持ち、生涯学び続けることができる人材
3. 自由な発想のもと、俯瞰的に問題を把握し解決する能力を有し、知性と感性のバランスのとれた円満な人格を備えた国際的教養人

このような人材を育成するために、以下の能力を身につけた学生に学位を授与します。

### I ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

### II カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力（英語を含む外国語、母語によるライティング力）、数理的分析能力、ICT 活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を 4 年間かけて育成できるカリキュラムを編成する。
2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う。
3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、批判的・論理的な思考力を育成する。
4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う。

名桜大学の教育目標を達成するために、本学に入学を希望する人には以下のことを求めます。

### III アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢をもっていること。
2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること。
3. 入学を希望する学群・学部・学科等の特徴を正しく理解し、その教育課程で学ぶために必要な知識・技能を持っていること。

# 国際学群の三つのポリシー

国際学群は、「平和・自由・進歩」の建学の精神に基づいた幅広い教養を持ち、言語文化、経営情報および観光産業分野で国際的に活躍する人材を育成します。

## I ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

### I-(1) 国際文化専攻／語学教育専攻

▶ 国際学群(国際文化専攻／語学教育専攻)は、以下の能力を身につけた学生に学士(国際文化学)の学位を授与します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力
5. 高度な言語運用能力と多文化理解力を兼ね備え、地域社会や国際社会に貢献する力

### I-(2) 経営専攻／情報システムズ専攻／ 診療情報管理専攻

▶ 国際学群(経営専攻／情報システムズ専攻／診療情報管理専攻)は、以下の能力を身につけた学生に学士(経営情報学)の学位を授与します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性に加え、優れた実践力
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力と組織運営力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力と自己検証力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現するとともに、調整し統合する力
5. 社会変化や科学技術の革新を数量的に分析し、評価する力

### I-(3) 観光産業専攻

▶ 国際学群(観光産業専攻)は、以下の能力を身につけた学生に学士(観光産業学)の学位を授与します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力
5. 社会の変化に対応し、地域社会や国際社会において観光産業の発展に貢献する力

## II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

### II-(1) 国際文化専攻／語学教育専攻

▶ ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力(英語を含む外国語力、母語によるライティング力)、数理的分析能力、ICT活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を4年間かけて育成できるカリキュラムを編成する。
2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う。
3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、批判的・

論理的な思考力を育成する。

4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う。
5. 沖縄を含む国内外の諸地域における言語と文化の体系的学習を行い、知識を実践する機会として実習科目を配置する。
6. 専門知識や技術を統合し、問題解決力と創造力を育成するため、卒業研究を実施し、丁寧な個別指導を行う。

### II-(2) 経営専攻／情報システムズ専攻／ 診療情報管理専攻

▶ ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力(英語を含む外国語力、母語によるライティング力)、数理的分析能力、ICT活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を4年間かけて育成できるカリキュラムを編成する。
2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う。
3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、批判的・論理的な思考力を育成する。
4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う。
5. 学生が自主的に計画・行動・検証・改善できる実習・演習を重視したカリキュラムを編成する。

### II-(3) 観光産業専攻

▶ ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力(英語を含む外国語力、母語によるライティング力)、数理的分析能力、ICT活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を4年間かけて育成できるカリキュラムを編成する。
2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う。
3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、批判的・論理的な思考力を育成する。
4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う。
5. 地域社会や国際社会で観光産業の発展に貢献できる人材を育成するため、観光ビジネスや観光政策、環境・エコツーリズム、観光文化などの専門科目を設置する。

## III アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

▶ 国際学群の教育目標を達成するために、本学群に入学を希望する人には以下のことを求めます。

1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること。
2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること。
3. 国際学群の特徴を正しく理解し、高等学校教育における教科(英語、数学、国語、理科、社会等)の内容をバランスよく修得していること。

# 人間健康学部スポーツ健康学科の三つのポリシー

スポーツ健康学科は、健康に生きるために、人間の「からだ」と「こころ」や人間をとりまく「社会」について科学的に探究し、知・徳・体のバランスのとれた能力を備え、健康寿命の延伸に寄与できる健康支援人材を育成します。

## I ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

▶ スポーツ健康学科は、以下の能力を身につけた学生に学士(スポーツ健康学)の学位を授与します。

1. 高い倫理観を持ち、社会人として必要な幅広い教養およびスポーツ健康科学分野における専門的知識・技能
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見・設定し、批判的・論理的に思考・判断しつつ解決する力。また、その内容をわかりやすく表現する力
4. 多様な視点を尊重し、協働して問題を解決していくために必要なチームワークやリーダーシップ
5. 心身ともに健康に生きるため、自己の可能性を肯定的に考え、自らを律しながら、主体的・計画的に行動する力

## II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

▶ ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力(英語を含む外国語力、母語によるライティング力)、数理的分析能力、ICT活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を4年間かけて育成できるカリキュラムを編成する。
2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う。

3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、他者との対話や議論を通して批判的・論理的な思考力を育成する。
4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、3年次および4年次における卒業研究演習を必修科目と位置づけ、卒業論文等により最終評価を行う。
5. スポーツおよび健康に関する専門基礎科目群を配置する。専門性を高めるため、2年次から「スポーツ領域」または「健康領域」を選択し、より探究的な専門科目群を配置する。

## III アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

▶ スポーツ健康学科の教育目標を達成するために、本学科に入学を希望する人には以下のことを求めます。

1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること。
2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること。
3. スポーツ健康学科の特徴を正しく理解し、高等学校教育における教科を全般的に修得していること。また、スポーツ健康科学に必要な保健および体育の内容について基礎的・基本的な知識および技能を身につけていることが望ましい。
4. 健康を科学的視点から探究し、地域社会や国際社会において健康づくりを支援する意欲があること。
5. スポーツ科学や健康科学に興味・関心があり、大学においても習慣的な運動や健康づくりの意欲があること。

# 人間健康学部看護学科の三つのポリシー

看護学科は、人間としての尊厳・健康に生きる権利を擁護し、自己評価能力・自己教育力を身につけ、広く社会に貢献できる看護職者を育成します。

## I ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

▶ 看護学科は、以下の能力を身につけた学生に学士(看護学)の学位を授与します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性を兼ね備え、生命の尊厳と人権を尊重し擁護する力
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続けるための生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力を身につけ、人々の健康と福祉に寄与する力
4. 多様な視点を尊重し、自らの考えをわかりやすく表現する力
5. 看護を必要とする人を全人的に捉え、科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する力
6. 自律性と参画力を備え、関連する専門職者および地域と協働・連携する力

## II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

▶ ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 豊かな教養と高度な専門知識を統合しつつ、グローバル化に対応できるコミュニケーション力(英語を含む外国語力、母語によるライティング力)、数理的分析能力、ICT活用力、現代社会の諸問題を解決する能力を4年間かけて育成できるカリキュラムを編成する。
2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う。
3. 全ての年次に地域社会や国際社会の課題に取り組む演習科目を配置することで、自立した主体的な学びを促すとともに、他者との対話や議論を通して批判的・論理的な思考力を育成する。

4. 全ての学生を対象として教育課程における学習成果の中間評価を行うとともに、卒業論文等により最終評価を行う。
5. 看護学の専門基礎教育科目および専門性を探求する専門教育科目を適切に配置する。
6. 4年間を通して学生主体・参画型の少人数教育を実施し、「自己との対話」「他者との対話」「地域社会との対話」を通して自己教育力を育む。
7. 専門的な知識・技術を統合し、看護の専門性を発展させる能力や態度を育む。

### Ⅲ アドミッション・ポリシー(入学受入方針)

▶ 看護学科の教育目標を達成するために、本学科に入学を希望する人には以下のことを求めます。

1. 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること。
2. 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを様々な方法で創造的に表現できること。
3. 看護学科の特徴を正しく理解し、文系・理系に偏ることなく高等学校教育における基礎的な学力を身につけていること。なお、生命科学の基礎となる生物、化学については、基礎的な知識を身につけておくことが望ましい。

## 助産学専攻科の三つのポリシー

助産学専攻科は安心して健康な子どもを産み育てられる地域づくりに貢献する助産師を育成します。

### I ディプロマ・ポリシー (学生が修了時に持つべき能力)

▶ 助産学専攻科では、以下の能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定する。

1. 思いやりのある豊かな人間性を培い、すべての人の生命の尊厳を守り、権利を擁護できる能力。
2. 思春期の健康教育をはじめとする女性のライフサイクル各期におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する支援ができる能力。
3. 離島・へき地の地理的特性を踏まえた周産期における母子及び家族の健康課題の支援ができる能力。
4. 高度化する周産期医療に対応できる助産診断技術を持ち、産む人のニーズを尊重した満足で安全な分娩介助が自立してできる能力。
5. 保健・医療・福祉・行政との連携を図り、協働して継続的な支援ができる能力。
6. 助産師としての責任と義務を認識し、グローバルな視点で地域・国際社会に貢献できる能力。
7. 社会の変化を敏感に察知し、生涯にわたり自己の資質の向上に努める能力を身につけ、助産学の発展に貢献できる能力。

### II カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成・実施方針)

▶ 助産学専攻科では、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成している。

#### ○編成方針

1. 助産学基礎領域では、生命尊重・倫理観を深めながら、沖縄のケアリング文化を理解し、保健・医療・福祉関係者との協働・連携について学ぶ。
2. 助産学実践領域では、現代社会における女性や子どもを取り巻く状況や、沖縄県が抱える周産期課題への理解を深め、課題を焦点化できる力を修得する。また、女性の生涯を通じて、リプロダク

ティブヘルス/ライツに焦点を当てて支援する健康教育技法を修得する。助産学実習では、最新の周産期医療および助産技術を学習し、対象の幅広いニーズに応えられる問題解決能力、実践能力を高める。

3. 助産学関連領域では、国際社会を視野に入れて、女性とその家族のライフサイクルに応じた健康支援を自律して実践できる力を修得する。また、科学的探究心および研究能力を培い、生涯にわたり自己の資質の向上に努める力を修得する。

#### ○実施方針

1. 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現力、コミュニケーション力など、社会生活において必須となる汎用的な能力を養成するために、1年を通して学生主体・ディスカッションを主軸とした教育を実施する。
2. 助産学専攻科専任教員のほか、妊娠期における超音波診断、新生児の蘇生などの演習など、様々な講師による授業を展開して、充実した実習環境で助産実践力を培う。
3. 助産学実習においては、周産期を中心に、地域・国際社会での助産師活動や助産管理など、助産師としての技術、知識を修得する。
4. 獲得した専門知識や助産技術を統合し、問題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や態度を育成するために、1年を通して研究の基礎的知識を培う。

### Ⅲ アドミッション・ポリシー(入学受入方針)

▶ 助産学専攻科では、本学の教育理念に共感し、自ら考え行動しようとする、以下のような学習意欲の高い人を求める。

1. 助産に関心を持ち生命誕生に真摯に向き合える誠実な人
2. 相手の身になって考えることができ、周囲と積極的に協力し合える人
3. 目標に向かって粘り強く、自ら進んでチャレンジできる人
4. 将来助産師として社会に貢献できる意欲のある人
5. 社会に対し積極的に関わり、専門職としての役割を果たし、地域医療、国際貢献に意欲のある人

# 国際文化研究科(修士課程)の三つのポリシー

国際文化研究科(修士課程)は、グローバル化、情報化が進展する国内外の諸課題に対応できる高度専門職業人および研究能力を有する人材を育成します。

## I ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

▶ 国際文化研究科(修士課程)は、以下の能力を身につけた大学院生に修士(国際文化)の学位を授与します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性に支えられた高度な研究能力
2. 地域社会や国際社会の課題に取り組み探求し続ける生涯学習力
3. 自由な発想で課題を発見し、批判的・論理的に思考し、解決する力
4. 多様な文化と視点を理解・尊重し、自らの研究成果を明晰に表現する力

## II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

▶ ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 豊かな教養、深い専門性、高い倫理性に支えられた高度な研究能力を育成できるカリキュラムを編成する。
2. 科目のナンバリングを行い、単位の実質化を図り、多様な教育方法を実践しながら国際基準に沿った教育を行う。
3. 全ての学生を対象として、修士論文の中間評価を行うとともに、修士論文審査に合格することを修了の条件とする。
4. 国際的かつ学際的な広い視野と洞察力を持って問題を解決するために、総合的・科学的に取り組むことができる高度な能力を養うことを目的として、「共通科目」および以下の各領域の「教育研究領域科目」を配置する。

### 【言語文化教育研究領域】

沖縄と日本に加え、環太平洋地域(アジア、中南米、北米地域)の言語と文化を探究する人材を養成するための科目等を配置する。

### 【社会制度政策教育研究領域】

グローバル化、情報化が進展する国内・国際社会において、広い視野と洞察力を持って問題を解決する人材を養成するための科目等を配置する。

### 【経営情報教育研究領域】

グローバルな立場から地域社会や国際社会の問題を俯瞰的・客観的に分析し、地域の経済、産業、情報化を担う人材を養成するための科目等を配置する。

### 【観光環境教育研究領域】

観光に関する学術的な研究を通じて、沖縄をはじめとする諸地域が直面する問題に総合的かつ科学的に取り組む人材を養成するための科目等を配置する。

### 【健康科学教育研究領域】

国際的かつ学際的な視野と人間の健康に関する総合的な知識・技能を養うとともに、自立的・創造的な研究に取り組む人材を養成するための科目等を配置する。

## III アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

▶ 国際文化研究科(修士課程)の教育目標を達成するために、本研究科に入学を希望する人には以下のことを求めます。

1. 強い研究意欲を有し、何事にも主体的に取り組む姿勢を持っていること。
2. 専門分野の基本的な研究手法を活用し、現代社会の課題を正確に理解・分析したうえで、その結果を様々な方法で創造的に表現できること。
3. 本研究科教育課程で学ぶために必要な基本的知識・技能を有すること。

なお、各教育研究領域では次のような人材を求める。

### 【言語文化教育研究領域】

言語を中心とする人間の文化に関する独創的な研究を計画し遂行することを目的とし言語や文化の領域でグローバルな視点から貢献できる人材

### 【社会制度政策教育研究領域】

グローバル化が進展する現代社会を背景にして、国内諸問題に関心を寄せ、歴史、政治、経済、法律、国際関係などの視点から究明し、その解決策を提言する政策立案者、研究者を目指す人材

### 【経営情報教育研究領域】

専門的職業人として地域の経済、産業、情報化、人材育成に貢献できる高い研究意欲を有する人材

### 【観光環境教育研究領域】

観光を文化、亜熱帯性・海洋性・島嶼性に関する環境、政治経済の視点から総合的に研究するために、観光学についての基盤となる知識を有する人材

### 【健康科学教育研究領域】

人間の健康とスポーツの諸科学についての基本的な理解と、今後の展開について考究し、地域社会や国際社会の健康に関して、健康科学の視点から学術的に探求できる人材

# 看護学研究科(修士課程)の三つのポリシー

看護学研究科は、健康問題を創造的に解決できる専門性の高い看護実践能力と教育研究能力を有する人材を育成します。

## I ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

▶ 看護学研究科(修士課程)は、以下の能力を身につけた大学院生に修士(看護学)の学位を授与します。

1. 科学的思考と倫理的・文化的感受性に基づいた研究能力
2. 地域社会や看護の課題に取り組み、看護学の専門性を探求する生涯学習力
3. 地域の特性を踏まえ保健医療ニーズを分析し、多職種と協働し看護を実践する能力
4. グローバルな視野で、看護の役割を創造する能力

## II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

▶ ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)であげた能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 看護専門職として実践・研究を遂行するにあたり、基盤となる批判的・論理的思考力を育成するために、共通必修科目と共通選択科目を配置する。
2. 看護実践および研究の質の向上に資する専門科目を配置し、志向する専門分野(基盤看護学分野、臨床看護学分野)における看護学の専門性を探求する能力を育成する。
3. 研究方法、研究デザイン、研究計画等、研究に必要な基礎を修得する演習科目(専門演習)および修士論文を作成する研究科目(特別研究)を配置する。
4. 修士論文の中間評価を行うとともに、修士論文審査に合格することを修了の条件とする。

## III アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

▶ 看護学研究科(修士課程)の教育目標を達成するために、本研究科に入学を希望する人には以下のことを求めます。

1. 看護学の発展に向けて、自ら進んで取り組む意欲と探求する姿勢を持っていること。
2. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズに応えるため、高度な知識、看護実践能力および研究能力の習得を目指していること。
3. 看護実践・教育・研究を通して地域社会や国際社会に貢献する意思を持っていること。
4. 本研究科教育課程で学ぶために必要な基本的知識・技能を有していること。

# 国際文化研究科(博士後期課程)の三つのポリシー

国際文化研究科 国際地域文化専攻(博士後期課程)は、普遍的研究課題に取り組み、その成果を生かし研究者として活躍する能力を有する者及び専門分野に加えて環太平洋地域に関する幅広い学識と国際感覚を有する者の養成を目指します。

## I ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)

▶ 国際文化研究科国際地域文化専攻(博士後期課程)は、以下の要件を満たした大学院生に博士(国際地域文化)の学位を授与します。

1. 国際地域文化という観点から、高度の外国語運用能力を駆使し、沖縄(琉球)・アジアと(ハワイを含む)南北アメリカに特化した環太平洋の地域文化の研究を行い、地域社会や国際社会において活躍できる能力を有すること。
2. 本学が立脚する琉球・沖縄の歴史や文化の研究を深化し、その成果を沖縄の地域創生に役立て、国内外の学生や研究者との共同研究を通じて国際感覚を磨くとともに、先端的な理論と知識を創造する能力を有すること。

## II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

▶ ディプロマ・ポリシーで示した能力を育成するため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 「国際」「地域」「文化」を基本理念としてカリキュラムを編成し、高度の外国語運用力を含む研究能力を備えた研究者を育成する。
2. 総合的な判断能力を育成し、グローバルと地域の視点を備えた研究者を育成するために、研究分野間の学際的な連携を図る。
3. 博士の学位にふさわしい高度な専門知識と学識の習得及び研究遂行能力の醸成を目的に共通科目を編成する。
4. 専門科目は、複数の専門分野に関連する研究課題にも応用できる研究能力を醸成することを目的に、沖縄(琉球)・アジア研究及び(ハワイを含む)南北アメリカ研究に関する専門科目及び関連科目により編成する。
5. 博士論文執筆のための指導を行う研究指導科目を編成する。

## III アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

▶ 国際文化研究科国際地域文化専攻(博士後期課程)に入学を希望する人には以下のことを求めます。

1. 環太平洋の地域及び文化的課題に関して、課題解決に向けて理論的分析及び評価を行うための修士課程修了程度の専門的知識と研究能力を有していること。
2. 高度な外国語運用能力及び総合的判断力を有し、他者との対話を通して現代社会の課題を理解・分析した上で、研究成果を多様な方法で表現する能力を有すること。
3. 多様な文化と視点を理解・尊重し、自らの研究成果を明晰に表現する能力を有すること。

### 名桜大学の教育目標

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき深く専門の学芸を教授研究し、幅広い知識を授け、世界の文化の進展と人類の平和に貢献しうる人材を育成することを目的とする。

### 教養教育の目標

自由な発想のもと、批判的・論理的に思考し分析して、俯瞰的に問題を解決する能力を培うとともに、知性と感性のバランスのとれた円満な人格を備えた国際的教養人を育成することを目標とする。

### 共通コア科目の目標と科目群

共通コア科目は、大学で学ぶことの意義について考えるとともに、市民的生活のために必要となる基盤を形成することを目標とする。

科目区分	目 標	科 目
アカデミックスキル	アカデミックスキル科目は、大学生活に適応し、学習意欲を向上させ、主体的に学ぶための基礎的なスキルを修得することを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教養演習Ⅰ～Ⅱ</li> <li>● コンピュータ・リテラシー</li> <li>● アカデミックライティングⅠ～Ⅱ</li> <li>● アカデミックスキル特別講義</li> </ul>
ライフデザイン	ライフデザイン科目は、学生が主体性と創造性を持ち、大学で学ぶことの意義を理解し、生涯の生活設計を描き、実現するために必要な知識や方法を修得することを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学と人生</li> <li>● キャリアデザイン</li> <li>● プロジェクト学習</li> <li>● ライフデザイン特別講義</li> </ul>
思想と論理	思想と論理科目は、ひとつの視点にとらわれることなく、批判的・論理的に思考し分析して、俯瞰的に問題を解決する能力を培うことを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間と環境</li> <li>● 生命と倫理</li> <li>● 科学入門</li> <li>● 論理学</li> <li>● 現代思想</li> <li>● 思想と論理特別講義</li> </ul>
沖縄理解	沖縄理解科目は、自らが生活する沖縄の歴史、文化、社会、自然を理解し、国際人として情報を発信できる能力を養うことを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沖縄学</li> <li>● 沖縄の自然</li> <li>● 沖縄の言語</li> <li>● 沖縄理解特別講義</li> </ul>
健康スポーツ	健康スポーツ科目は、健康・体力を増進するための健康科学に関する知識やその実践能力を獲得し、精神的及び身体的にバランスのとれた人間性を有する人材の育成を目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体育実技Ⅰ～Ⅱ</li> <li>● 健康・スポーツ科学</li> <li>● 健康スポーツ特別講義</li> <li>● 健康スポーツ特別実技</li> </ul>

### 共通選択科目の目標と科目群

共通選択科目は、ひとつの視点にとらわれることなく、人間存在の成り立ちを基本から考察し、平和の価値についての理解を深め、目的実現のために主体的に行動し、国際化社会の中で問題解決能力を養うことを目標とする。

科目区分	目 標	科 目
外国語	外国語科目は、グローバル化する社会の中で、外国語を理解し、異文化理解やコミュニケーション能力を身につけ情報を発信できる基礎的な学力の修得を目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ベーシック・イングリッシュ</li> <li>● イングリッシュ・コミュニケーション</li> <li>● アカデミック英語基礎 ● ドイツ語Ⅰ～Ⅱ</li> <li>● フランス語Ⅰ～Ⅱ ● スペイン語Ⅰ～Ⅱ</li> <li>● ポルトガル語Ⅰ～Ⅱ ● 中国語Ⅰ～Ⅱ ● 韓国語Ⅰ～Ⅱ</li> <li>● タイ語Ⅰ～Ⅱ ● プラクティカルイングリッシュⅠ～Ⅱ</li> <li>● ビジネス英語Ⅰ～Ⅱ ● 外国語特別講義Ⅰ～Ⅱ</li> </ul>
国際理解	国際理解科目は、グローバル化、情報化する社会の中で、多様な価値観や考えを理解し、主体的に行動できる資質を身につけることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際学入門 ● 異文化接触論 ● 国際社会と日本</li> <li>● 人権と平和 ● 国際コミュニケーション論</li> <li>● 海外スタディツアー ● 国際理解特別講義</li> </ul>
人文科学	人文科学科目は、人間と文化の歴史及び人間としてのあり方や生き方を理解し、知性と感性のバランスのとれた円満な人格を形成する上で必要な知識を身につけることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音楽の歴史と鑑賞 ● 美術の歴史と鑑賞 ● 哲学</li> <li>● 心理学 ● 歴史学 ● 教育学 ● ヒューマンケアリング</li> <li>● 文学 ● 人文科学特別講義</li> </ul>
社会科学	社会科学科目は、様々な角度から社会のしくみを理解し、社会の一員であることの自覚と責任感を持ち生きていく力を涵養することを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法学 ● 憲法 ● 政治学 ● 経済学</li> <li>● 経営学 ● 社会学 ● 人文地理学 ● 社会科学特別講義</li> </ul>
自然科学	自然科学科目は、自然や物の成り立ちについて理解し、論理的に思考する能力を身につけるとともに、情報化する社会に参画する知識を養うことを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 数学 ● 統計学 ● 物理学 ● 化学 ● 生物学</li> <li>● 地学 ● 情報科学と社会 ● 自然科学特別講義</li> </ul>

リベラルアーツ機構は、豊かな感性と知性を持った円満な人格形成を目指す「名桜大学型リベラルアーツ教育」を推進し、多様化する学生のニーズに対応するリベラルアーツ教育プログラムの開発・運用および学習支援を図ることを目的として平成27年に開設した。

## リベラルアーツ機構の業務内容

リベラルアーツ機構の目的を達成するために(1)全学的な教養教育課程の運営、(2)全学的な学生の教育交流の実施、(3)全学的な学習支援の実施、(4)全学的な教養教育方法の改善、(5)全学的な教養教育課程の運営並びに学習支援実施の自己点検・評価、(6)全学的な教養教育課程の学年暦、時間割編成、登録等の手続き、(7)リベラルアーツ機構および学習支援センターの運営、(8)学生会館SAKURAUM運営に係る連絡調整などを行うとともに、学習支援を行う言語学習センター、数理学習センター、ライティングセンターを設置し運用している。

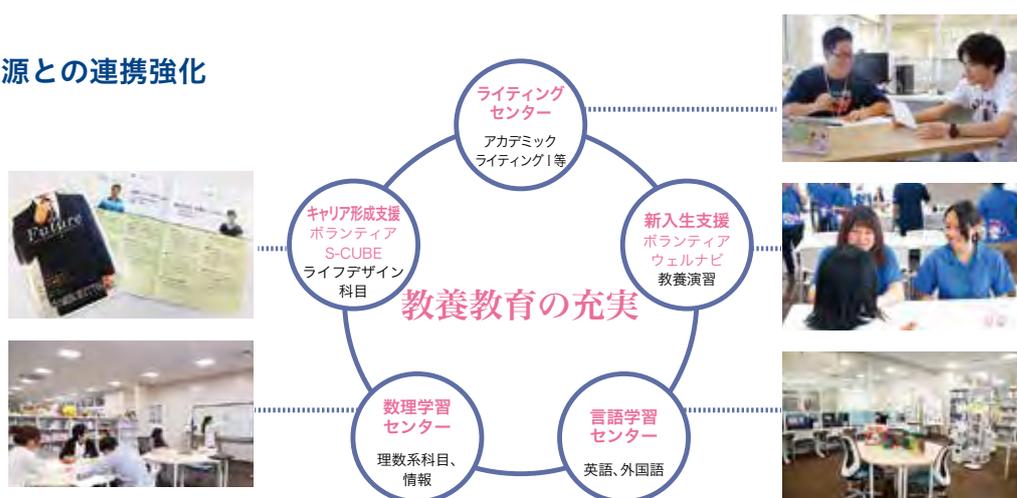
また、機構の活動の拠点を学生会館SAKURAUMに置き、教養教育の運営、学習支援センターの運営、学習環境づくりのマネジメントが連携できる体制を整えつつある。

## 教育スタッフ

令和2年5月1日現在

リベラルアーツ機構	機 構 長	小 番 達 教授(国際学群所属)
	副 機 構 長	玉 井 なおみ 教授(人間健康学部看護学科所属)
言語学習センター	セ ン タ ー 長	渡 慶 次 正 則 教授(国際学群所属)
	副センター長	メーガン クックルマン 上級准教授(国際学群所属)
	担 当 教 員	笠 村 淳 子 准教授(リベラルアーツ機構所属)
数理学習センター	セ ン タ ー 長	高 安 美 智 子 教授(リベラルアーツ機構所属)
	副センター長	立 津 慶 幸 准教授(リベラルアーツ機構所属)
ライティングセンター	セ ン タ ー 長	大 峰 光 博 上級准教授(人間健康学部スポーツ健康学科所属)
	副センター長	坪 井 祐 司 上級准教授(国際学群所属)
	担 当 教 員	真 喜 屋 美 樹 准教授(リベラルアーツ機構所属)
外国語教育	中 国 語 教 育	山 城 智 史 上級准教授(リベラルアーツ機構所属)
	英 語 教 育	タ ン エ ン ハ イ 准教授(リベラルアーツ機構所属)
		玉 城 本 生 助教(リベラルアーツ機構所属)

## 学内資源との連携強化



リベラルアーツ機構は教養教育カリキュラムや学習支援プログラムの開発と運用に力を入れている。具体的には、新入生の学力把握(入学時共通テスト)、GPA制度の実質化、授業評価アンケートに基づく新カリキュラムの評価・点検を、科目責任教員とともに推進し、また、教養教育を担う教員用のFD(ファカルティ・ディベロップメント)や、専任講師と非常勤講師との連携の場をつくることに力を入れている。通常の授業時間だけでは十分な教育効果は保証されないため、先輩・後輩コミュニティを活用した学習支援・学生支援プログラムの開発と運用、そしてTA・SA制度の点検・改善を積極的に行い、着実に教養教育および学習支援のPDCAサイクルを運用することが目標となっている。



Language Learning Center(通称LLC)は国際語としての英語と留学生を対象とした日本語の二つをメインに、名桜大学で科目を開設しているスペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、タイ語、ドイツ語、フランス語などの辞書や資料を揃え、学生の自主学習の場を提供している。

また、留学生を含む専属の学生チューターが利用者へのアドバイス、自主学習へのサポートを行っている。トレーニングプログラムを修了した学生チューターは、米国のいくつかの教育機関からなるCollege Reading and Learning Association(CRLA)が発行認定しているInternational Tutor Training Program Certification(ITTPC)のチューター資格を得ることができる。学生チューターによる語学ワークショップも開催しており、利用者に異文化交流も提供している。



Mathematical Science Learning Center(通称MSLC)。数理学習センターでは学生チューターが中心となり、数理系科目を中心とした学習支援とセンター運営を行っている。数理系の教科書、参考書、問題集の他、SPI問題集や公務員試験対策問題集等も取り揃えており、施設内で自習をしながらチュータリングを受けることもできる。また、センターにはSPSSが使えるPCがあり、卒業研究の資料作りなどにも気軽に利用できる。

数理学習センターの特色は、数理系科目の授業連携で学期末試験までの15週を通して計画的・継続的に受講生の学習支援を行っていることである。数学が苦手な学生にとって、心強い学習支援センターとなっている。さらに、専任教員とチューターが協働でチューター育成プログラムを開発し、チューターの数理能力の向上と社会人基礎力の向上を目指して、毎週チュータートレーニングを行っている。チューター同士の学び合いでMSLC運営を継承・発展させているのもMSLCの特徴である。



ライティングセンター(Meio Writing Center:MWC)は、日本語によるアカデミック文章を書く力の向上をサポートすることを目的として2016年に開設された。MWCは学生のレポートや論文作成をサポートし、よりよい文章を作成していく場所である。本学MWCは学部生がチューターとなり、学部生のレポート支援を行うという全国的にも珍しいセンターである。

MWCのチュータリングでは、持ち込まれたレポートを添削するのではなく、対話を通して書き手の考え方や意図を明確化し、より良いレポートの完成を目指している。このようなチュータリングを通して、自立した書き手を育てることがMWCの目標である。

## その他、学生支援機関

### メディアネットワークセンター(MNC)

平成13年6月開設



Media Network Center(通称 MNC)では、情報関連技術を用いて本学の教育・研究に係る情報処理の高度化を推進している。

学内外のネットワーク監視を行い、安全かつ安定したネットワーク環境の提供を実現している他、PC・ソフトウェア操作指導や導入に係る検討を行っている。

また、「アクティブラーニング教室」を設置し、PC やタブレットの貸出、大型モニターを使用し、プレゼンテーションが行える環境を整え、自主学習の推進を行っている。

### 教員養成支援センター 本部棟 2階

平成18年7月開設



教員養成支援センターでは、教職経験豊かなスタッフが教職を希望する学生の支援活動を行っている。1年次から4年次までの体系的な教員養成プログラムを提供し、教育現場に適応した質の高い教育実践者の育成をめざしている。センター内には、教員採用試験対策の関連書籍や教育関連図書等を揃えている。

### 名桜ウェルナビ(ウェルカムナビゲーション) 学生会館 SAKURAUM 4階

平成19年4月開設



ウェルカムナビゲーション(通称 名桜ウェルナビ)は、2年次から4年次の学生ボランティアで構成される新入生支援組織である。主に新入生支援、学内イベントの企画・運営を学生目線で行っている。新入生支援は先輩学生が実際の学校生活での経験をもとに履修や学生生活全般についての相談、教養演習のボランティアチューター、入学式やオープンキャンパスといった学校行事のスタッフ、北部地域の自然環境を活かしたイベントなどを行う。学内イベントとしては全年次を対象とした学内美化活動、名桜杯(草野球大会)、名桜大運動会などの企画・運営を行い、年次・学科間交流を図るとともに学生生活の更なる向上を目指している。

### S-CUBE(キャリア形成支援の学生団体) 学生会館 SAKURAUM 5階

平成22年3月開設



S-CUBE(エス・キューブ)は、「名桜生の名桜生による名桜生のためのキャリア形成支援を行う学生団体」であり、学生の目線でキャリア支援課に対し、学生のキャリア形成に関する提案を行っている。また、キャリアコーチやキャリア支援課と連携し、就活意欲向上のためのイベントやセミナーの企画、名桜生に特化した就活冊子(Future)を発行している。さらに、学生へキャリア開発委員会及びキャリア支援課が提供する「就職ガイダンス」の参加を促すメッセージャー、キャリア支援課及び就職相談員の活用を促すナビゲーターの役割を果たしている。



## 個性豊かな人材の育成を目指す6つの専攻

国際学群は、21世紀地球市民として、「地域社会及び国際社会で活躍できる人材」を育成する。すなわち、地球規模での協調・共生と、一方で国際競争力の強化が求められる時代の中で、柔軟かつ総合的に判断できる能力の育成が重要であるという認識のもとに、多様なニーズに対応できる人材を育てることを教育目標としている。

### 取得できる免許

- 中・高等学校教諭一種免許状(英語)
- 高等学校教諭一種免許状(商業)
- 高等学校教諭一種免許状(情報)

### 取得できる資格

- 観光ビジネス実務士
- 診療情報管理士受験資格

### 目指す進路・就職先

- 公務
- 教育・学習支援業
- 専門・技術サービス業
- 卸売業・小売業
- 流通
- 金融業・技術サービス業
- 情報通信業
- 医療、福祉
- 宿泊業・飲食店
- 生活関連サービス業、レジャー産業
- 中学校教諭(英語)
- 高等学校教諭(英語、商業、情報)
- 診療情報管理士
- 国内外への大学院進学
- その他

### 現地実習・インターンシップ(派遣実績推移)

#### 1. 現地実習派遣学生数(人)

コース	年度		2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
	1996~2012	2013							
中南米コース	669	12	8	—	ポルトガル語コース 2	ポルトガル語コース 0	ポルトガル語コース 5	ポルトガル語コース 4	724
				スペイン語コース 5	スペイン語コース 7	スペイン語コース 4	スペイン語コース 8		
アジアコース	265	23	7	東アジアコース 6	東アジアコース 6	東アジアコース 18	東アジアコース 16	東アジアコース 7	373
				東南アジアコース 6	東南アジアコース 5	東南アジアコース 2	東南アジアコース 0	東南アジアコース 12	
英語圏コース	134	5	6	3	6	2	3	11	170
沖縄・日本コース	130	5	13	10	7	5	15	7	192
日本コース	—	—	12	4	5	1	8	5	35
国際協力コース	9	7	8	13	14	8	12	9	80
教育支援コース	—	9	11	7	10	4	3	8	52
合計	1,207	61	65	49	60	47	66	71	1,626

※国際学部国際文化学科(～平成20年度)・国際学群(平成21年度～)

#### 2. インターンシップ派遣学生数(人)

派遣地	年度		2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
	1996~2012	2013							
県内企業・事業所等	2,190	142	130	131	110	62	127	64	3,030
県外企業・事業所等		2	20	20	12	6	8	6	
合計	2,190	144	150	151	122	68	135	70	2,960

※国際学部経営情報学科・観光産業学科(～平成20年度)、国際学群(経営専攻、情報システムズ専攻、診療情報管理専攻、観光産業専攻。平成21年度～)

#### 3. 海外インターンシップ派遣学生数(人)

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
2001~2012								
平13~平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令和	
	9	5	4	2	7	4	9	78

※国際学部観光産業学科(～平成20年度)・国際学群観光産業専攻(平成21年度～)  
※派遣地: マレーシア、台湾、韓国

### 国際学群教育スタッフ

令和2年5月1日現在

学群長 新垣 裕治

#### 国際文化教育研究学系

教授 板山 勝樹、上江洲 基、嘉納 英明、小嶋 洋輔、小番 達、住江 淳司、高嶺 司、渡慶次 正則、中村 浩一郎、  
ノーマン・フィーウェル、李 鎮榮  
上級准教授 菅野 敦志、坪井 祐司、照屋 理、メーガン・クックルマン、屋良 健一郎  
准教授 上原 なつき、当銘 盛之、半嶺 まどか

#### 経営情報教育研究学系

教授 アリ、ファテヘルアリム.F、大城 渡、木村 堅一、金城 亮、佐久本 功達、田邊 勝義、天願 健、仲尾次 洋子、中里 収、林 優子、宮平 栄治  
上級准教授 アラスーン・ピーターM、大城 真理子  
准教授 上門 要、大城 美樹雄、草野 泰宏

#### 観光産業教育研究学系

教授 新垣 裕治、大谷 健太郎、田代 豊、東恩納 盛雄  
上級准教授 伊良皆 啓、角谷 尚久、許 点淑、宮城 敏郎  
准教授 上原 明、卯田 卓矢、柳 銀珠

(職種内五十音順)



■国際文化専攻

■語学教育専攻

■経営専攻

■情報システムズ専攻

■診療情報管理専攻

■観光産業専攻

### 6つの専攻

#### 国際文化専攻



沖縄県が持つ地理的・歴史的、文化的特性を活用し、アジア、中南米などの環太平洋地域における国際文化の理解と国際協力を担う人材を育成する。

教育分野

- 沖縄・日本文化
- アジア文化
- 中南米文化
- 国際協力

学士(国際文化学)

#### 語学教育専攻



高い日本語力を育成するとともに実践力のある英語コミュニケーション能力を身につけ、国際社会で活躍できる人材を育成する。

教育分野

- 英語コミュニケーション
- 英語教員養成
- 日本語教師養成

学士(国際文化学)

#### 経営専攻



企業経営、地域行政、教育、医療などの諸問題に対する多様なマネジメントに必要な専門的知識と技術を修得した人材を育成する。

教育分野

- 人間行動(心理)
- 企業(経営)
- 情報(情報管理)
- 社会政策(経済・法律)

学士(経営情報学)

#### 情報システムズ専攻



情報活用能力および経営的センス、国際的視野を備え、システム思考に優れ問題解決ができる人材を育成する。

教育分野

- ネットワーク技術
- デジタルコンテンツ
- 情報管理
- システム開発

学士(経営情報学)

#### 診療情報管理専攻



診療録をデータベース化し、病院経営にも参画できる専門的な知識と技術を備え、医療の安心、安全に貢献できる専門職を育成する。

教育分野

- 医学的知識
- 経営管理
- IT
- 診療情報管理

学士(経営情報学)

#### 観光産業専攻



観光が地球規模で展開する中、観光産業および観光振興における社会的ニーズに対応し、地域社会および国際社会に貢献できる実践能力のある人材を育成する。

教育分野

- 観光政策・ビジネス
- 観光文化
- 環境・エコツーリズム

学士(観光産業学)

#### 副専攻 (提供専攻)

副専攻は、他の専攻に所属している学生でも、ある特定の目的に沿って専攻教育科目などの履修を終えると、卒業時にその専門性を認定する制度です。所属している専攻が提供している副専攻は、認定できません。

※副専攻プログラムは卒業要件ではありません。

国際貢献  
(国際文化専攻)

英語  
(語学教育専攻)

ビジネスマネジメント  
(経営専攻)

ネットワーク技術  
(情報システムズ専攻)

システム開発  
(情報システムズ専攻)

情報管理  
(情報システムズ専攻)

デジタルコンテンツ  
(情報システムズ専攻)

観光ビジネス  
(観光産業専攻)

名城大学副専攻  
<地域マネジメント>(—)



### 専門教育科目

#### 学類共通専門教育科目

##### 人文科学系科目

- 日本語理解論
- 日本文化概論
- 文化人類学
- 人間関係論
- 日本語表現論
- 日本史入門

##### 社会科学系科目

- 経営統計学
- 観光学概論
- 地域研究方法論
- 社会調査法
- 経営情報論
- 地域社会論
- 社会心理学

##### 自然科学系科目

- コンピュータ概論
- 情報処理論
- 情報化社会論
- 自然保護論
- 沖縄の天然記念物
- 島嶼環境論
- 情報と職業

#### 専攻専門教育科目

##### 人文科学系科目

- 漢文講読
- 書写・書道概論
- 中級英語リスニング
- 中級オーラルコミュニケーション
- 中級英語講読
- 中級英作文
- 比較芸術論
- 比較宗教論
- 比較思想論
- 日本の歴史
- 英米文化概論Ⅰ
- 英米文化概論Ⅱ
- 異文化コミュニケーション論
- 沖縄地域文化論
- 島嶼文化論
- 観光文化論
- 比較映像文化論
- 言語学概論Ⅰ
- 言語学概論Ⅱ
- 日本語学概論
- 南島歌謡
- 日本語史
- 中南米の言語と文化
- 英語音声学
- 英文法
- イギリス文学
- 沖縄の文学
- 準高等英語リスニング
- 準高等オーラルコミュニケーション
- 準高等英語講読
- 準高等英作文
- 高等英語リスニング
- 高等オーラルコミュニケーション
- 高等英語講読
- 高等英作文
- 観光実用英語Ⅰ
- 観光実用英語Ⅱ
- ビジュアルコミュニケーション入門

- 沖縄の社会
- アジアの宗教
- 国際文化特別講義Ⅰ・Ⅱ
- 語学教育特別講義Ⅰ・Ⅱ
- 言語と文学
- 日本史史料講読
- 観光実用韓国語
- 観光実用中国語
- 中南米の歴史
- 日本古典文学史
- 日本近代文学史
- 日本古典文学概論
- 日本近代文学概論
- 日本の社会
- 日本の宗教
- 移民と異文化
- 中南米の社会
- 地域文化演習
- 現地実習
- アジアの言語
- 英語学概論
- アメリカ文学
- アジアの文学
- アジアの歴史
- アジアの文化
- 通訳技法
- 外書講読
- 小学校英語教育教授論
- 職業指導Ⅰ
- 職業指導Ⅱ
- 日本語教授法
- ティベート
- 現代日本語論
- 日本近代文学論
- 日本古典文学論
- 中南米の民俗
- 英語リサーチ・ライティング
- 日本語教育実践演習

##### 社会科学系科目

- 民法と市民生活
- 簿記原理
- 上級簿記
- 経営学総論
- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 観光産業特別講義Ⅰ・Ⅱ
- 観光学総論
- 地誌学
- レジャー・レクリエーション論
- 観光関連法規
- 会社法
- 行政法
- 西欧経済史
- 財政学
- 沖縄観光
- 観光行動論
- 流通論
- 観光開発論Ⅰ
- マーケティング論
- 観光調査法
- 観光交通論
- 中小企業論
- 原価計算
- 経営組織論
- 経営戦略論
- 会計学原理
- イベント事業論
- エコツーリズムⅠ
- 国際機構論
- ホスピタリティ概論
- 観光事業論
- 国際経済論
- 金融論
- ベンチャービジネス
- 経営特別講義Ⅰ・Ⅱ
- 観光地理学
- 観光産業論
- 経営管理論
- 問題解決の心理学
- 旅行業経営論



## 学際・統合系科目

- 国際学群特別講義
- 国際文化系基礎演習
- 語学教育系基礎演習
- 経営系基礎演習
- 情報システムズ系基礎演習
- 診療情報管理系基礎演習
- 観光産業系基礎演習
- 国際文化専門演習Ⅰ～Ⅳ
- 経営情報専門演習Ⅰ～Ⅳ
- 観光産業専門演習Ⅰ～Ⅳ

## 合計

国際学群の総科目数 353科目  
(教養教育科目 80科目、  
外国人留学生対象科目21科目含)

## 学位

学士 (国際文化学)  
学士 (経営情報学)  
学士 (観光産業学)

## 学位の分野

文学関係  
経済学関係  
社会学・社会福祉学関係

## 卒業要件

教養教育科目	42 単位以上
専門教育科目	56 単位以上
自由選択科目	26 単位以上
卒業要件単位数	合計124単位以上

## 授業期間等

1 学年の学期区分	2 学期
1 学期の授業期間	15 週
1 時限の授業時間	90 分

- 旅行業法と約款
- 人的資源管理論
- 地方自治論
- 国際関係論
- 国際政治論
- 市場調査論
- 情報系インターンシップⅠ
- 病院実務Ⅰ
- 日米関係論
- アメリカ政治外交論
- 交通産業論
- 経済政策
- 観光政策論
- 地域経済学
- 観光経済学
- 観光開発論Ⅱ
- ホテル計画論
- グローバル・ビジネス論
- 産業情報論
- ホスピタリティマーケティング論
- 経営分析論
- ホテル実務
- 海外インターンシップ
- エコリズムⅡ
- ホテル経営論
- 国際コンベンションビジネス
- ホスピタリティマネジメント論
- 観光資源論
- アジアの政治と社会
- 組織心理学
- 対人コミュニケーション論
- チームマネジメントの心理学
- 余暇社会学
- 地域マーケティング論
- 観光関連実務
- 情報系インターンシップⅡ
- 病院実務Ⅱ
- 病院実務Ⅲ
- 観光産業系インターンシップⅠ
- 観光産業系インターンシップⅡ
- 観光心理学

## 自然科学系科目

- プログラミング入門
- コンピュータ・グラフィックス
- ウェブデザイン
- ウェブグラフィックス
- 診療情報管理論Ⅰ・Ⅱ
- 人体構造・機能及び医療用語
- 医療概論及び臨床医学総論
- 臨床医学各論Ⅰ
- 医療管理総論
- 医療管理各論
- 保健医療情報学
- ゴルフⅠ
- ゴルフⅡ
- スクーバダイビング
- 野外活動演習
- 救急処置
- データ処理入門
- 地球の環境とその保全
- 医療統計学
- 診療情報管理特別講義Ⅰ・Ⅱ
- 沖縄の植物と保護
- 自然地理学概論
- 国際ネットワーク論
- ネットワークの構築と運用
- プログラミング言語論
- 上級プログラミング
- アルゴリズム論
- データベース概論
- データベース実践
- ネットワーク技術Ⅰ
- ネットワーク技術Ⅱ
- ウェブコンテンツ実践
- 臨床医学各論Ⅱ
- 臨床医学各論Ⅲ
- 臨床医学各論Ⅳ
- 国際統計分類Ⅰ
- 国際統計分類Ⅱ
- 空手
- スポーツ産業論
- ウェルネス概論
- 環境調査法
- 情報システムズ特別講義Ⅰ・Ⅱ
- 環境アセスメント論Ⅰ
- 環境アセスメント論Ⅱ
- 健康と長寿
- 自然観察指導法
- システム設計論
- ネットワーク技術Ⅲ

## 健康支援人材の育成を目指す

人間健康学部は、「人間の生き方」、「人間が心身を充実させてよりよく生きること」を学ぶことを基本理念とし、「スポーツ」、「健康」、「看護」を通して科学的に探求・究明することにより「健康支援人材」及び「看護職」を養成する。



### 取得できる免許

#### スポーツ健康学科

- 中・高等学校教諭一種免許状（保健体育）
- 養護教諭一種免許状
- 第一種衛生管理者免許

#### 看護学科

- 養護教諭二種免許状
  - 第一種衛生管理者免許
- ※養護教諭二種免許・第一種衛生管理者免許は保健師資格取得後申請により取得可能

### 取得できる資格

#### スポーツ健康学科

- 健康運動指導士受験資格
- 健康運動実践指導者受験資格
- トレーニング指導者（JATI）受験資格
- 日本体育協会公認スポーツ指導者受験資格（共通科目免除、ジュニアスポーツ指導員、スポーツプログラマー）
- 社会福祉主事任用資格

#### 看護学科

- 看護師国家試験受験資格
  - 保健師国家試験受験資格
- ※保健師国家試験受験資格は選択コースのみ取得

### 人間健康学部教育スタッフ

令和2年7月現在

学部長 奥本 正

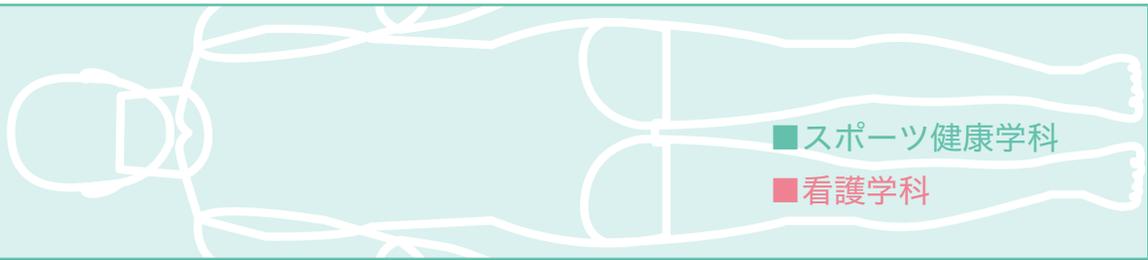
#### スポーツ健康学科

教授 小川 寿美子、奥本 正、高瀬 幸一、平野 貴也、前川 美紀子  
 上級准教授 伊礼 優、大峰 光博、小賦 肇、遠矢 英憲  
 准教授 石橋 千征、岡部 麻理、神田 奈津子、玉城 将、仲田 好邦、東恩納 玲代、山本 健司  
 助教 神谷 義人、砂川 恵子、濱本 想子

#### 看護学科

教授 阿部 正子、大城 凌子、小西 清美、島田 友子、鈴木 啓子、田場 真由美、玉井 なおみ、永田 美和子、花城 和彦、松下 聖子、横川 裕美子  
 上級准教授 鬼頭 和子、清水 かおり、名城 一枝、比嘉 憲枝、村上 満子、本村 純  
 准教授 伊波 弘幸、木村 安貴、佐和田 重信、島袋 尚美、下地 幸子、下地 紀靖、鶴巻 陽子  
 助教 大浦 早智、新里 美智子、新城 慈、長嶺 絵里子、西田 涼子  
 助手 安仁屋 優子、九津見 彩子、廣瀬 永子、溝口 広紀

（職階内五十音順）



■ スポーツ健康学科

■ 看護学科

## スポーツ健康学科

こころとからだを一体として捉え、人間の健康を理解した健康支援を担う人材を育成する。



### 教育の特色

多様で充実した専門分野を、学際的に横断するという斬新な方法論でスポーツと健康を科学的に探究し、グローバル化に対応した専門教育を実践している。

- 1 スポーツ・健康活動支援の人材育成**  
生涯にわたってスポーツを健康増進や生活習慣病予防に応用できる知識と技能を備えた人材育成。
- 2 多様で充実した実践・実習・演習**  
保健体育免許取得のための教育実習、養護教諭免許取得のための看護臨床実習及び養護実習、健康運動指導士資格取得のための健康増進施設における実習、企業・社会福祉施設・地方公共団体・野外教育施設等におけるインターンシップなど。
- 3 社会と人間理解のための多角的な研究**  
人体の構造と生理的特性、社会における体育・スポーツの位置づけ、ウエルネス・ヘルスプロモーション・保健・栄養などから捉える健康教育などのあらゆる観点からスポーツと健康を探究する。
- 4 特色ある実技科目**  
沖縄の地の利を生かした海洋スポーツ実技(ウィンドサーフィン、スクーバダイビングなど)、沖縄ならではの伝統種目(空手・古武道、琉球舞踊など)、県外で行うウィンタースポーツ(スキー・スノーボード)、その他トレーニングルーム、室内温水プールで行う各種実技科目を提供。

学士 (スポーツ健康学)

### 目指す進路・就職先

- 中・高等学校教諭 (保健体育)
- 養護教諭
- 公務
- 医療・福祉現場などでの心理・福祉職
- スポーツ団体やトレーニング施設
- 一般企業での衛生管理職
- 大学院進学など

## 看護学科

あらゆる人々の「人間としての尊厳」と「健康に生きる権利」を擁護できる看護職を育成する。あわせて自己教育力・自己評価能力を身につけ成長し続ける看護職として、広く地域に貢献できる看護職を育成する。



### 教育の特色

看護実践能力の向上を目標とし、学生が主人公となり主体的な学習者として成長していく教育課程を参画型看護教育として展開している。看護実践能力の最も重要なコンピテンシー (competency) は協働参画力、自己教育力、自己評価力であり、更にこれらのコア (核) となる能力をコミットメント能力として概念化し、下記の3つの対話を教育理念に掲げて多くのプログラムを実践している。

- 1 自己との対話：**  
学生は自分自身との対話を通して自己理解を深め看護職としてのキャリア開発をめざす。
- 2 他者との対話：**  
学生は授業や課外活動・学内行事などにおいて友人・教師・職員との対話を通して自らが授業や大学における教育活動に参画していく。
- 3 地域との対話：**  
学生はフィールド活動や看護実習を通して地域の人々とふれあい、人々との対話を通してケアリング文化を継承し発展させる。

学士 (看護学)

### 目指す進路・就職先

- 看護師・保健師 (病院、診療所、保健施設、福祉施設、保育園、訪問看護ステーション、保健所、保健センター、企業の健康管理室、行政職、看護教育機関)
- 養護教諭 (小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等)
- 助産学専攻科進学
- 大学院進学など

# スポーツ健康学科専門教育科目一覧 (令和2年度入学者適用)

## Subject List for The Department of Sports And Health

### 専門基礎教育科目

- スポーツ健康学総論
- スポーツ健康学演習
- ウェルネス概論
- 発育発達学
- 救急処置
- 生涯スポーツ論
- 人体機能学
- 社会福祉概論
- 医学一般
- 解剖学
- 生理学・運動生理学
- 衛生学・公衆衛生学
- 栄養学

### 専門教育科目

- 体育原理
- スポーツ健康学特別講義I
- スポーツ健康学特別講義II
- スポーツ健康学特別実技I
- スポーツ健康学特別実技II
- 運動学
- 体育心理学
- 体育社会学
- 体育経営管理学
- コーチ学
- トレーニング論
- 体力・健康測定と評価
- スポーツ指導論
- スポーツ栄養学
- スポーツマネジメント
- スポーツ障害と予防
- 運動処方論
- 安全管理論及び方法
- 野外教育論
- レジャー・レクリエーション論
- 空手・古武道概論
- 体育・スポーツ史
- スポーツバイオメカニクス
- 球技論
- 健康教育
- 学校保健
- 精神保健
- 養護概説
- 看護学Ⅰ
- 看護学Ⅱ
- 学校救急看護学
- 健康相談活動の理論及び方法
- 医学一般Ⅱ
- 病理学
- 免疫学
- 微生物学
- 薬理概論
- 心の健康
- 健康心理学
- 保健衛生学
- 労働衛生学概論
- 労働法規Ⅰ
- 労働法規Ⅱ
- 介護概論
- 社会福祉援助技術
- 児童福祉
- 障害者・高齢者福祉
- グローバルヘルス
- 生理学・運動生理学演習
- 衛生学・公衆衛生学演習
- 動作学演習
- スポーツ心理学演習
- トレーニング論演習
- 海洋スポーツ演習
- 看護臨床実習Ⅰ
- 看護臨床実習Ⅱ
- 運動負荷試験
- 健康産業施設等現場実習
- コーチング演習
- 体づくり運動
- 器械運動
- 陸上競技
- 水泳
- バasketボール
- ハンドボール
- サッカー
- バレーボール
- 卓球
- ソフトボール
- 柔道
- 剣道
- 空手
- 舞踊
- 琉球舞踊
- エアロビクスⅠ
- エアロビクスⅡ
- レクリエーション実技
- ゴルフⅠ
- ゴルフⅡ
- ウインドサーフィン
- スクーバダイビングⅠ
- スクーバダイビングⅡ
- スキー・スノーボード
- テーピング・マッサージ
- インターンシップⅠ
- インターンシップⅡ
- 地域ウェルネスプロジェクト
- 卒業研究演習Ⅰ
- 卒業研究演習Ⅱ
- 卒業研究演習Ⅲ
- 卒業研究演習Ⅳ

### 自由選択

自由選択科目に「ライフデザイン科目」(教養教育科目)、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」及び「教職に関する科目」を含めることができる。

#### 合計

スポーツ健康学科の総科目数205科目  
(教養教育科目80科目、  
外国人留学生対象科目21科目含)

#### 学位

学士(スポーツ健康学)

#### 学位の分野

保健衛生学

#### 卒業要件及び履修方法

教養教育科目	32単位以上
専門基礎教育科目	必修12単位、選択10単位、合計22単位以上
専門教育科目	必修8単位、選択52単位以上、合計60単位以上
自由選択科目	10単位以上
卒業要件単位数	124単位以上

#### 授業期間等

1 学年の学期区分	2 学期
1 学期の授業期間	15 週
1 時限の授業時間	90 分

# 看護学科専門教育科目一覽

(令和2年度入学者適用)

## Subject List for The Department of Nursing



### 専門基礎教育科目

#### 人間の理解

- 解剖生理学
- 病態生理学 (含: 病理学)
- 生化学
- 人間関係論
- 生涯発達論
- 家族社会学 (含: ジェンダー論)
- 精神保健

#### 健康の理解

- 健康相談活動の理論と方法
- 病態治療学Ⅰ (内科系疾患)
- 病態治療学Ⅱ (外科系疾患)
- 病態治療学Ⅲ (小児疾患)
- 病態治療学Ⅳ (母性疾患)
- 病態治療学Ⅴ (精神疾患)
- 老年学
- 薬理学
- 免疫学
- 微生物学
- 栄養学Ⅰ
- 栄養学Ⅱ

#### 環境の理解

- 公衆衛生学
- 保健統計学
- 疫学
- 保健福祉行政論
- 看護と福祉
- 学校保健
- 産業看護学
- 保健医療と法
- 医療英語
- 養護概説
- 保健行動論

### 専門教育科目

#### 専門分野Ⅰ

##### 基礎看護

- 看護学概論
- 看護援助論
- 基礎看護技術Ⅰ
- 基礎看護技術Ⅱ
- 看護実践方法論
- フィジカルアセスメント
- 基礎看護実習Ⅰ
- 基礎看護実習Ⅱ

#### 専門分野Ⅱ

##### 成人看護

- 成人看護学概論
- 成人看護学方法論Ⅰ
- 成人看護学方法論Ⅱ
- リハビリテーション看護論
- 成人看護実習Ⅰ
- 成人看護実習Ⅱ

##### 母性看護

- 母性看護学概論
- 母性看護方法論
- 母性看護実習

##### 高齢者看護

- 高齢者看護学概論
- 高齢者看護方法論
- 高齢者看護実習

##### 小児看護

- 小児看護学概論
- 小児看護方法論
- 小児看護実習

##### 精神看護

- 精神看護学概論
- 精神看護方法論
- 精神看護実習

#### 統合分野

##### 在宅看護

- 在宅ケア論
- 在宅ケア実習

##### 総合看護

- ケアリング文化実習
- 感染看護
- 看護研究方法
- 卒業研究
- 沖縄の文化と看護
- ターミナルケア論
- 看護実践と理論
- 看護管理

- 看護政策論
- 家族看護学
- 看護教育論
- 国際看護学Ⅰ
- 国際看護学Ⅱ
- 災害看護論
- 島嶼・過疎地看護論
- 総合実習

#### 保健師 教育分野

##### 公衆衛生看護

- 公衆衛生看護学概論
- 公衆衛生看護活動論
- 公衆衛生看護方法論Ⅰ
- 公衆衛生看護方法論Ⅱ
- 公衆衛生看護管理論
- 公衆衛生看護実習Ⅰ
- 公衆衛生看護実習Ⅱ
- 公衆衛生看護実習Ⅲ

#### 合計

看護学科の総科目数183科目  
(教養教育科目80科目、  
外国人留学生対象科目21科目含)

#### 学位

学士 (看護学)

#### 学位の分野

保健衛生学

#### 卒業要件及び履修方法

教養教育科目 28単位以上  
専門基礎教育科目 33単位以上  
専門教育科目 68単位以上  
卒業要件単位数 129単位以上

#### 授業期間等

1学年の学期区分 2学期  
1学期の授業期間 15週  
1時限の授業時間 90分

# 助産学専攻科



安心して健康な子どもを  
産み育てられる  
地域づくりに貢献する  
助産師を育成

## 専攻科の 特色

助産学専攻科は、沖縄の地理・歴史的文化的特性、とりわけ健康長寿社会の中で育まれた人々の豊かなケアリング文化に根ざした助産ケアを提供できる助産師の養成を目指し、地域社会の保健・医療・福祉との連携を推進することを特色とする。

## 養成する人材像

助産学専攻科は、以下のような人材を養成する。

- (1) 安全で質の高い助産実践能力および他職種と協働できる能力を身につけ、地域住民と相互にパートナーシップを築く存在として自己研鑽し、地域・国際社会の母子保健の発展に貢献できる助産師。
- (2) 豊かな人間性と倫理観に基づき、地域特性や対象のニーズを踏まえた適格な対応ができ、女性とその家族のライフサイクルに応じた健康支援を自立して実践できる助産師。

## 教育目的

助産学専攻科は、看護学を基盤に、人間の生命の尊厳を守り、人権を擁護できる豊かな人間性を培うとともに、女性、母子やその家族を全人的に理解し、寄り添い、かつ、継続的に健康教育支援ができる助産師を養成する。また、安全で質の高い助産実践能力を維持し、他職種と協働して、地域・国際社会の母子保健の発展に貢献できる自律した助産師を養成することを目的とする。

## ディプロマ・ポリシー(学生が修了時にもつべき能力)

助産学専攻科では、以下の能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定する。

- (1) 思いやりのある豊かな人間性を培い、すべての人の生命の尊厳を守り、権利を擁護できる能力。
- (2) 思春期の健康教育をはじめとする女性のライフサイクル各期におけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する支援ができる能力。
- (3) 離島・へき地の地理的特性を踏まえた周産期における母子及び家族の健康課題の支援ができる能力。
- (4) 高度化する周産期医療に対応できる助産診断技術を持ち、産む人のニーズを尊重した満足で安全な分娩介助が自立してできる能力。
- (5) 保健・医療・福祉・行政との連携を図り、協働して継続的な支援ができる能力。
- (6) 助産師としての責任と義務を認識し、グローバルな視点で地域・国際社会に貢献できる能力。
- (7) 社会の変化を敏感に察知し、生涯にわたり自己の資質の向上に努める能力を身につけ、助産学の発展に貢献できる能力。

## 取得できる資格・免許

- 助産師国家試験受験資格
- 受胎調節実地指導員申請資格
- 新生児蘇生法修了認定(Aコース)受験資格

## 目指す進路・修了後の進路

- 病院などの医療機関
- 助産所
- 保健所・保健センター
- 大学院進学

## 助産学専攻科教育スタッフ

令和2年7月1日現在

専攻科長	教授	島田 友子	
教授		阿部 正子	准教授 鶴巻 陽子
助教		長嶺 絵里子	

## 教育課程編成の基本的な考え方

助産学専攻科の教育課程は、助産師国家資格取得に必要な指定規則28単位を含む「助産学基礎領域」、「助産学実践領域」、「助産学関連領域」の3つの領域で構成し、以下の編成方針及び実施方針に基づき体系的に編成する。

## 教育課程の編成方針

- (1) 助産学基礎領域では、生命尊重・倫理観を深めながら、沖縄のケアリング文化を理解し、命に寄り添う助産師の役割や、保健医療福祉関係者との協働・連携について学ぶ。
- (2) 助産学実践領域では、現代社会における女性や子どもを取り巻く状況や、沖縄県が抱える周産期課題への理解を深め、課題を焦点化できる力を修得する。また、女性の生涯を通じて、リプロダクティブヘルス/ライツに焦点を当てて支援する健康教育技法を修得する。助産学実習では、最新の周産期医療および助産技術を学習し、対象の幅広いニーズに応えられる問題解決能力、実践能力を高める。
- (3) 助産学関連領域では、国際社会を視野に入れて、女性とその家族のライフサイクルに応じた健康支援を自律して実践できる力を修得する。また、科学的探究心および研究能力を培い、生涯にわたり自己の資質の向上に努める力を修得する。

## 教育課程の実施方針

- (1) 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現力、コミュニケーション力など、社会生活において必須となる汎用的な能力を養成するために、1年を通して学生主体・ディスカッションを主軸とした教育を実施する。
- (2) 助産学専攻科専任教員のほか、妊娠期における超音波診断、新生児の蘇生などの演習など、様々な講師による授業を展開して、充実した実習環境で助産実践力を培う。
- (3) 助産学実習においては、周産期を中心に、地域・国際社会での助産師活動や助産管理など、助産師としての技術、知識を修得する。
- (4) 獲得した専門知識や助産技術を統合し、問題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や態度を養成するために、1年を通して研究の基礎的能力を培う。

## 修了要件

助産学専攻科の修了要件は、専攻科に1年以上在学し、所定の単位(助産学基礎領域から7科目9単位、助産学実践領域から14科目21単位、助産学関連領域から必修1科目2単位及び選択1科目1単位以上、合計33単位以上)を修得した者について修了を認定する。

## 入学者の受入方針(アドミッション・ポリシー)

助産学専攻科は、本学の教育理念に共感し、自ら考え行動しようとする、以下のような学習意欲の高い人を求めます。

1. 助産に関心を持ち生命誕生に真摯に向き合える誠実な人
2. 相手の身になって考えることができ、周囲と積極的に協力し合える人
3. 目標に向かって粘り強く、自ら進んでチャレンジできる人
4. 将来助産師として社会に貢献できる意欲のある人
5. 社会に対し積極的に関わり、専門職としての役割を果たし、地域医療、国際貢献に意欲のある人

## 教育課程

区分	授業科目	記当年次	単位数		1単位当たりの時間数	履修方法及び修了要件
			必修	選択		
助産学基礎領域	助産学概論	1前	1		15	必修 7科目 9単位を履修
	助産ケアと倫理	1前	1		15	
	沖縄のケアリング文化と女性	1前	1		15	
	生殖医学	1前	1		15	
	周産期医学	1前	2		15	
	新生児・乳児学	1前	1		15	
	助産管理学	1通	2		15	
	小計		9		—	
助産学実践領域	リプロダクティブヘルス支援	1通	1		30	必修 14科目 21単位を履修
	妊娠期の助産診断・技術学	1前	1		30	
	分娩期の助産診断・技術学	1前	1		30	
	産褥・新生児・育児期の助産診断・技術学	1通	2		30	
	助産過程の展開	1前	1		30	
	健康教育技法	1通	1		30	
	分娩期助産演習	1前	1		30	
	母子の栄養・薬理学	1前	1		30	
	やんばるの母子保健	1前	1		30	
	助産学実習Ⅰ(妊娠期・継続ケース)	1通	2		45	
	助産学実習Ⅱ(分娩・産褥・新生児期)	1通	6		45	
	助産学実習Ⅲ(NICU)	1後	1		45	
	助産管理学実習	1通	1		45	
	母子ケアリング実習(僻地・離島)	1後	1		45	
小計		21		—	21	
助産学関連領域	国際母子保健学	1通		1	30	必修1科目 2単位、 選択1科目 1単位 以上を履修
	母子の癒し援助論	1通		1	30	
	助産学研究	1通	2		30	
	小計		2	2	—	
修了要件単位数						33単位以上
助産師国家試験資格を取得する場合の最低必要単位数						33単位以上



## グローバル化、情報化が進展する 国内外の諸課題に対応できる 高度専門的職業人および研究能力を有する人材を育成

本研究科では、さまざまな文化を理解する能力を持ち、国内外における地域課題の解決に必要な視野を持った高度の専門的職業人および高度の研究能力を有する人材の養成に努めている。社会人や留学生の就学環境を考慮し、昼夜開講制やセメスター（学期）制等を採用している。中学校教諭専修免許状（英語）および高等学校教諭専修免許状（英語および商業）も取得できる。



### 五つの教育研究領域

言語文化教育研究領域 Language and Culture	<b>言語の特質や文化についての専門的な知識を持つ人材を育成</b> 琉球列島や東南アジアおよび中南米諸国などの環太平洋地域および英米における特色ある言語文化と地域文化の研究を行い、言語の特質や文化についての専門的な人材を養成する。
社会制度政策教育研究領域 Social Systems and Policies	<b>政治・経済の改革や産業の在り方について政策提言できる人材を育成</b> 地方、国、国際社会の各レベルにおける組織の構造と機能および制度の在り方について研究し、政治・経済・法学的な立場で政策提言ができる人材を養成する。
経営情報教育研究領域 Management and Information Science	<b>情報科学を理解し実務に応用して地域経済に貢献できる人材を育成</b> グローバル化、情報化、福祉化が進展しつつある社会の中で高度の情報技術を有し、産業活動を文化や福祉等の視点から理解し実務に応用して地域経済に貢献できる人材を養成する。
観光環境教育研究領域 Tourism and Environmental Science	<b>総合科学としての観光環境を理解し地域特性を活かした国際的提言のできる人材を育成</b> 総合科学と呼ばれる観光学を文化および自然環境の視点から、熱帯・亜熱帯性、海洋性、島嶼性等について観光政策的および環境科学的に研究し、国内外で政策提言ができる人材を養成する。
健康科学教育研究領域 Health Sciences	<b>知識技能はもとより、ヒューマンズを基礎とした実践力や行動力を持ち、人間と人間がおかれている環境との関係を深く理解でき、社会と自分の関わりを、人間健康科学をキーワードに探求できる人材を育成</b> 人間の健康を科学的に究明し「こころ」と「からだ」の理解とヒューマンズの精神を基礎に、積極的に国内外に情報を発信し、かつ社会貢献できる学際的な人材を養成する。

#### 修了要件

●大学院国際文化研究科の修了要件は、大学院に2年以上在学し、講義科目22単位以上、演習科目8単位の合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格することとする。



■ 言語文化教育研究領域

■ 社会制度政策教育研究領域

■ 経営情報教育研究領域

■ 観光環境教育研究領域

■ 健康科学教育研究領域



国際文化研究科教育スタッフ

令和2年5月1日現在

国際文化研究科長 中村 浩一郎

言語文化教育研究領域

- 教授 嘉納 英明 …… 比較教育文化思想特論  
 小番 達 …… 日本古典文学特論  
 住江 淳司 …… 中南米文化特論  
 渡慶次 正則 …… 英語教育評価特論  
 中村 浩一郎 …… 言語学特論 I  
 波照間 永吉 …… 琉球・沖縄文化特論序説  
 山里 純一 …… 琉球精神文化特論  
 李 鎮榮 …… 異文化接触特論  
 小嶋 洋輔 …… 日本近代文学特論
- 上級准教授 照屋 理 …… 琉球文学特論  
 屋良 健一郎 …… 日本史特論  
 メーガン・クックマン… アメリカ詩特論

社会制度政策教育研究領域

- 教授 高嶺 司 …… 国際政治特論  
 大城 渡 …… 公法学特論
- 上級准教授 菅野 敦志 …… 東アジア地域特論  
 宮城 敏郎 …… 地域開発政策特論

経営情報教育研究領域

- 教授 アリ,ファテヘルアリム,F… 情報知能特論  
 木村 堅一 …… 社会心理学特論  
 金城 亮 …… 小集団心理学特論  
 田邊 勝義 …… 経営活動情報特論  
 仲尾次 洋子 …… 会計学特論  
 中里 収 …… 情報交流特論  
 宮平 栄治 …… 産業組織特論  
 林 優子 …… 経営戦略特論

観光環境教育研究領域

- 教授 新垣 裕治 …… エコツーリズム特論  
 田代 豊 …… 環境科学特論  
 大谷 健太郎 …… 観光開発特論
- 上級准教授 許 点淑 …… 観光文化特論

健康科学教育研究領域

- 教授 小川 寿美子 …… グローバル・ヘルス特論  
 平野 貴也 …… スポーツトレーニング・コーチング特論  
 高瀬 幸一 …… 健康・スポーツ指導特論(兼任)
- 上級准教授 大峰 光博 …… スポーツ文化特論  
 准教授 玉城 将 …… バイオメカニクス特論

共通科目	教育研究領域科目				
人文学特論	言語文化研究演習 I・II 英文法特論 理論言語学特論 中南米文化特論 日本古典文学特論 琉球精神文化特論	言語学特論 I・II 英語音声学特論 比較教育文化思想特論 第2言語習得特論 日本近代文学特論 英文学特論	英語教授法特論 I・II 琉球歴史学特論 琉球文学特論 日本史特論 米文学特論 英語教育評価特論	沖縄地域文化研究特論 言語文化特別講義 I・II 中琉関係史基礎特論 アメリカ詩特論 アメリカ小説特論	地域言語学特論 I・II リサーチ方法特論 東南アジア文化特論 教育学特論 琉球・沖縄文化特論序説
政策科学特論	社会制度政策研究演習 I・II 地域活性化特論 社会制度政策特別講義 I・II	国際政治特論 I・II 経済政策特論 国際経済特論	地域開発政策特論 公法学特論 産業政策特論	都市政策特論 東アジア地域特論	地方自治特論 国際協力・ボランティア特論
社会心理学特論	経営情報研究演習 I・II 小集団心理学特論 会計学特論	経営活動情報特論 人的資源管理特論 マーケティング特論	経営戦略特論 比較経営学特論 情報・通信技術特論	産業組織特論 e-ビジネス特論 経営情報特別講義 I・II	情報交流特論 情報知能特論
環境科学特論	観光環境研究演習 I・II 異文化接触特論 島嶼生態学特論	観光開発特論 ホテル実務特論 観光文化特論	観光政策特論 エコツーリズム特論 観光調査特論	島嶼開発特論 観光市場分析特論 観光環境特別講義 I・II	島嶼文化特論 観光資源特論
健康科学特論	健康科学研究演習 I・II 伝統武道特論 健康栄養学特論	グローバル・ヘルス特論 スポーツトレーニング・コーチング特論 社会福祉学特論	健康心理学特論 健康科学特別講義 I・II	地域保健学特論 ヘルスプロモーション・ウェルネス特論	健康・スポーツ指導特論

# 大学院 看護学研究科

## 修士（看護学）

### やんばるのケアリング文化に根ざした看護学を探究

#### ■ 養成する人材像

本研究科は、地域に根ざし地域の健康問題を創造的に解決していく卓越した看護実践能力の養成と看護現象の解明を目的とした研究能力の開発、看護の新たな価値の創出を目指し、高度専門職業人および教育・研究者の養成を目的としている。

##### (1) 高度専門職業人の養成

地域の看護需要に対応して問題を解決するための指導的役割を果たす看護実践のリーダーを養成する。

##### (2) 教育・研究者の養成

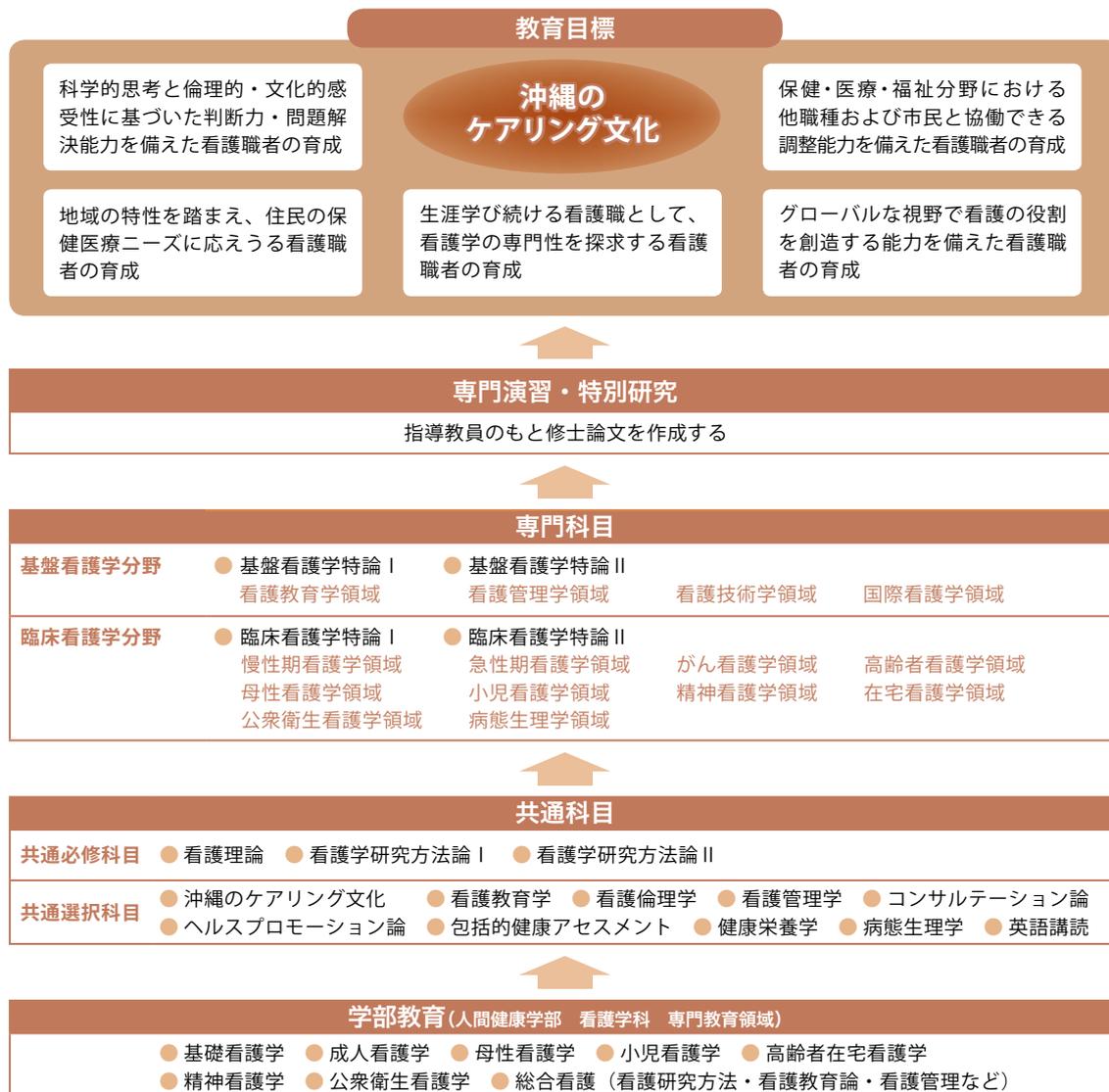
ケアリング文化に根ざした看護教育を探究する教育者および研究者を養成する。

#### ■ 社会人も学べる教育環境

現場の看護師や保健師等の社会人が仕事をつづけながら学修できる教育環境を整備している。

①昼夜開講制の導入、②長期履修制度の導入、③施設の夜間利用

#### 看護学研究科教育課程概念図



## 大学院教育スタッフ

令和2年5月1日現在

### 看護学研究科長 永田 美和子

#### 教授

永田 美和子	……	看護理論、包括的健康アセスメント、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
鈴木 啓子	……	看護理論、看護学研究方法論Ⅰ、看護管理学、コンサルテーション論、包括的健康アセスメント、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
横川 裕美子	……	看護管理学、基盤看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
砂川 昌範	……	看護学研究方法論Ⅰ、病態生理学、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
小西 清美	……	看護倫理学、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
島田 友子	……	沖縄のケアリング文化、看護管理学、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ
大城 凌子	……	看護理論、沖縄のケアリング文化、包括的健康アセスメント、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
松下 聖子	……	看護学研究方法論Ⅱ、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
田場 真由美	……	看護理論、看護学研究方法論Ⅰ・Ⅱ、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
玉井 なおみ	……	看護理論、看護学研究方法論Ⅰ、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
高瀬 幸一	……	ヘルスプロモーション論
渡慶次 正則	……	英語講読(兼任)
嘉納 英明	……	看護教育学(兼任)
奥本 正	……	健康栄養学

#### 上級准教授

伊礼 優	……	看護学研究方法論Ⅱ、看護理論、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
清水 かおり	……	看護理論、看護教育学、看護管理学、基盤看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
憲枝 憲枝	……	看護理論、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習
鬼頭 和子	……	臨床看護学特論Ⅰ、看護学研究方法論Ⅱ、専門演習、特別研究
名城 一枝	……	看護管理学
本村 純	……	看護学研究方法論Ⅰ、看護学研究方法論Ⅱ、臨床看護学特論Ⅰ、臨床看護学特論Ⅱ
村上 満子	……	看護理論、看護学研究方法論Ⅰ・Ⅱ、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究

#### 准教授

木村 安貴	……	看護学研究方法論Ⅰ・Ⅱ、病態生理学、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱ、専門演習、特別研究
-------	----	--

## 看護学研究科授業科目

授 業 科 目	
共通科目	共通必修科目 看護理論 看護学研究方法論Ⅰ 看護学研究方法論Ⅱ
	共通選択科目 沖縄のケアリング文化 看護教育学 看護倫理学 看護管理学 コンサルテーション論 ヘルスプロモーション論 包括的健康アセスメント 健康栄養学 病態生理学 英語講読
専門科目	基盤看護学分野 基盤看護学特論Ⅰ 基盤看護学特論Ⅱ
	臨床看護学分野 臨床看護学特論Ⅰ 臨床看護学特論Ⅱ
演習・研究科目	専門演習 特別研究
<b>修了要件</b> 看護学研究科の修了要件は、大学院に2年以上在学し、共通科目14単位以上、専門科目4単位以上、演習・研究科目12単位、合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格することとする。	

## 教育課程の特色

修士課程において、次の3つの構成で体系的な教育課程を編成している。

- ① 研究方法の開発を広い視野で追及するために有効となる共通科目を設定。
- ② 看護実践の質の向上に直結した研究の効果的展開を目指した専門科目を設定。
- ③ 研究方法や研究デザイン、研究計画等、研究に必要な基礎を修得する演習科目(専門演習)、研究指導および修士論文に直結する研究指導を行う演習、特別研究を設置。

### 【共通科目】

グローバルな視野に立った看護の高度専門職として実践・研究を遂行するにあたり、共通科目として13科目を配置した。看護理論と看護学研究方法論Ⅰ・Ⅱの6単位は共通必修科目、共通選択科目は8単位以上になるように科目を選択とし、うち4単位は国際文化研究科の共通科目や教育研究領域科目から履修することができる。共通科目は、計14単位以上を履修要件としている。

### 【専門科目】

基盤看護学分野と臨床看護学分野の2つの専門分野からなる。基盤看護学分野は、基盤看護学特論Ⅰ・Ⅱを配置し、専門領域として看護教育学、看護管理学、看護技術学、国際看護学から探求したい領域を選択する。臨床看護学分野は、臨床看護学特論Ⅰ・Ⅱを配置し、専門領域として慢性期看護学、急性期看護学、がん看護学、高齢者看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、在宅看護学、公衆衛生看護学、病態生理学から探求したい領域を選択する。2つの専門分野から1つ選択し、2科目4単位以上を履修要件としている。

### 【演習・研究科目】

学生の研究テーマに関連する専門分野ごとに研究指導教員を配置し、「専門演習」「特別研究」を設置している。研究指導教員および研究指導補助教員の指導により、専門演習4単位および特別研究8単位の計12単位、合計30単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格することを修了要件としている。



## 環太平洋という視点に立って沖縄(琉球)・アジアと (ハワイを含む)南北アメリカの地域文化研究を深化する

### ■ 教育研究上の目的

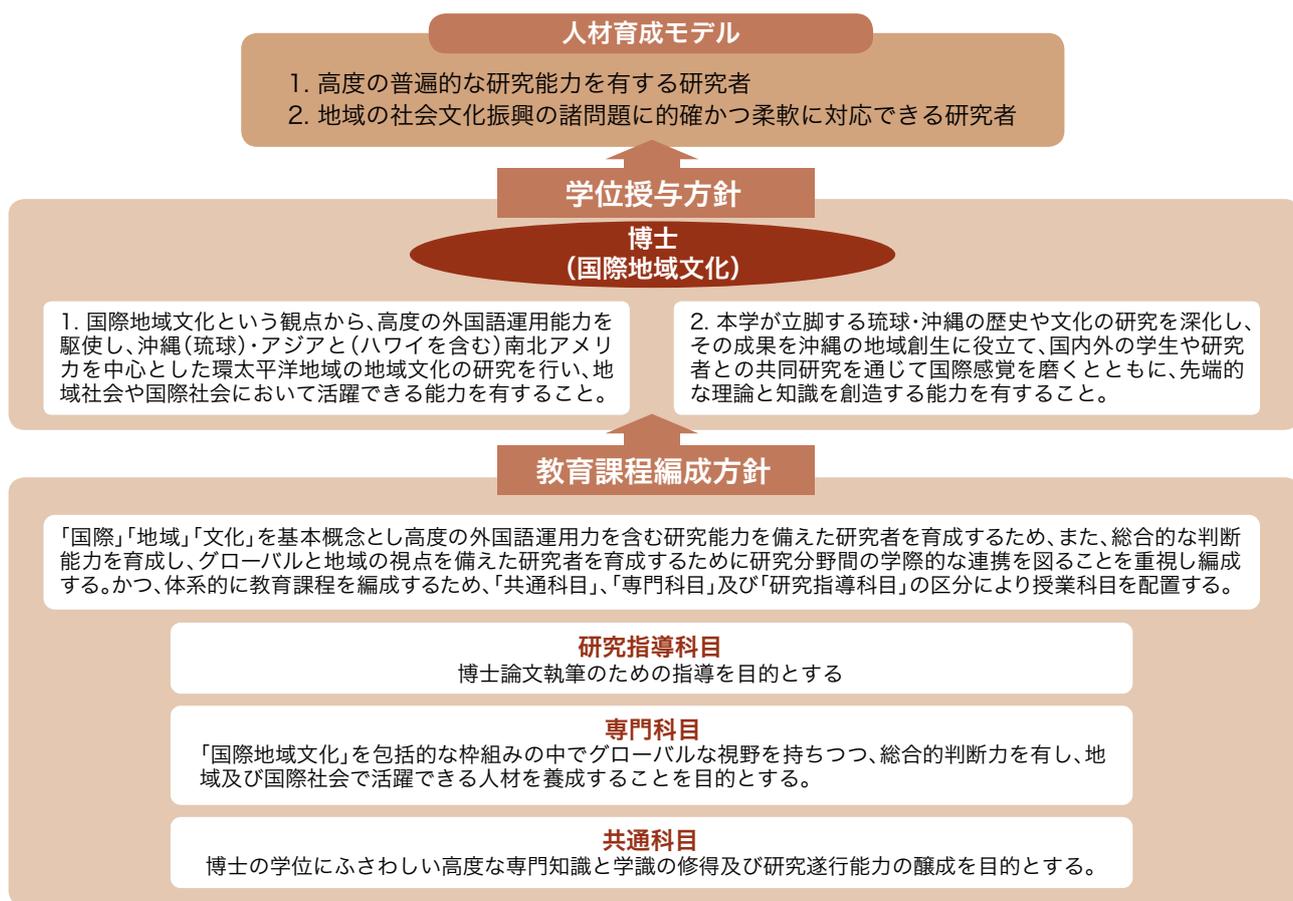
本博士後期課程は、文化の多様性を理解し、グローバルな視点から国際社会が抱える多様かつ重要な課題の解決に向けた普遍的な研究を行い、高度な水準の研究を行うために必要な能力及びその基礎となる豊かな学識を有する創造性に富む人材を養成することを目的とする。

### ■ 養成する人材

本博士後期課程は、普遍的な研究課題に取り組み、その成果を生かし研究者として活躍する能力を有する者及び専門分野に加えて環太平洋地域に関する幅広い学識と国際感覚を有する者の養成を目指す。

- (1) 高度の普遍的な研究能力を有する研究者の養成
- (2) 地域の社会文化振興の諸課題に的確かつ柔軟に対応できる研究者の養成

### (1) 教育課程編成の基本方針



### (2) 教育課程の特色

共通科目に配置する「国際地域文化総合演習Ⅰ」、「国際地域文化総合演習Ⅱ」は、本課程の特色科目として、本学のおかれた地域的特性に鑑み、すべての学生にとって必修科目とし、本博士後期課程の研究指導教員及び研究指導補助教員全員が参加し、学生の発表、報告等について質疑応答・討論を行う演習方式の科目である。学生の発表に対して異なる研究分野からの視点を導入することで学生に多様な視点から自らの課題を検討する機会を与え、沖縄(琉球)・アジアと(ハワイを含む)南北アメリカを中心とした環太平洋地域について理解を深めることを目的としている。

### (3) 教育課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
共通科目	国際地域文化総合演習Ⅰ	1前	2		
	国際地域文化総合演習Ⅱ	2前	2		
専門科目	琉球・沖縄文化特論	1前		2	
	琉球文学特論	1前		2	
	南島民俗文化特論	1前		2	
	中国琉球関係史特論	1前		2	
	アメリカ環境文学特論	1前		2	
	中南米地域文化特論	1前		2	
	東アジア地域文化特論	1前		2	
	東南アジア地域文化特論	1休		2	
	言語学特論	1前		2	
	英語教育特論	1前		2	
	現代沖縄教育特論	1前		2	
	アジア太平洋国際関係特論	1前		2	
研究指導科目	特別演習Ⅰ	1前	2		
	特別演習Ⅱ	1後	2		
	特別演習Ⅲ	2前	2		
	特別演習Ⅳ	2後	2		
	特別演習Ⅴ	3前	2		
	特別演習Ⅵ	3後	2		

※「1前」「1後」「1休」…数字は学年、「前」は前学期、「後」は後学期、「休」は夏季休暇を指す。

### (4) 修了要件

修了要件は、博士後期課程に3年間に在籍し、必要な研究指導を受けた上、次の要件を満たすこととする。

- ・ 共通科目(必修)の2科目4単位、専門科目(選択)から2科目4単位以上、研究指導科目(必修)の6科目12単位、合計10科目20単位以上を修得すること。
- ・ 研究論文1編以上が査読付学術誌において掲載、または受理された上で博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

### 教員組織

令和2年5月1日現在

#### 研究指導(博士論文指導)教員

No.	研究分野	教員名	担当授業科目
1	琉球文学に関する研究	波照間 永吉(教授)	国際地域文化総合演習Ⅰ～Ⅱ 琉球・沖縄文化特論、特別演習Ⅰ～Ⅵ
2	南島地域の民俗文化に関する研究	山里 純一(教授)	国際地域文化総合演習Ⅰ～Ⅱ 南島民俗文化特論、特別演習Ⅰ～Ⅵ
3	中国・琉球関係史に関する研究	赤嶺 守(教授)	国際地域文化総合演習Ⅰ～Ⅱ 中国琉球関係史特論、特別演習Ⅰ～Ⅵ
4	アメリカ環境文学に関する研究	山里 勝己(教授)	国際地域文化総合演習Ⅰ～Ⅱ アメリカ環境文学特論、特別演習Ⅰ～Ⅵ
5	中南米地域文化に関する研究	住江 淳司(教授)	国際地域文化総合演習Ⅰ～Ⅱ 中南米地域文化特論、特別演習Ⅰ～Ⅵ

#### 講義科目担当教員

No.	教員名	担当授業科目	No.	教員名	担当授業科目
1	中村 浩一郎(教授)	言語学特論	4	高嶺 司(教授)	アジア太平洋国際関係特論
2	渡慶次 正則(教授)	英語教育特論	5	菅野 敦志(上級准教授)	東アジア地域文化特論
3	嘉納 英明(教授)	現代沖縄教育特論	6	照屋 理(上級准教授)	琉球文学特論

### 社会人も学べる教育環境

#### ● 昼夜開講制を導入

社会人学生の事情を考慮して、昼間に加えて、平日の夜間や週末及び夏季休業等にも授業又は研究指導を行うことができる教育環境を整備。

#### ● 長期履修制度を導入

長期履修制度を適用する場合には、6年を上限とする長期履修期間を設定する。要件として、職業を有している等の事情で授業科目の受講が制限され、学業専念が困難であると認められる場合、又はやむを得ない事情を有している場合とする。入学手続き時に所要の申請を行うこととする。長期履修生は、3年間の学費で最長6年間に在籍し、計画的に履修することができる。

#### ● 施設の夜間利用

図書館は、大学院学生の修学時間に合わせて、月～金曜日においては午前8時50分～午後10時まで、土曜日は午後12時～17時まで開館。また、大学院生専用の研究室・共同演習室を整備している。

#### ● 学生の教育研究環境

学生の研究室には、ネットワーク環境を整備したパソコン及び周辺機器、机、椅子及び個人ロッカーを学生全員分整備する。



環太平洋地域文化研究所(平成31年4月1日、名称変更)は、外部の研究機関と連携しながら主として沖縄県北部の地域社会へ研究成果を還元し、地域のシンクタンクとしての機能を果たすべく1996年に設置された研究施設である。主な活動としては以下の項目がある。

- 1 環太平洋地域文化研究所紀要の発行、研究発表会の開催
- 2 研究助成(学際的共同プロジェクト研究、特定研究、出版助成)
- 3 基盤形成事業、地域貢献研究萌芽的プロジェクト
- 4 科学研究費および外部の研究助成・受託研究・共同研究の受入
- 5 コンプライアンス教育研修会の開催
- 6 環太平洋地域文化研究所主催シンポジウム・講演会

また、70名収容の研修室は、学外機関の研修会や講習会の会場として地域市民に開放されている。

【問い合わせ先】名桜大学環太平洋地域文化研究所 TEL 0980-51-1107 FAX 0980-51-1136

## 活動実績

特定研究				令和元年度実績
	研究代表者	共同研究者	研究テーマ	備考
1	大谷健太郎(国際学群)	伊良皆 啓(国際学群)宮城敏郎(国際学群) 永田美和子(看護学科)大城凌子(看護学科) 新城 慈(看護学科)	相互作用としてのホスピタリティに着目した教育と地域貢献に関する基礎的研究	継続

学際的共同プロジェクト研究助成				令和元年度実績
	研究代表者	共同研究者	研究課題	
1	長瀬絵里子(看護学科)	小西清美(看護学科)大浦早智(看護学科)下地幸子(看護学科) 神田奈津子(スポーツ健康学科)高村寿子(自治医科大学)	思春期の輝く未来を支える性と生の健康教育プログラムの構築やんばる地域でつながる・育むピア活動	
2	中里収(国際学群)	三嶋博之(早稲田大学)大川茂樹(千葉工業大学)	ソーシャルメディアを利用するIoT機器とそのインタラクションに関する研究	
3	田代豊(国際学群)	野波寛(関西学院大学)坂本剛(名古屋産業大学) 大友章司(甲南女子大学)青木俊明(東北大学)	公共政策の決定場面における当事者優位化の派生経緯とその変容可能性:倫理学・社会心理学・ゲーム理論を用いた多角的検証	

新規採用者助成				令和元年度実績
	研究代表者	研究課題		
1	立津慶幸(リベラルアーツ機構)	微量In元素添加により実現した新奇Fe-Pd相の安定性に関する理論的研究		
2	岡部麻里(スポーツ健康学科)	ミャンマー連邦共和国の生徒における低成長とその因子		
3	浦添美和(看護学科)	沖縄県北部地区に在留する外国人労働者とその家族の健康に関する実態調査～ネパールからの在留外国人の健康課題について～		
4	神田奈津子(スポーツ健康学科)	へき地等指定学校における救急処置に関する困難感や課題について		
5	溝口広紀(看護学科)	地域活動に参加していない一人暮らし高齢者の死生観一語りに焦点を当てて～		

講演会・シンポジウム等				令和元年度実績
部門	内容	概要		
シンポジウム	第34回日本観光研究学会全国大会シンポジウム 「持続可能な観光のあり方を考える ー沖縄の取組みと課題からー」 (日本観光研究学会・環太平洋地域文化研究所 共催) 日時:2019年12月14日(土)	持続可能な開発目標における観光をグローバルかつローカルの視点から捉え返し、観光インパクトの再考や沖縄の事例を通して、今後の日本における観光地のマネジメントに関する議論を深化させた。		
シンポジウム	国際シンポジウム「琉球諸語と文化の未来」 共催:琉球新報社 場所:琉球新報ホール(那覇市泉崎1丁目10番地3号) 日時:令和2年2月15日(土)14:00～16:30	琉球・沖縄の文化を継承し、さらに発展させていくために今何をすべきかについて、「琉球諸語と文化の未来」と題して、博士後期課程・国際文化研究科長、現在を代表する知識人と研究者、そしてハワイ語の復興に取り組み大きな成果をあげてきた協定大学であるハワイ大学の専門家をお招きし、国際シンポジウムを開催した。当日は約300人が来場し、会場から登壇者への質疑や意見が多く寄せられ活発な意見交換が行われた。		

名桜やんばるアカデミー				令和元年度実績
	内容		日時	
	映画『Cu-bop (キューバップ)』上映・高橋慎一監督講演会 「国境を越える人と文化～アメリカとキューバを結ぶジャズ・ミュージック～」		日時:令和元年6月12日(水) 14:45～18:00	
	ボリビア日本人移住120周年記念 映画『バチャママの贈りもの』上映・講演会		日時:令和元年10月12日(土) 13:00～16:00	

2019年4月より大学院国際文化研究科国際地域文化専攻(博士後期課程)が開設されました。そこで、地域の方々に博士後期課程を担当する教員の研究分野を公開講座として開講し、本学の新たな取り組みに触れる機会を下記のとおり提供しました。

日時	担当教員	内容
第1回(令和元年10月23日)	赤嶺守 教授	沖縄における中国文化の受容
第2回(令和元年11月6日)	山里勝己 教授	アメリカ文学の中の自然
第3回(令和元年11月13日)	山里純一 教授	ヤンバルの「星」にまつわる伝承と習俗
第4回(令和元年11月27日)	波照間永吉 教授	琉球文学の中のヤンバル
第5回(令和元年12月11日)	住江淳司 教授	ブラジル人の処世術ージェイチャーニョ・ブラジレイロ ブラジル人の問題解決法

令和元年度 採択研究課題

研究種目	研究課題	研究代表者	採択期間
基盤研究(C)	都市部と農漁村部における地域力を活かした「近助」ケアシステムの開発	安仁屋優子(看護学科)	H30～R2年度
基盤研究(C)	ヘルスリテラシーの向上に着目した島民の「肝臓を守る健康教育プログラム」の開発	島袋尚美(看護学科)	H30～R2年度
基盤研究(C)	ヨーロッパ言語と日本語・中国語比較による主題構造のカートグラフィー研究	中村浩一郎(国際学群)	H31～R3年度
基盤研究(C)	談話と理解度を中心とした小学校英語教員のオンラインによるスピーキング能力の開発	渡慶次正則(国際学群)	H31～R3年度
基盤研究(C)	離島・へき地で働く看護職者のキャリア発達支援と継続教育方法の検討	清水かおり(看護学科)	H31～R3年度
基盤研究(C)	輸入感染症の脅威にさらされている沖縄県在住大学生の危機意識の実態と支援体制の構築	西田涼子(看護学科)	H31～R4年度
基盤研究(C)	精神障害者の生活行動に急速な改善をもたらすフットケアによる看護援助モデルの開発	鬼頭和子(看護学科)	H31～R4年度
基盤研究(C)	認知症支援困難事例から始まる地域と大学との協働による地縁ネットワーク開発	下地幸子(看護学科)	H31～R3年度
若手研究	台湾進出日本企業を対象とした国際財務報告基準の戦略的適用に関する研究	仲尾次洋子(国際学群)	H30～R2年度
若手研究	近現代の比叡山におけるツーリズム空間化による教団システムの変容	卯田卓矢(国際学群)	H30～R2年度
若手研究	明治期における条約改正交渉と「琉球処分」政策のトランスナショナルな運動性	山城智史(リベラルアーツ機構)	H30～R2年度
若手研究	和歌・和文から見た琉球・日本の文化交流	屋良健一郎(国際学群)	H31～R4年度
若手研究	へき地のソーシャル・キャピタルを「8050」世帯の支援に活かす介入研究	田場真由美(看護学科)	H31～R3年度
若手研究	国際的スポーツイベントを通じた都市ブランディングに関する実証的研究	平野貴也(スポーツ健康学科)	H31～R3年度
若手研究	卓球において回転戦術が得点に及ぼす影響の定量化	玉城将(スポーツ健康学科)	H31～R3年度
挑戦的研究(萌芽)	沖縄の地域文化に根ざした自死遺族支援の構築—相互扶助の中で忌避される自死—	鈴木啓子(看護学科)	H30～R2年度
挑戦的研究(萌芽)	島嶼地域における女性の主体的移動と近現代社会に与えた普遍的インパクトに関する研究	小川寿美子(スポーツ健康学科)	H30～R2年度

宇流麻学術研究助成基金

令和元年度実績

研究代表者	研究課題
新城慈(看護学科)	ケアスタッフの日常倫理の検討と促進への試み—日常倫理がある組織文化の醸成を目指して—

アイランドキャンパス事業 (鹿児島県離島振興協議会)

令和元年度実績

研究代表者	研究課題
屋良健一郎(国際学群)	種子島と沖縄の交流史

受託研究

令和元年度実績

研究代表者	研究テーマ	委託者
本村純(看護学科)	「ウチナーンチュの認知症有病率に影響を与える先天的要因と後天的要因の検討」	平成31年度沖縄・ハワイ協力推進事業
砂川昌範(看護学科)	ヒト臍帯静脈血管内皮細胞におけるeNOS mRNA発現に対するシークワサーの効果	沖縄美ら島財団助成事業

令和元年度受託研究・事業等

受託研究・事業

	受託者	事業名	委託者
1	名桜大学	真の社会イノベーションを実現する革新的「健やかな力」創造拠点	国立研究開発法人科学技術振興機構
2	名桜大学	平成31年度知的・産業クラスター支援ネットワーク強化事業(大学等研究者の学外連携促進)再委託業務「やんばる」の食材・食品における機能性検証事業	公益財団法人沖縄科学技術振興センター
3	名桜大学	北部教育研修センター実証実験	北部広域市町村圏事務組合

# 地域貢献 I REGIONAL CONTRIBUTIONS

## 名桜大学と地域をつなぐ総合窓口

### 地域連携機構

平成25年4月1日、エクステンションセンターを北部生涯学習推進センター施設内に設置(平成29年4月1日、地域連携機構に名称変更)。名桜大学における教育研究の成果を積極的に地域社会へ還元し、地域への貢献及び地域との連携活動を推進する目的で設置され、大学と地域をつなぐ総合窓口です。

当機構を中心に、その下に委員会を設置し、国際学群・人間健康学部、総合研究所、事務局、健康・長寿サポートセンター、看護実践教育研究センター、北部教育研修センターとの連携を図り、大学の使命の一つである地域貢献を果たしていきます。



### 令和元年度 公開講座 活動実績

講座名	開催日	講師
救急法救急員養成講習会 (赤十字救急法救急員養成講習会)	5月25日(土)、26日(日)、6月2日(日)	前川 美紀子(人間健康学部スポーツ健康学科 教授) 学外講師 5名
ハブ対策講座	6月20日(木)	新垣 裕治(国際学群 観光産業教育研究学系 教授) 学外講師 1名
ヤンバルの森を舞う蝶と環境	7月6日(土)	田代 豊(国際学群 観光産業教育研究学系 教授) 学外講師 1名
誤用から学ぶ中国語形容詞の使い方	7月7日(日)	賀 南(リベラルアーツ機構 上級准教授)
東屋部川ナイト・カヌー探検	8月31日(土)	新垣 裕治(国際学群 観光産業教育研究学系 教授) なぐまさの会 5名

### 令和元年度 地域出前講座 活動実績

講座タイトル	開催日	講師	機関・団体名
認知症のこともっとしりたいと思いませんか	7月23日(火)	永田 美和子 (名桜大学 人間健康学部 看護学科 教授)	名護市地域包括支援センター
“メタボリック症候群、 メタボを理解して生活習慣病を予防しよう”	7月26日(金)	高瀬 幸一 (人間健康学部 スポーツ健康学科 教授)	名護市役所 健康増進課
子どもと語るう性教育 ～思春期の子供たちの性の現状を把握し、命の大切さを伝えていきたいと思いますか～	8月5日(月)	長嶺 絵里子 (人間健康学部 看護学科 助教)	沖縄県立名護特別支援学校
ファーストフードの秘密	8月23日(金)	高瀬 幸一 (人間健康学部 スポーツ健康学科 教授)	名護市役所 生活支援課 生活サポート係
出張健康鑑定団 あなたの健康度測定してみませんか	8月23日(金)	高瀬 幸一 (人間健康学部 スポーツ健康学科 教授)	名護地区ろうきん友の会
認知症のことを知りたいと思いませんか	8月23日(金)	永田 美和子 (人間健康学部 看護学科 教授)	名護市地域包括支援センター
ヒューマンエラーの心理学	9月5日(木)	金城 亮 (国際学群 経営情報教育研究学系 教授)	北部支部高校看護教諭研究会
オリンピックの歴史	9月6日(金)	大峰 光博 (人間健康学部 スポーツ健康学科 准教授)	(一社)沖縄県労働基準協会北部支部
沖縄の教育の歩み	10月4日(金)	嘉納 英明 (国際学群 国際文化教育研究学系 教授)	沖縄科学技術大学院大学(OIST)
認知症のことを知りたいと思いませんか	10月8日(火)	永田 美和子 (人間健康学部 看護学科 教授)	名護市地域包括支援センター
ちゃ〜がんじゅう健康セミナー	11月30日(土)、 12月1日(日)	比嘉 憲枝 (人間健康学部 看護学科 上級准教授)	東村地域包括支援センター

### 健康・長寿サポートセンター

#### MEIO COOL HEALTH PROJECT

健康・長寿サポートセンターは、スポーツ・健康科学、看護科学、医科学に関する知見を応用し、科学的根拠に基づく健康支援活動を北部12市町村の人々に提供するための中核機能を果たすことを目的として、平成24年12月21日に設立。

主な活動として、「ヘルスサポート(健康支援活動)」、「食育劇活動」、「名護市宮里地区朝市健康相談活動」などがあり、大学で学んだ専門知識を学生が地域に積極的に健康支援という形で還元(展開)しています。平成26年には、厚生労働省スマートライフプロジェクト「第3回健康寿命を伸ばそうアワード」において健康局長優良賞を受賞。また平成29年2月には、第1回沖縄県健康づくり表彰「がんじゅうさびら賞:知事表彰」においてヘルスサポートが準グランプリを受賞。平成30年3月には、スポーツ庁ガイドライン(スポーツ推進アクションガイド ~Enjoy Sport, Enjoy Life~)に国の先進的な活動事例として掲載。



## 令和元年度 ヘルスサポート 活動実績

市町村	活動内容	実施回数	活動時間	参加人数
沖縄県	2019年度みんなでヘルスアクション創出事業共催：JOYBEAT運動教室、健康測定、健康相談	2	16	669
沖縄県医師会	第9回県民健康フェア、第29回沖縄県医師会県民公開講座：JOYBEAT運動教室、健康測定、健康相談	2	7	252
うるま市	うるま市健康増進プロジェクト：JOYBEAT運動教室、健康測定、健康相談	3	6	52
大宜味村	大宜味村健康長寿復活支援プログラム：健康講話、スポーツレク、JOYBEAT運動教室、健康測定、健康相談など	12	39	317
東村	JOYBEAT運動教室、健康教室、健康相談	45	90	292
名護市	北部生涯学習推進センター：JOYBEAT運動教室、FESTA運動教室、健康測定、健康相談	11	33	251
	古我知区自治会：JOYBEAT運動教室、健康測定など	8	15	75
	宮里病院：健康支援交流会	3	6	83
	やんばる健康フェア：JOYBEAT運動教室、健康測定、FESTA、食育SAT（21世紀の森体育館）	2	8	224
伊平屋村	JOYBEAT運動教室	2	5	48
伊江村	JOYBEATによる運動教室、健康測定	3	7	60
本部町	JOYBEATによる運動教室、健康測定（本部町福祉まつり）	13	42	212
その他	沖縄県内における健康支援活動等	10	33	393
<b>地域活動総計</b>		<b>116回</b>	<b>307時間</b>	<b>2,928人</b>
JOYBEATルーム	JOYBEATによる運動教室開催（北部生涯学習推進センター2F研修室2）	189日	1,040	2,614
感謝状	大宜味村：「健康増進活動への貢献、村民の健康づくりの普及啓発への寄与」として			
ガイドライン	スポーツ庁ガイドライン：スポーツ推進アクションガイド～Enjoy Sport, Enjoy Life～ 掲載			

## 令和元年度 食育劇活動 活動実績

主に12市町村の小学校や地域住民に、食育劇や食育に関する講話を年間通して16回実施しました。また、4月に発刊した絵本を12市町村の教育関係機関等に配布しました。今年度は劇と併せて、食育絵本や紙芝居も活用することで、より一層の食育推進につながりました。

## 令和元年度 名護市宮里地区朝市健康相談活動 活動実績

宮里区が主催する『朝市』の場を活用して、住民の健康チェックおよび健康相談活動等を毎月1回開催し、4月～3月までに延べ人数で484名の住民の健康づくりを支援しました。また、宮里地区以外の6地域で同様に健康支援活動を行い、総勢807名の住民の参加がありました。

## 弘前大学COI (Center of Innovation) ・連携拠点

名桜大学は平成30年度より弘前大学COIの連携拠点大学としてやんばるの健康長寿復活を目的とした調査研究を始めました。この研究は、沖縄県北部地区住民の健康状態の現状とその問題点を医学的観点から包括的かつ詳細に調査し、①住民の健康維持・増進、日常生活活動(quality of life; QOL)の向上に資すること、②疾病の予防及び健康の保持・増進を包括的に研究することを目的としています。名桜大学と北部12市町村の協力自治体による共同プロジェクトでもあり、「社会貢献」、「学生教育」及び「研究推進」への寄与を企図しています。

## 看護実践教育研究センター

### “実践・教育・研究”の地域拠点 (Center of Community)

名桜大学看護実践教育研究センターは、北部地域の保健・医療・福祉施設におけるケアの質の向上を目的とした看護系職員の継続教育・研究の支援を行っています。関係自治体や機関等と連携し、少子・高齢化社会に対応するケアの“実践・教育・研究”の地域拠点(Center of Community)を目指します。やんばるの地に根ざしたケアリング文化並びに社会の発展に貢献する看護系人材養成を目的とした事業を行っています。



## 令和元年度 看護実践教育研究センター 活動実績

活動内容	開催日	実施組織
臨床で活かす看護・介護研究～ケアの質の向上を目指して～	6/15(土)、6/22(土)、6/29(土)、7/6(土)	看護実践教育研究センター
北部地域看護・介護実践報告会および表彰式(表彰式のみ、センター長が各施設に訪問して実施)	3/11(水)、3/16(月)、3/18(水)、3/24(火)	看護実践教育研究センター
北部地域看護管理者懇談会	1/24(金)	看護実践教育研究センター
看護における「常識」と「情報」を考えるワークショップ	8/17(土)	ゆんたくケア研究会
ケアに携わる人が「知っておきたい足と爪の機能と手入れ	8/17(土)	ゆんたくケア研究会
講演会：子どもと家族のトータルケア	6/15(土)	おきなわ小児看護研究会
保健師スキルアップ研修会	9/14(土)	地域看護領域教員
やんばる母子支援研究会	5/18(土)、7/20(土)、11/1(金)、12/6(金)、2/7(金)	小西清美、長嶺絵里子、大浦早智
高齢者・在宅ケア情報交換会	5/18(土)、11/23(土)、1/25(土)	永田美和子、稲垣絹代、佐和田重信、下地幸子、安仁屋優子、九津見彩子
高齢者の摂食嚥下機能と口腔ケア	9/14(土)	永田美和子、稲垣絹代、佐和田重信、下地幸子、安仁屋優子、九津見彩子
やんばるを訪れる外国人の保健医療サポート検討会	2/8(土)	やんばる外国人の保健医療サポートを考える会
『産科医療補償制度』原因分析および再発防止に関する提言～1人1人の“安心、安全、満足”な出産を目指して～	6/30(日)	やんばる子育て支援プロジェクト
爆笑お笑い子育てライブ	2/15(土)	Changing Child Bath研究会
地域に根差した看護研究について話題提供します！「自助グループに参加していないアルコール依存症者の体験」及び「長期入院精神障害者へのボランティアの現状と課題」	4/20(土)	精神看護研究会
精神専門看護師と共に考える「メンタルヘルス・精神看護事例検討会～2回シリーズ～」	6/22(土)、1/25(土)	精神看護研究会
やんばる地域の精神保健福祉はどうなっている？ 変化の激しい地域精神保健福祉について、この際だから何でも聞いてしまおう！	5/25(土)	精神看護研究会
学習障害？発達障害？教育現場における気になる学生への支援を考える	7/27(土)	精神看護研究会
ヨガ専門講師による心身の緊張をほぐすリラクゼーションを体験しよう！ 呼吸法の知識を学び自分のリラックスまた他の人のリラックスに役立てよう	10/19(土)	精神看護研究会
精神障がい者と働くということ	2/29(土)	精神看護研究会
がん患者の思い・意思決定を支えるコミュニケーションスキル(基本編)	7/20(土)	臨床看護研究会
がん患者の思い・意思決定を支えるコミュニケーションスキル(応用編)	9/28(土)	臨床看護研究会
がん患者の思い・意思決定を支えるコミュニケーションスキル(実践編)	1/25(土)	臨床看護研究会
臨床看護スキルアップセミナー ～HIV/AIDS患者の支援体制の現状と課題～	12/7(土)	臨床看護研究会
ICLSコース(Immediate Cardiac Life Support Course)	1/25(土)	美ら島ナース支援研究会

## 地域貢献 II REGIONAL CONTRIBUTIONS

### 名桜大学のさまざまな機能・施設を地域のみなさんに提供します。



名桜大学は、沖縄県北部12市町村とその住民に支えられて開学した経緯があり、地域住民に開かれた大学を目指しています。そのため本学の機能・施設を地域住民に開くことは、本学の重要なサービスの一つです。

現在、名桜大学が地域に提供している機能・施設として、図書館の一般利用、授業科目の公開、各種体育施設の団体利用、さまざまなイベントに対応できる多目的ホールなどがあります。それらの利用に関してご案内します。

#### 施設の利用案内

##### 学生会館 SAKURAUM 利用案内

「学生の主体的な学び」の場として、先輩・後輩コミュニティを基本とした学習支援や、教員、職員、学生、市民が自律的に学習できる環境の実現を目的に名桜大学学生会館SAKURAUMが建設されました。教職員、学生、市民の教育・学習・研究活動が「みえる・つながる・ひろがる」をコア・コンセプトとしており、学内外の交流の場として有効に活用されています。

開館時間等	○ 月～金 / 8:00～20:00 ※長期休業中（夏季、冬季、春季休業） 月～金 / 8:00～18:00
休館日	○ 土・日・祝祭日 ○ 6月23日（慰霊の日） ○ 夏季休暇（教職員） ○ 12月28日～1月3日までの日

##### 学生会館 SAKURAUM の主な館内施設

6階	スカイホール（ホールA・ホールB）	会議等
5階	キャリア支援課・国際交流センター・S-CUBE 学生会館運営室・アクティブラーニングスペース・研修室B カンファレンスルームB・カンファレンスルームC	学生支援関連
4階	言語学習センター・数理学習センター・ライティングセンター ウェルナビ・アクティブラーニングスペース・研修室A カンファレンスルームA	学生支援関連
3階	大講義室A・大講義室B・学生ラウンジ	学習・講義関連
2階	カフェ	
1階	総合窓口・ウェルカムホール・ ホームカミングコーナー・プレゼンテーションコーナー	エントランス

問い合わせ先 学生会館運営室 TEL 0980-51-1200

##### 多目的ホール

多目的ホールは名護市と本学との合意により建設された施設で、名護市における教育、文化及び産業活動、そして名桜大学の教育研究活動の活性化を図るために行われる各種事業に供されています。

外部利用が可能な施設としては、講堂、研修室、マルチメディア講義室、マルチメディア編集室、屋外ステージがあります。これらの施設は、名桜大学生や名護市民はもちろん、県内の各種団体、公共機関のみなさんが利用できます。使用料や申し込み等の詳細については、下記の担当窓口までお問い合わせください。

利用日	原則として次に挙げる日以外の日 ・ 土曜日、日曜日 ・ 祝祭日 ・ 12月28日～翌年1月4日
時間	原則として9:00から21:00までの間

問い合わせ先 施設課 TEL 0980-51-1246

##### その他の大学施設利用案内

学内の教育研究活動及び行事が優先となりますが、講義棟の教室やグラウンド、体育館、テニスコート等の体育施設も支障がない範囲で地域の皆様の借用が可能となります。利用を希望する場合、下記の担当窓口までお問い合わせください。

問い合わせ先 施設課 TEL 0980-51-1246

##### 名桜大学附属図書館

約16万冊の図書資料を学外のみなさんにも提供しています。館外貸出を希望されるみなさんは「図書館利用者証」の発行手続きをとってください。開館時間、その他の問い合わせなどは下記まで。

開館時間等	● 月～金 / 8:45～22:00 ● 土曜日 / 12:00～18:00 ※長期休業中（夏季、冬季、春季休業） 月～金 / 8:45～17:00 土曜日 / 12:00～18:00																		
休館日	● 日・祝祭日 ※開館時間の変更、臨時休館は随時館内に掲示しお知らせします。																		
図書館のサービス	● 図書等の貸出 学外者で図書の貸出を希望する場合は図書館利用者証の発行手続きが必要です（無料）。その際、現住所（県内在住）の証明できる身分証（運転免許証など）、顔写真1枚（縦3cm、横2.5cm）をご持参ください。 なお、県内在住の高校生を含む15歳以上19歳未満の方は保護者の同意書が必要です。利用者の有効期限は発行日から1年間です。 ● 端末機で図書情報を検索 ● 文献複写サービス ● インターネットの利用 ● 視聴覚サービス																		
名桜大学懸賞作品コンクール	高校生以上の県内在住者及び県出身者を対象とした小説と詩歌の懸賞作品コンクールを平成17年より毎年実施しています。平成28年度より小説部門、詩部門、短歌部門の3部門に分け、それぞれの受賞作品の作者には賞状と賞金が授与されます。																		
館外貸出冊数及び期間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>冊数</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>10冊以内</td> <td>4週間以内</td> </tr> <tr> <td>大学院生</td> <td>10冊以内</td> <td>4週間以内</td> </tr> <tr> <td>学部学生</td> <td>5冊以内</td> <td>2週間以内</td> </tr> <tr> <td>事務局職員</td> <td>5冊以内</td> <td>2週間以内</td> </tr> <tr> <td>学外者</td> <td>2冊以内</td> <td>2週間以内</td> </tr> </tbody> </table>	区分	冊数	期間	教員	10冊以内	4週間以内	大学院生	10冊以内	4週間以内	学部学生	5冊以内	2週間以内	事務局職員	5冊以内	2週間以内	学外者	2冊以内	2週間以内
区分	冊数	期間																	
教員	10冊以内	4週間以内																	
大学院生	10冊以内	4週間以内																	
学部学生	5冊以内	2週間以内																	
事務局職員	5冊以内	2週間以内																	
学外者	2冊以内	2週間以内																	

問い合わせ先 名桜大学附属図書館 TEL 0980-51-1062

##### 名桜大学環太平洋地域文化研究所

名桜大学環太平洋地域文化研究所は「地域に根差した研究所」をモットーに日頃の研究成果を広く地域社会へ還元することを目的とし、以下のような事業に取り組んでいます。

1. 環太平洋地域文化研究所紀要の発行、研究発表会の開催
2. 研究助成（学際的共同プロジェクト研究、特定研究、出版助成）
3. 基盤形成事業、地域貢献研究萌芽のプロジェクト
4. 科学研究費および外部の研究助成・受託研究・共同研究の受入
5. コンプライアンス教育研修会の開催
6. 環太平洋地域文化研究所主催のシンポジウム・講演会

シンポジウム・講演会等の開催については、ウェブサイト等を通じて随時お知らせします。詳しくは下記の担当窓口までお問い合わせください。

問い合わせ先 名桜大学環太平洋地域文化研究所 TEL 0980-51-1107

## 名桜大学 授業科目の公開

名桜大学は、社会人の生涯教育、リフレッシュ教育の推進を図るため、平成13年度後学期から正規の授業科目を広く社会人に公開しています。前学期(4月～7月)、後学期(10月～1月)の受講生の募集受付は、ウェブサイトでご案内します。学期の始まる1ヶ月程度前までのお申し込みとなります。

受講対象者	一般社会人、シニアシティズン (60歳以上)
公開される授業科目	実習、演習、実技科目を除くすべての科目
受講の条件と資格等	名桜大学に通学して、学生とともに15週にわたって受講できる社会人であること。1週間における授業回数は1科目で1回または2回です。社会人であれば学歴を問いません。1人2科目まで受講できます。
受講料	1科目につき、7,000円(テキスト代は別) (シニアシティズンの方は、1科目は受講料を徴収しない。) その他、問い合わせは下記まで。

問い合わせ先 教務課 TEL 0980-51-1055

## 名桜大学出張講座 一中・高等学校対象一

名桜大学では、沖縄県内の高等学校、北部所在の中学校、奄美地域所在の高等学校を対象に「出張講座」を実施します。総合学習の時間、ロングホームルームの時間をご利用しご活用ください。

### 【令和2年度 名桜大学出張講座 一中・高等学校向け一】

講座名称	講師名/専門分野
<b>【国際文化専攻】</b>	
沖縄の教育の歩み	嘉納 英明(教育学)
『おもろさうし』からみる地域の歴史・民俗文化	照屋 理(琉球文学)
短歌をよむ	屋良 健一郎(日本史、日本文化)
琉球と薩摩	屋良 健一郎(日本史、日本文化)
江戸時代の日本と外国	屋良 健一郎(日本史、日本文化)
インカ帝国の文化と信仰	上原 なつき(文化人類学)
<b>【語学教育専攻】</b>	
英語圏留学をしてみませんか	渡慶次 正則(英語教育)
英語を使うときに知っておきたい「英語の秘密」	中村 浩一郎(論理言語学)
小説作品における沖縄本島北部の描かれ方	小嶋 洋輔(日本近・現代文学研究)
An Introduction to English Poetry	メーガン クックマン(アメリカ文学)
日本語教師ってどんな仕事?	当銘 盛之(日本語教育学)
英語を自分のものにしよう!	半嶺 まどか(応用言語 TESOL)
多言語社会を考える	半嶺 まどか(応用言語 TESOL)
<b>【経営専攻】</b>	
新しい経済学 行動経済学からみた人の経済活動	宮平 栄治(経済学)
おこづかい帳と簿記	仲尾次 洋子(財務会計)
起業する(会社をつくる)	林 優子(経営戦略)
経営学誕生のひみつー理論と実践の融合ー	大城 美樹雄(経営学)
<b>【情報システムズ専攻】</b>	
情報通信の物語～情報/パケットと紙飛行機	アリ、ファテヘルアリム(情報工学)
ロボットと話をする日	中里 収(情報化社会論)
インターネット検索のしくみ～Googleを例にして～	田邊 勝義(情報検索、画像処理)
電子計算機がコンピューターになったワケ	佐久本 功達(教育工学)
おてがるスマホゲーム作成 ～ビジュアルプログラミング体験～	佐久本 功達(教育工学)
SEとPGって?何が違うの? ～IT業界の業種と職種～	天願 健 (ソフトコンピューティング)
無料ソフトで自分の家をデザインしてみない?	アラスン、ピーター (コンピュータ・グラフィックス)
<b>【診療情報管理専攻】</b>	
現代医療とPOMR	大城 真理子(病理診断学)
わが国の診断群分類	上門 要(診療情報管理学)
<b>【観光産業専攻】</b>	
沖縄のホテルの歴史と進化するホテルについて	東恩納 盛雄(ホテル経営論)
「エコツーリズム」、沖縄の観光の魅力はこれに尽きる!	新垣 裕治(生物学、エコツーリズム)
グレートバリヤリーフでの環境保全と観光	新垣 裕治(生物学、エコツーリズム)
沖縄のマングースと移入種	新垣 裕治(生物学、エコツーリズム)
ヤンパレクイナが絶滅の危機!現状と対策	新垣 裕治(生物学、エコツーリズム)
やんばると奄美の赤土汚染	田代 豊(環境科学)
必殺!「環境調査人」のお仕事	田代 豊(環境科学)
人間と環境ーなぜ木を植えるのか?ー	田代 豊(環境科学)
米軍基地の環境問題	田代 豊(環境科学)
<b>【スポーツ健康学科】</b>	
科学的に捉える世界最速スプリンターボルト選手の秘密	高瀬 幸一(運動生理学)
筋肉の種類で決まる運動種目の適正 「トレーニングを科学する」	高瀬 幸一(運動生理学)
ハビネス「幸せも健康も手にするシークレッド・メソッド」	高瀬 幸一(運動生理学)

講座名称	講師名/専門分野
「遺伝」するもの、しないもの!性格・頭脳・運動神経・病気...	高瀬 幸一(運動生理学)
沖縄=長寿?沖縄の健康が危ない!	高瀬 幸一(運動生理学)
ファーストフードの驚くべき秘密「知ると怖〜い食べ物」	高瀬 幸一(運動生理学)
スポーツコーチングを体験しよう	平野 貴也(スポーツコーチング)
生涯スポーツ社会の必要性	平野 貴也(スポーツコーチング)
街を活性化するためのスポーツイベントの開催	平野 貴也(スポーツコーチング)
なぜ日本男子4×100mリレーは世界でメダルを獲得ようになったのか	小賦 肇(スポーツコーチング)
競技場面でベストパフォーマンスを発揮するには	小賦 肇(スポーツコーチング)
「ランニング」から「スプリント」へ、「スプリント」へチャレンジしよう!	小賦 肇(スポーツコーチング)
スポーツパフォーマンス向上大作戦 ～あなたの実力は眠っていませんか～	仲田 好邦(コーチング)
部活動でキャリア形成 ～部活が将来のあなたを助けてくれます～	仲田 好邦(コーチング)
文武合一 ～名桜大学スポーツ健康学科で学べること～	仲田 好邦(コーチング)
揺れる思春期 ーごころから、そして性のことー	神田 奈津子(学校保健)
脱・三日坊主! “続ける”ための行動変容テクニック	神谷 義人(健康教育)
“武道”を知ろう・考えよう	濱本 想子(体育、身体教育学)
ダイエット情報のウソ・ホント?	奥本 正(スポーツ栄養学)
スポーツ選手の栄養摂取方法	奥本 正(スポーツ栄養学)
熱中症にならないためには!	奥本 正(スポーツ栄養学)
<b>【看護学科】</b>	
進路に悩んでいるあなたへ	大城 凌子(基礎看護学)
看護の魅力(Part1・∞)	大城 凌子(基礎看護学)
「いのちの誕生から看取るその日まで」	大城 凌子(基礎看護学)
感情労働と看護ー「白衣の天使」像の矛盾と葛藤ー	鈴木 啓子(精神看護学)
誰にでも起こりうる精神的トラブル ー身近な人から「死にたい」と訴えられたらー	鈴木 啓子(精神看護学)
赤ちゃんってすごいを学ぼう	島田 友子(母性看護学)
予防接種について理解を深めよう	松下 聖子(小児看護)
月経に伴う症状に対するセルフケアについて	小西 清美(母性看護学)
性と生について考えよう ー思春期の心とからだについてー	鶴巻 陽子 (助産学・母性看護学)
お小遣いを自分で管理すること ～精神の病を抱えて生きる～	村上 満子(精神看護学)
退院したいけど退院したくない～精神科病院で長期入院している患者さんのこと～	村上 満子(精神看護学)
現代社会を生きる若者の特徴とケアリング	下地 紀晴(成人看護学)
がんと共に生きる	玉井 なおみ(がん看護学)
認知症について知ろう&できることを始めよう!	永田 美和子 (高齢者在宅看護)
高齢者に優しく接していますか。	永田 美和子 (高齢者在宅看護)
地域のつながりとケアリング(仮)	比嘉 憲枝(地域看護)
国際保健とケアリング	横川 裕美子(国際看護)
新型コロナウイルス感染症拡大を予防しよう!	西田 涼子(感染看護)
<b>【リベラルアーツ機構】</b>	
はじめて学ぶ中国語	山城 智史(歴史学/中国語教育)
中国語 初級から中級へ	山城 智史(歴史学/中国語教育)
中国近現代史と外交	山城 智史(歴史学/中国語教育)
琉球処分と国際情勢	山城 智史(歴史学/中国語教育)
科学で紐解く物質の世界	立津 慶幸(物理学)

問い合わせ先 入試・広報課 TEL 0980-51-1056



## 本部棟 ..... 平成8年3月完成



4階	理事長室、学長室、事務局長室、副学長室、第一会議室
3階	人間健康学部学長室、総務企画部、財務部、第二会議室
2階	国際学群学長室、教務部、非常勤講師控室
1階	守衛室、防災センター

## 研究棟 ..... 平成6年4月完成



2～5階	教員研究室
1階	大学院国際文化研究科、助産学専攻科

## 講義棟 ..... 平成6年4月完成



大講義室3室
中講義室6室
語学系講義室9室、多目的教室2室、事務室1室
ゼミ室3室
自然系実験室1室
情報系講義室4室（内準備室1）

## 多目的ホール ..... 平成11年6月完成



名護市により建設されたドーム型の多目的施設。大ホールは451席のスペースを有し、授業や講演会、学会、シンポジウム、コンサートなど、学内外に広く開放・利用されている。

## 附属図書館 ..... 平成6年4月完成



教育研究に必要な図書資料・情報を収集・整理・保存し、学生・教員そして市民に利用を提供している。蔵書数は次のとおり。

平成31年4月1日現在

資料種別	資料種別	蔵書数
図書(冊)	和	126,893
	洋	39,342
	合計	166,235
雑誌(種)	和	949
	洋	279
	合計	1,228
A V(点)	和	3,000
	洋	383
	合計	3,383

## 北部地域看護系医療人材育成支援施設（看護学科棟） ..... 平成21年3月完成



看護学科棟は、北部地域看護系医療人材育成支援機能を兼ねて、高度な教材備品と、充実した設備が完備されている。開放的な空間が広がり、各階のピロティには、ポップカラーのテーブルと椅子が配置され、学生の憩いの場となっている。

## 人間健康学部実験・実習棟…… 平成18年3月完成



トレーニング機器や筋機能測定装置、トレッドミル・エルゴメーターなどを備えた運動学・運動生理学実験室、看護・介護・養護実習室、プレイルーム・心理学実験室などの充実した設備が完備されている。

## 保健センター ……………



保健センターでは、保健室、学生相談室で学生、教職員がセルフメディケーションを行えるようサポートしている。さらに、学業・人間関係・健康の保持増進(身体面・精神面)・疾病の予防・活動(部活動・サークル活動・アルバイト等)を通し、よりよい学生生活を営むことができるよう、自己管理を目標とし、学生を中心にびあ活動を行っている。

【保健室利用時間】 8:30～19:00

【学生相談室利用時間】 保健室にてご確認ください。※要予約

## 体育館 …………… 平成7年1月完成



講義での使用はもちろん、バスケットボール、ハンドボール、バレーボールなどのサークル活動でも使用されている。

## 野球場 …………… 平成16年3月完成



硬式野球部のサークル活動で利用されている。充実した課外活動が行えるよう、夜間照明設備も整備されている。

## 留学生センター…… 平成6年4月完成(1階) 平成11年1月増築分完成(2・3・4階)



留学生センターはキャンパス内の宿舎で、全室個室でキッチン、バス、トイレ、冷蔵庫、食器棚、ベッド、クーラーを完備した95室が用意され、主に外国人留学生を対象に学習・生活の支援を行っている。

## 学内食堂・売店…………… 平成6年4月完成



学内食堂 名護湾を見下ろせるコーナーやボックスシート、ランチタイムを快適に過ごせるような空間となっている。メニューは栄養バランスが配慮され、価格は280円から480円。座席数は320席、営業時間は11時から15時まで。施設は8時から20時まで開放。

売店 8時から19時まで営業。教科書をはじめ、書籍、雑誌、文具、日用雑貨、弁当、菓子パン、スナック菓子や飲料水等を販売。

## 屋内プール…………… 平成17年3月完成



屋内プールは、25mのプールと水深5mのダイビング訓練用潜水プールを備えており、授業やサークル活動は勿論のこと消防の訓練でも使用されている。

## 北部生涯学習推進センター…… 平成16年10月完成



沖縄県北部地域における生涯学習や地域振興に資する人材育成などを目的とした、産官学の連携による名護市公共施設としてキャンパス内に建設され、管理・運営が名桜大学に委託されている。施設内には、研修室、パソコンルームなどが整備されている。

## ～「みえる・つながる・ひろがる」をコア・コンセプトにした交流の場～

名桜大学開学20周年・公立大学法人化5周年記念事業の一環で「学生の主体的な学び」の場として、先輩・後輩コミュニティを基本とした学習支援や教員、職員、学生が自律的に学習できる環境の実現を目的に、名桜大学学生会館SAKURAUMが建設された。学内外の交流の場としても有効に活用されている。



### SAKURAUMとは

名桜大学の桜＝サクラのイメージとドイツ語で空間を意味するラウム (Raum) を合わせて、サクラ+ラウムの造語。サクラウム＝桜生むということで、この施設で新たな教育の原動力を生むことにもつながります。

**1F ウェルカムホール**

開放感のあるエントランスの一角には仕切りのないプレゼンテーションコーナーが設置されている。



**2F カフェ**

コミュニケーションスペースとして利用。琉球畳を敷いたスペースもある



**3F 大講義室 (2室)**

248人収容の大講義室



**4F 学生支援**

言語学習センター  
数理学習センター  
ライティングセンター  
アクティブラーニングスペース  
ウェルナビ



**5F 学生支援**

キャリア支援課  
国際交流センター  
アクティブラーニングスペース  
S-CUBE



**6F スカイホール**

名護湾・名護市街が一望できる最上階のスカイホール



### 多目的グラウンド・・ 平成8年3月完成 (平成28年11月改修) テニスコート ..... 平成12年4月完成 (平成28年11月移設) 多目的広場 ..... 平成16年3月完成 (平成29年6月改修)

全天候型ウレタン舗装の400mトラック (6レーン、直線部6レーン)、フィールド競技として走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投を設置し、日本陸連4種公認取得の陸上競技場及びインフィールドに人工芝のサッカー場とラグビー場を設けた。講義・課外活動をはじめ各種大会等も行われている。

また、周辺整備として全面人工芝2面のテニスコートを移設整備し、多目的広場をソフトボールおよび軟式野球場の練習場として改修した。平成29年8月から夜間の使用も可能。

面積：多目的グラウンド	17,465.00㎡
テニスコート	1,277.80㎡
多目的広場	3,261.00㎡



## 国際学群・人間健康学部

### 在籍者数

令和2年5月1日現在

学部	学科	入学定員 (編入)	1年次			2年次			3年次			4年次			合計			収容 定員	定員 超過率
			男	女	男女計	男	女	男女計											
国際学群	国際学類	280(15)	122	180	302	105	196	301	143	192	335	137	179	316	507	747	1,254	1,150	1.09
人間健康 学部	スポーツ健康	95(5)	57	44	101	60	43	103	64	44	108	56	48	104	237	179	416	390	1.07
	看護	80(5)	11	72	83	10	81	91	23	63	86	9	78	87	53	294	347	330	1.05
	小計	175(10)	68	116	184	70	124	194	87	107	194	65	126	191	290	473	763	720	1.06
合計		455(25)	190	296	486	175	320	495	230	299	529	202	305	507	797	1,220	2,017	1,870	1.08

### 国際学群国際学類専攻別在籍者数

令和2年5月1日現在

学群	学類	専攻	3年次				4年次				合計			
			男	女	男女計	学年全体比	男	女	男女計	学年全体比	男	女	男女計	専攻全体比
国際学群	国際学類	専攻なし	2	4	6	1.8%	0	0	0	0.0%	2	4	6	0.9%
		国際文化	35	50	85	25.4%	29	43	72	22.8%	64	93	157	24.1%
		語学教育	30	33	63	18.8%	27	40	67	21.2%	57	73	130	20.0%
		経営	30	25	55	16.4%	33	29	62	19.6%	63	54	117	18.0%
		情報システムズ	13	7	20	6.0%	11	2	13	4.1%	24	9	33	5.1%
		診療情報管理	3	11	14	4.2%	2	9	11	3.5%	5	20	25	3.8%
		観光産業	30	62	92	27.5%	35	56	91	28.8%	65	118	183	28.1%
合計			143	192	335	100%	137	179	316	100%	280	371	651	100%

※国際学群学生は、3年次から専攻に所属する教育システムとなっている。

### 留学生・外国人学生在学数(再掲)

令和2年5月1日現在

国籍	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
中国	11	9	4	3	27
韓国	0	2	1	0	3
ベトナム	1	1	0	0	2
ミャンマー	1	1	0	0	2
台湾	0	0	0	1	1
マレーシア	0	0	1	2	3
ブラジル	0	0	1	0	1
合計	13	13	7	6	39

### 科目等履修生・特別聴講学生・研究生

令和2年5月1日現在

科目等履修生	特別聴講学生	研究生	合計
12	18	0	30

## 都道府県別在籍者数

令和2年5月1日現在

都道府県名	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	都道府県名	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
北海道	14	14	13	8	49	滋賀県	3	1	4	1	9
青森県	0	1	3	2	6	京都府	1	2	2	6	11
岩手県	3	4	3	4	14	大阪府	4	3	4	8	19
宮城県	1	2	4	3	10	兵庫県	9	9	8	9	35
秋田県	0	1	4	1	6	奈良県	1	2	1	3	7
山形県	1	1	1	1	4	和歌山県	1	3	1	1	6
福島県	3	1	3	2	9	鳥取県	2	3	2	3	10
茨城県	10	11	15	6	42	島根県	2	2	1	1	6
栃木県	4	3	4	4	15	岡山県	4	5	3	3	15
群馬県	2	2	1	4	9	広島県	13	14	13	9	49
埼玉県	4	3	4	2	13	山口県	5	2	2	1	10
千葉県	2	0	2	1	5	徳島県	3	1	5	4	13
東京都	4	6	5	7	22	香川県	3	0	2	0	5
神奈川県	2	1	3	0	6	愛媛県	7	9	3	3	22
新潟県	3	4	1	1	9	高知県	1	0	0	0	1
山梨県	2	1	2	1	6	福岡県	18	22	28	22	90
長野県	2	2	1	2	7	佐賀県	2	2	6	8	18
富山県	0	2	0	3	5	長崎県	16	11	12	19	58
石川県	2	2	0	1	5	熊本県	8	15	11	16	50
福井県	0	3	2	1	6	大分県	13	19	16	14	62
岐阜県	4	3	3	0	10	宮崎県	13	12	19	15	59
静岡県	9	11	9	6	35	鹿児島県	28	28	21	37	114
愛知県	4	8	11	7	30	沖縄県	237	229	260	249	975
三重県	3	2	4	2	11	海外	13	13	7	6	39
						合計	486	495	529	507	2,017

※統計上、出身校の所在都道府県を学生の出身都道府県とした。  
ただし、編入生及び大検学生については、帰省先を出身都道府県とした。

## 学生数推移(直近10年)

※年度ごとの学生総数。各年度5月1日現在

学部 学科	年度	2011 (平成23)			2012 (平成24)			2013 (平成25)			2014 (平成26)			2015 (平成27)		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
学 国際 部 国際	国際文化・経営情報・ 観光産業学科	31	5	36	11	1	12	2	0	2	1	0	1	-	-	-
学 国際 群 国際	国際学類	592	428	1,020	583	531	1,114	581	640	1,221	587	699	1,286	588	697	1,285
人間 健康 学部	スポーツ健康学科	299	154	453	277	167	444	239	187	426	234	185	419	225	191	416
	看護学科	60	298	358	61	290	351	65	301	366	69	288	357	79	277	356
	小計	359	452	811	338	457	795	304	488	792	303	473	776	304	468	772
合計		982	885	1,867	932	989	1,921	887	1,128	2,015	891	1,172	2,063	892	1,165	2,057

学部 学科	年度	2016 (平成28)			2017 (平成29)			2018 (平成30)			2019 (平成31)			2020 (令和2)		
		男	女	男女計	男	女	男女計									
学 国際 部 国際	国際文化・経営情報・ 観光産業学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学 国際 群 国際	国際学類	574	708	1,282	567	717	1,284	563	721	1,284	538	751	1,289	507	747	1,254
人間 健康 学部	スポーツ健康学科	230	185	415	233	185	418	232	177	409	244	170	414	237	179	416
	看護学科	74	285	359	68	282	350	67	283	350	54	298	352	53	294	347
	小計	304	470	774	301	467	768	299	460	759	298	468	766	290	473	763
合計		878	1,178	2,056	868	1,184	2,052	862	1,181	2,043	836	1,219	2,055	797	1,220	2,017

※1 2010年(平成22年)公立大学法人へ移行  
※2 国際学部は2007年(平成19年)学生募集停止。2015年(平成27年)3月31日付廃止。



志願・入学状況

令和2年度大学院 入学状況

令和2年4月1日現在

研究科	募集人員	志願者数総計			入学者数総計		
		男	女	計	男	女	計
国際文化研究科(博士後期課程)	2	1	1	2	1	1	2
国際文化研究科(修士課程)	6	4	11	15	0	11	11
看護学研究科(修士課程)	6	5	4	9	4	3	7
合計	14	10	16	26	5	15	20

令和2年度学群・学部 入学状況

令和2年4月1日現在

学群・学部	学科	募集人員	志願者数			入学者数		
			男	女	計	男	女	計
国際学群	国際学類	280	462	605	1,067	120	181	301
人間健康学部	スポーツ健康学科	95	304	151	455	56	44	100
	看護学科	80	43	279	322	11	72	83
合計		455	809	1,035	1,844	187	297	484

令和2年度学群・学部 編入学状況

令和2年4月1日現在

学群・学部	学科	募集人員	志願者数			入学者数		
			男	女	計	男	女	計
国際学群	国際学類	15	18	12	30	1	3	4
人間健康学部	スポーツ健康学科	5	6	6	12	1	3	4
	看護学科	5	4	9	13	2	3	5
合計		25	28	27	55	4	9	13

※2年次・3年次編入生は除く

令和2年度大学院 入学状況

令和2年4月1日現在

専攻科	募集人員	志願者数(女)	入学者数(女)
助産学専攻科	6	20	6

沖縄県北部地域所在高等学校入学者

名護高校、名護商工高校(名護商業高校、北部工業高校)、北部農林高校、辺土名高校、北山高校、本部高校、宜野座高校

学部	入学年	2008 (平成20)	2009 (平成21)	2010 (平成22)	2011 (平成23)	2012 (平成24)	2013 (平成25)	2014 (平成26)	2015 (平成27)	2016 (平成28)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (平成31)	2020 (令和2)
国際学群(2007から)		40	33	62	22	30	30	38	34	22	23	34	21	29
県内高校入学者比率		20%	22%	28%	15%	22%	23%	28%	25%	17%	16%	24%	16%	20%
人間健康学部		40	38	34	26	26	21	27	24	24	26	29	18	21
県内高校入学者比率		23%	21%	20%	27%	30%	25%	27%	24%	24%	27%	32%	19%	23%

※沖縄県内入学者数

学群・学部	2008 (平成20)	2009 (平成21)	2010 (平成22)	2011 (平成23)	2012 (平成24)	2013 (平成25)	2014 (平成26)	2015 (平成27)	2016 (平成28)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (平成31)	2020 (令和2)	
国際学群	197	150	224	149	135	131	137	137	130	143	144	131	143	
人間健康学部	スポーツ健康学科	88	100	84	42	40	29	38	37	35	34	30	30	26
	看護学科	85	77	82	56	46	54	61	64	63	63	61	64	65
	小計	173	177	166	98	86	83	99	101	98	97	91	94	91

令和2年度沖縄県北部地域所在高等学校入学者数

高校名	入学者数									全学計		
	国際学群			スポーツ健康学科			看護学科			男	女	男女計
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計			
名護高等学校	8	10	18	4	1	5	2	8	10	14	19	33
名護商工高等学校	3	1	4	0	0	0	0	0	0	3	1	4
北部農林高等学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
辺土名高等学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北山高等学校	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2
本部高等学校	0	3	3	1	0	1	0	0	0	1	3	4
宜野座高等学校	2	2	4	1	0	1	0	2	2	3	4	7
合計	13	16	29	6	1	7	2	12	14	21	29	50
入学者数全体比	10%			7%			17%			10%		
沖縄県内高校入学者数比	20%			27%			22%			39%		

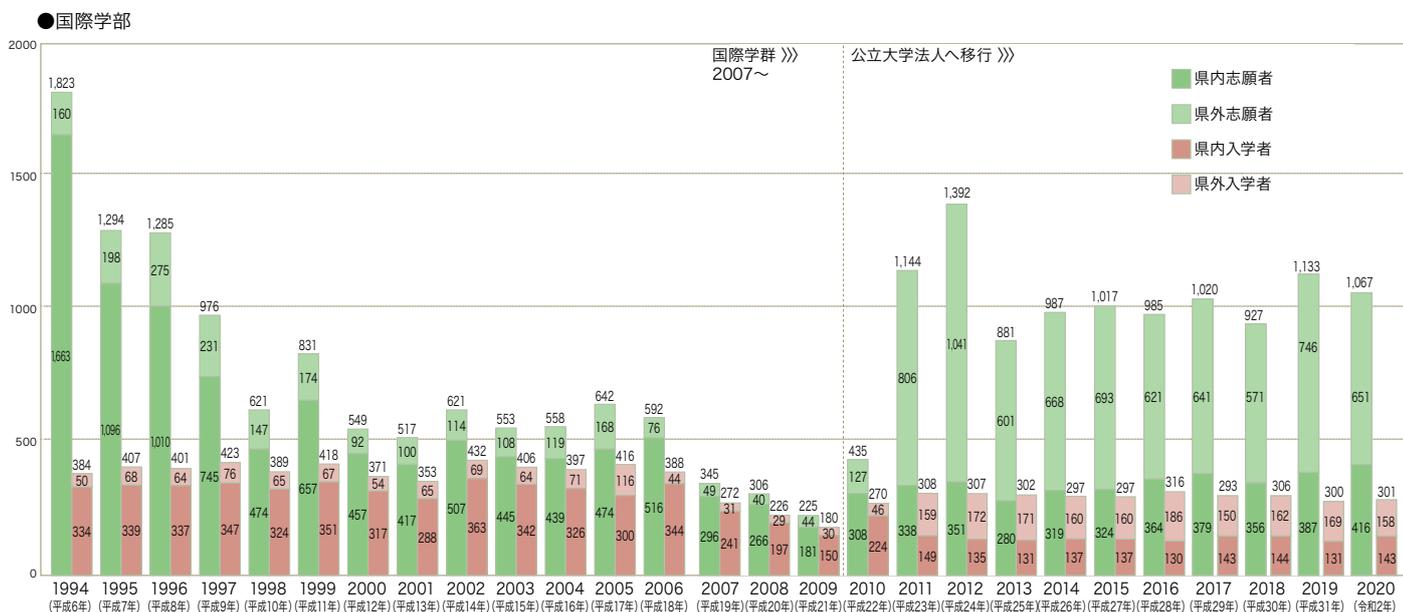
大学院 志願者・入学者数推移

※各年度、4月1日現在

研究科	年度	2002 (平成14)	2003 (平成15)	2004 (平成16)	2005 (平成17)	2006 (平成18)	2007 (平成19)	2008 (平成20)	2009 (平成21年)	2010 (平成22)	2011 (平成23)	2012 (平成24)	2013 (平成25)	2014 (平成26)	2015 (平成27)	2016 (平成28)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (平成31)	2020 (令和2)
国際文化研究科(博士後期課程)	志願者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	2
	入学者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	2
国際文化研究科(修士課程)	志願者	26	23	14	22	13	15	7	13	11	11	7	11	8	8	8	14	8	6	15
	入学者	19	20	12	8	4	8	5	7	7	6	3	6	6	6	7	7	5	4	11
看護学研究科(修士課程)	志願者	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7	4	9	5	8	6	8	5	9	9
	入学者	—	—	—	—	—	—	—	—	6	6	4	8	5	8	5	7	4	7	7

志願・入学状況

学群・学部 志願者・入学者数推移(県内・県外別)



卒業・修了状況

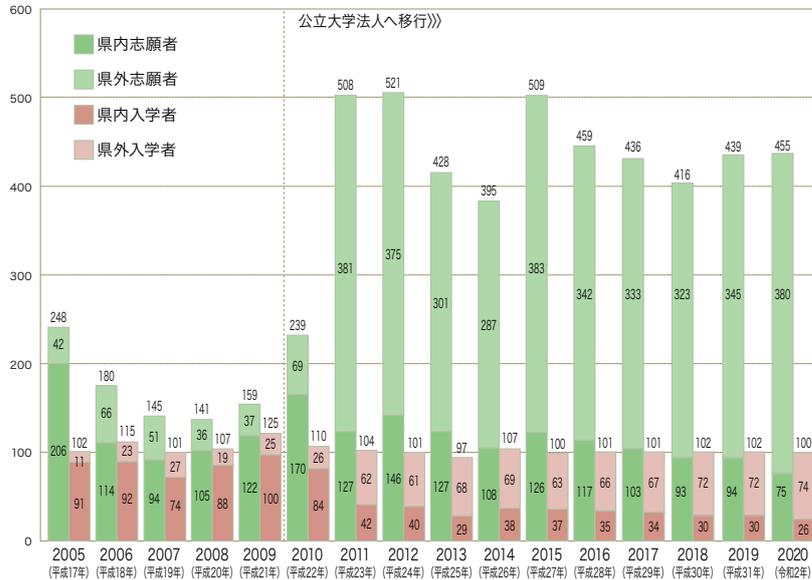
学部卒業生数

卒業年度	1997~2006 (平成9~18)			2007 (平成19)			2008 (平成20)			2009 (平成21)			2010 (平成22)			2011 (平成23)		
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
国際学部 年度別 (内留学生)	-	-	-	229	118	347	205	85	290	214	87	301	32	13	45	16	3	19
学部累計 (内留学生)	2,032	1,264	3,296	2,261	1,382	3,643	2,466	1,467	3,933	2,680	1,554	4,234	2,712	1,567	4,279	2,728	1,570	4,298
国際学群 年度別 (内留学生)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	113	69	182	108	54	162
学群累計 (内留学生)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	113	69	182	221	123	344
人間健康学部	-	-	-	-	-	-	65	43	108	69	45	114	39	41	80	60	30	90
スポーツ健康学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	66	79	15	72	87
看護学科	-	-	-	-	-	-	65	43	108	69	45	114	52	107	159	75	102	177
学部年度計	-	-	-	-	-	-	65	43	108	69	45	114	52	107	159	75	102	177
累計	-	-	-	-	-	-	65	43	108	134	88	222	186	195	381	261	297	558
全学 年度合計 (内留学生)	-	-	-	229	118	347	270	128	398	283	132	415	197	189	386	199	159	358
総数累計 (内留学生)	2,032	1,264	3,296	2,261	1,382	3,643	2,531	1,510	4,041	2,814	1,642	4,456	3,011	1,831	4,842	3,210	1,990	5,200

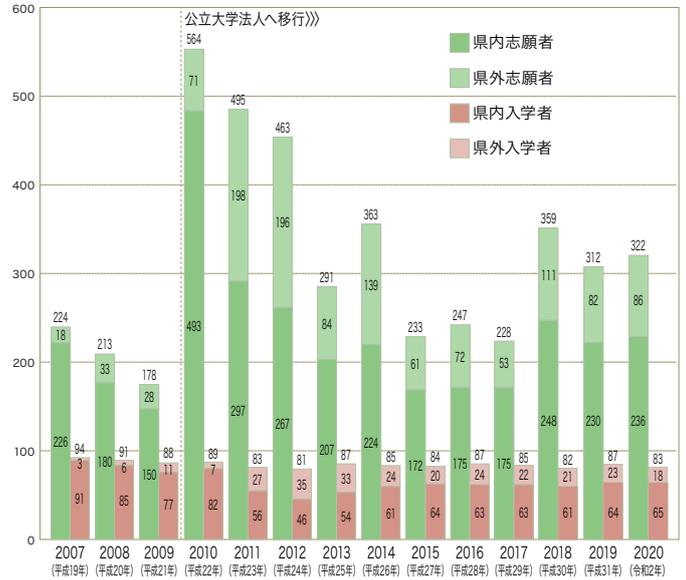
修士課程修了生数

修了年度	2002~2006 (平成14~18)			2007 (平成19)			2008 (平成20)			2009 (平成21)			2010 (平成22)			2011 (平成23)			2012 (平成24)		
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
国際文化研究科 年度別 (内留学生)	-	-	-	4	0	4	4	3	7	4	0	4	2	4	6	5	3	8	2	2	4
累計 (内留学生)	47	32	79	51	32	83	55	35	90	59	35	94	61	39	100	66	42	108	68	44	112
看護学研究所 年度別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4
累計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4
全大学院 年度合計 (内留学生)	-	-	-	4	0	4	4	3	7	4	0	4	2	4	6	5	3	8	3	5	8
全大学院 累計 (内留学生)	47	32	79	51	32	83	55	35	90	59	35	94	61	39	100	66	42	108	69	47	116

●人間健康学部 スポーツ健康学科



●人間健康学部 看護学科



2012 (平成24)			2013 (平成25)			2014 (平成26)			2015 (平成27年)			2016 (平成28)			2017 (平成29)			2018 (平成30)			2019 (令和1)		
男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
7	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(0)	(0)	(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,735	1,571	4,306	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	(141)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
111	52	163	113	102	215	122	159	281	135	158	293	116	146	262	121	165	286	121	154	275	139	171	310
(1)	(8)	(9)	(11)	(13)	(24)	(4)	(3)	(7)	(5)	(6)	(11)	(3)	(2)	(5)	(4)	(3)	(7)	(4)	(1)	(5)	(3)	(1)	(4)
332	175	507	445	277	722	567	436	1,003	702	594	1,296	818	740	1,558	939	905	1,844	1,060	1,059	2,119	1,199	1,230	2,429
(4)	(19)	(23)	(15)	(32)	(47)	(19)	(35)	(54)	(24)	(41)	(65)	(27)	(43)	(70)	(31)	(46)	(77)	(35)	(47)	(82)	(38)	(48)	(86)
72	34	106	55	40	95	57	43	100	51	46	97	43	44	87	60	47	107	47	50	97	55	37	92
10	67	77	17	76	93	16	74	90	18	69	87	16	80	96	17	66	83	21	64	85	13	76	89
82	101	183	72	116	188	73	117	190	69	115	184	59	124	183	77	113	190	68	114	182	68	113	181
343	398	741	415	514	929	488	631	1,119	557	746	1,303	616	870	1,486	693	983	1,676	761	1,097	1,858	829	1,210	2,039
200	154	354	185	218	403	195	276	471	204	273	477	175	270	445	198	278	476	189	268	457	207	284	491
(1)	(8)	(9)	(11)	(13)	(24)	(4)	(3)	(7)	(5)	(6)	(11)	(3)	(2)	(5)	(4)	(3)	(7)	(4)	(1)	(5)	(3)	(1)	(4)
3,410	2,144	5,554	3,595	2,362	5,957	3,790	2,638	6,428	3,994	2,911	6,905	4,169	3,181	7,350	4,367	3,459	7,826	4,556	3,727	8,283	4,763	4,011	8,774
-	-	(164)	-	-	(188)	-	-	(195)	-	-	(206)	-	-	(211)	-	-	(218)	-	-	(223)	-	-	(227)

※国際学部平成19年度学生募集停止、平成27年3月31日付廃止。人間健康学部スポーツ健康学科平成17年開設、同看護学科平成19年開設。

2013 (平成25)			2014 (平成26)			2015 (平成27)			2016 (平成28)			2017 (平成29)			2018 (平成30)			2019 (令和1)		
男	女	男女計	男	女	男女計															
2	1	3	3	4	7	2	4	6	3	2	5	1	3	4	3	5	8	2	2	4
(1)	(0)	(1)	(2)	(3)	(5)	(1)	(2)	(3)	(0)	(2)	(2)	(0)	(2)	(2)	(0)	(2)	(2)	(1)	(2)	(3)
70	45	115	73	49	122	75	53	128	78	55	133	79	58	137	82	63	145	84	65	149
(26)	(21)	(47)	(28)	(24)	(52)	(29)	(26)	(55)	(29)	(28)	(57)	(29)	(30)	(59)	(29)	(32)	(61)	(30)	(34)	(64)
0	4	4	1	4	5	2	6	8	0	3	3	1	2	3	1	7	8	1	5	6
1	7	8	2	11	13	4	17	21	4	20	24	5	22	27	6	29	35	7	34	41
2	5	7	4	8	12	4	10	14	3	5	8	2	5	7	4	12	16	3	7	10
(1)	(0)	(1)	(2)	(3)	(5)	(1)	(2)	(3)	(0)	(2)	(2)	(0)	(2)	(2)	(0)	(2)	(2)	(1)	(2)	(3)
71	52	123	75	60	135	79	70	149	82	75	157	84	80	164	88	92	180	91	99	190
(26)	(21)	(47)	(28)	(24)	(52)	(29)	(26)	(55)	(29)	(28)	(57)	(29)	(30)	(59)	(29)	(32)	(61)	(30)	(34)	(64)

※看護学研究科平成23年開設

助産学専攻科修了生数

修了年度	2017 平成29年度	2018 平成30年度	2019 令和元年度
	女	女	女
助産学専攻	6	6	6
累計	6	12	18

名桜大学就職活動支援プログラム

名桜大学では、きめ細かい就職指導で学生の「進路」を全学的にバックアップしています。

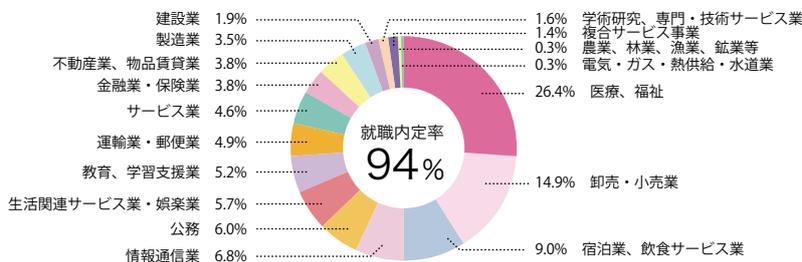
(2020年5月現在)

日程	事業名
2020年	
4月 6日(月)～ 4月 13日(月)	就職ガイダンス① 「2021年度(2022年3月卒) 就活の流れについて」
開催中止	学内合同企業説明会(一般企業等)
6月 12日(金)	就職ガイダンス② 「就職活動スタートアップ講座～就職活動のスケジュールについて～」
	就職ガイダンス③ 「就活シミュレーション～自己分析編～」
6月 19日(金)	就職ガイダンス④ 「リクナビ性格検査&企業研究の進め方」
	就職ガイダンス⑤ 「インターンシップについて」
6月 24日(金)	就職ガイダンス⑥ 「グループディスカッション」
	就職ガイダンス⑦ 「面接対策講座～集団面接～」
6月 26日(金)	就職ガイダンス⑧ 「ライフプランについて」
7月 3日(金)	就職ガイダンス⑨★ 「適性検査模擬試験」【ペーパー試験】
7月 8日(水)	
7月 15日(水)	就職ガイダンス⑩★ 「一般常識テスト(模擬試験)」【ペーパー試験】
7月 17日(金)	
7月 31日(金)	就職ガイダンス⑪ 「インターンシップ参加学生対象 マナー講座」
9月 24日(木)	国際学群 2年次キャリアアップセミナー
実施日調整中	国際学群 3年次「就職・進路ガイダンス」
10月 16日(金)	就職ガイダンス⑫ 「SPI 理解講座」

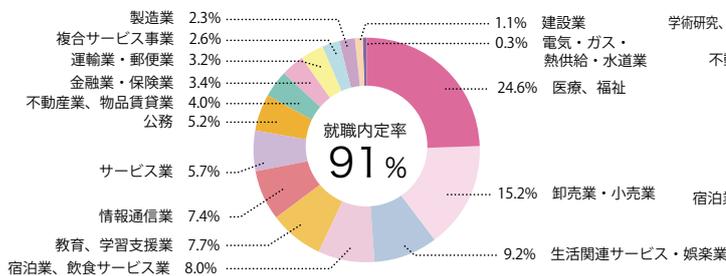
日程	事業名
10月 21日(水)	就職ガイダンス⑬★ 「一般常識テスト(模擬試験)」【ペーパー試験】
10月 23日(金)	
11月 1日(日)	スポーツ健康学科 2年次キャリア秋季セミナー
11月 11日(水)	就職ガイダンス⑭ 「一般常識・基礎学力テスト(模擬試験)」【ペーパー試験】
11月 13日(金)	
11月 20日(金)	就職ガイダンス⑮ 「内定を獲得した先輩から学ぶ就職活動方法」
12月 4日(金)	就職ガイダンス⑯ 「自己分析&他已分析について」
12月 11日(金)	就職ガイダンス⑰ 「企業研究について」
12月 18日(金)	就職ガイダンス⑱ 「エントリーシート&履歴書の書き方」
	就職ガイダンス⑲ 「ビジネスマナー講座」
12月 25日(金)	就職ガイダンス⑳ 「女子学生対象 フレッシュヤーズメイクアップ講座」
2021年	
1月 13日(水)	就職ガイダンス㉑ 合同企業説明会の歩き方【リクルートキャリア担当】
1月 20日(水)	就職ガイダンス㉒ 合同企業説明会の歩き方【マイナビ担当】
1月 22日(金)	就職ガイダンス㉓ 「就活本番」直前！総まとめ講座
3月 1日(月)	看護学科 3年次キャリアアップセミナー
3月 2日(火)	医療系学生対象 病院合同説明会 (看護学科、診療情報管理専攻)

近年の  
就職実績

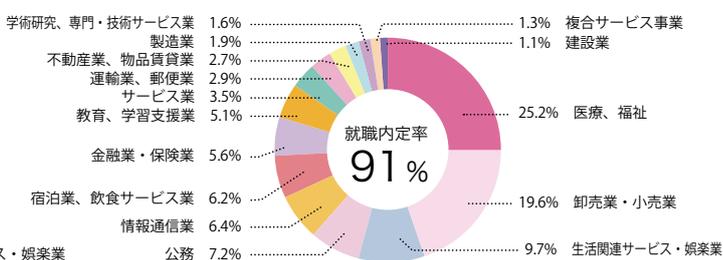
●令和2年3月卒業生の進路状況



●平成31年3月卒業生の進路状況



●平成30年3月卒業生の進路状況



名桜大学年度別卒業生就職内定状況(直近10年)

学部・学科	年度	2010 (平成22)	2011 (平成23)	2012 (平成24)	2013 (平成25)	2014 (平成26)	2015 (平成27)	2016 (平成28)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (令和元年度)
国際学部	国際文化	60%	86%	0%	-	-	-	-	-	-	-
	経営情報	60%	0%	100%	-	-	-	-	-	-	-
	観光産業	47%	50%	33%	-	-	-	-	-	-	-
国際学群	国際学類	69%	65%	69%	68%	79%	83%	85%	89%	91%	94%
人間健康学部	スポーツ健康	80%	69%	65%	68%	78%	89%	88%	90%	86%	89%
	看護	96%	98%	99%	97%	94%	99%	94%	99%	97%	100%
合計		76%	75%	74%	75%	82%	87%	88%	91%	91%	94%

# 主な就職内定先

【過去3年間(平成29年度～令和元年度)就職実績からの抜粋】

## 国際学群

**建設** ●アメリカンエンジニアコーポレーション ●㈱エプロン ●沖縄情報センター ●三井ホームエスケー  
 ●ミサワホーム九州㈱

**製造** ●オンパル㈱ ●沖縄製粉㈱ ●琉球セントラル ●リンナイ㈱ ●矢崎総業㈱ ●ミヤリサン製菓㈱  
 ●小売 ●㈱沖縄興産物産公社 ●㈱ダイコム ●㈱サカイ ●レオパードテクノロジー㈱ ●サントリーフーズ  
 ●㈱ニクニク ●㈱サンエー ●イオン琉球㈱ ●プリチンステイヤ ●沖縄販売㈱ ●㈱ベスド産  
 ●トヨタローラ ●沖縄㈱ ●㈱コジマ ●青山商事㈱ ●沖縄トヨタ自動車㈱ ●㈱琉球光和 ●球日産  
 ●自動車 ●琉球ダイハツ販売㈱ ●沖縄ファミリマート ●㈱りゅうせき ●㈱光貴(県外支店含む)  
 ●資生堂ジャパン㈱ ●㈱えがおホールディングス ●麻生商事㈱ ●㈱再春館製菓所 ●ロクシント  
 ●㈱西日本三菱自動車販売㈱ ●ダイレックス㈱ ●㈱セブンイレブン・ジャパン ●日発販売㈱ ●㈱  
 ●西原商会 ●セイカ食品㈱ ●㈱ディオン ●㈱富士薬品 ●㈱オンテース ●トリアン・インターナショナル  
 ●ジャパン㈱ ●上新電機㈱ ●㈱ドラッグストアモリ ●富士シティオ㈱ ●㈱イズミ ●㈱コスモス薬品  
**情報通信** ●琉球放送㈱ ●琉球新報社 ●㈱琉球新報開発 ●㈱FMとよみ ●㈱FMぎのわん ●㈱リビ  
 ●㈱シーエー・アドバンス ●㈱プロトソリューション ●沖縄ソフトウェアセンター ●㈱創和ビジ  
 ●ネクス・マシンス ●トランスコスモス㈱ ●日産車体コンピュータサービス㈱ ●大分ケーブルテレコム㈱  
 ●㈱NTTデータSMS ●㈱JTB情報システム ●日本出版販売㈱ ●㈱シンカークミック  
**運輸** ●JALスカイエアポート ●沖縄㈱ ●ANA沖縄空港㈱ ●Peach Aviation㈱ ●琉球エア・コミュニ  
 ●㈱ 琉球海運㈱ ●日本航空㈱ ●㈱JALカーゴサービス ●羽田空港グローバルサービス㈱ ●㈱  
 ●JALスカイ仙台 ●阪九フェリー㈱ ●東洋交通㈱ ●旭川空港ビル㈱

**金融・保険** ●琉球銀行 ●沖縄銀行 ●沖縄海邦銀行 ●コザ信用金庫 ●㈱ゆうちょ銀行 ●沖縄  
 興業金融㈱ ●大同火災海上保険㈱ ●㈱全保連(県内外) ●㈱百五銀行 ●大和証券グループ ●㈱宮  
 崎太陽銀行 ●㈱鹿児島銀行 ●南日本銀行 ●大分みらい信用金庫 ●水戸信用金庫 ●メットライフ生命  
 保険㈱ ●富国生命保険相互会社 ●明治安田生命保険相互会社

**不動産・物品賃貸** ●㈱住太郎ホーム ●㈱オールスタイル ●㈱トヨタレンタリース沖縄 ●㈱琉球リース  
 ●ニッポンレンタカー ●琉球㈱ ●レクストホールディングス㈱ ●㈱カチタス ●㈱JFNエクスト ●タマホーム  
 ●㈱トヨタレンタリース名古屋

**宿泊・飲食** ●ルネッサンスリゾートオキナワ ●沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ ●ザ・テ  
 ●スホテル ●㈱ホテルオリオンモトバ ●WBリゾート沖縄 ●リザンシーパークホテル谷茶ベイ  
 ●ヒルトン沖縄北谷リゾート ●㈱前田産業(前田産業ホテルズ) ●㈱ロワジュール・ホテルズ沖縄 ●ザ・ベ  
 ●ドット スマートホテル タンチャワード ●㈱インジャパン(県外含む) ●ザ・リッツ・カールト  
 ●(県外含む) ●ハレクラニ沖縄 ●㈱ドミノ・ピザ ジャパン ●ハウスデンポス㈱ ●㈱東横イン ●㈱ティ  
 ●エージェンシー ●アパグループ ●日本マクドナルド㈱ ●㈱マグナリゾート ●城山観光ホテル(城山観光ホ  
 ●テル) ●㈱JTB沖縄(県外含む) ●沖縄ツーリスト㈱(県外支店含む) ●名鉄観光サービ  
 ●ス㈱ ●㈱近畿日本ツーリスト沖縄 ●㈱ブルーゲイルハウス チェックイン ●沖縄ワタベウディングホ  
 ●一般財団法人沖縄美ら島財団 ●TBCグループ(株) ●地方競馬全国協会 ●㈱エチ・アイ・エ  
 ●ートコーポレーション ●㈱四季の旅 ●東武トップツアーズ㈱ ●㈱サントリーエンターテイメント【ハー  
 ●モニランド】 ●KCJGROUP㈱【キャザニア甲子園】 ●アイ・ケイ・ケイ

**医療・福祉** ●浦添総合病院(社会医療法人仁愛会) ●琉球大学医学部附属病院(診療情報管理士) ●中部  
 徳洲会病院 ●ハートライオン病院(社会医療法人かりゆし会) ●豊見城中央病院/南部病院(社会医療法人  
 ●友愛会) ●中頭病院(社会医療法人敬愛会) ●沖縄川北 リン・ジャック病院 ●日本赤十字社沖縄県支部 ●全  
 ●国健康保険協会(協会けんぽ) ●沖縄医療生活協同組合 ●社会保険診療報酬支払基金 ●静岡赤十字病院  
 ●(診療情報管理士) ●新行橋病院(医) 池友会(診療情報管理士) ●熊本労災病院(独立行政法人労働  
 ●者健康安全機構) ●箕面市立病院(診療情報管理士) ●白川病院(医療法人白水会) ●国立大学法人東京  
 ●大学医学部附属病院

**教育・学習支援** ●ヒューマンキャンパス高等学校名護本校 ●国際言語文化センター附属日本語学校 ●N  
 ●高等学校(学校法人角川ドワンゴ学園) ●名護市立大宮中学校(臨時教員) ●学校法人三幸学園 ●沖縄  
 ●山内小学校 ●(図書館流通センター(配属) ●沖縄県立図書館) ●尚志高等学校(学校法人尚志学園) ●神  
 ●奈川県立七里が浜高等学校 ●一般財団法人鹿島市立生涯学習・文化振興財団 ●KTCおそら高等学  
 ●院(学校法人KTC学園) ●(成基総研(GKCグローバルキッズクラブ) ●城東日本語学校(財団法人日本語  
 ●教育振興協会認定校)

**サービス業** ●JAおきなわ ●日本郵便㈱ ●日本郵便(県外含む) ●沖縄県観光事業協同組合 ●㈱セ  
 ●ンストア ●セコム琉球㈱ ●生活協同組合コープみらい ●独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援  
 ●機構 ●オリックス・ビジネスセンター沖縄㈱ ●JA共済鹿児島県本部 ●こばやし農業協同組合【JAこば  
 ●やし】 ●㈱パルティスタ ●独立行政法人 国際観光振興機構

**公務** ●那覇地方方法務局名護支局 ●沖縄地区税関(国家一般職・財務省) ●沖縄国税事務所(国税庁・国税専門  
 ●官) ●読谷村役場 ●伊平屋村役場 ●沖縄県警 ●宜野野村役場 ●うるま市役所 ●法務省府庁職員(人間科  
 ●学) ●国税庁(国税専門官) ●北海道警察 ●兵庫県警察 ●静岡県警察 ●大阪府警察 ●愛媛県警察 ●福岡県  
 ●警察 ●鹿児島県警察 ●静岡県庁 ●長崎県佐佐見町役場 ●長崎県佐世保市(消防) ●長崎県役所(消防)

**スポーツ健康学**

**建設** ●大和リビングマネジメント㈱

**製造** ●アックス商事㈱

**卸売・小売** ●沖縄トヨタ自動車㈱ ●琉球日産自動車㈱ ●㈱オンテース ●青山商事㈱ ●トヨタローラ  
 ●沖縄㈱ ●㈱イオン琉球 ●㈱サンエー ●㈱りゅうせきエネルギー ●㈱スズキ自販㈱ ●沖縄ココ・コ  
 ●ロパントリーング㈱ ●シジャータメいらく㈱ ●㈱ネクステージ ●金秀商事㈱ ●株式会社エーピーシー  
 ●マート ●㈱ローソン ●㈱ホクガン ●㈱あさひ ●㈱ビッグモーター ●岡山トヨタ自動車㈱ ●㈱群馬  
 ●エーハット ●㈱エーピーシー・マート ●㈱ホンダカーズ福岡 ●㈱グオホールディングス ●九州三菱  
 ●自動車販売㈱ ●㈱大創産業

**情報通信** ●㈱ゼンリンインターネット ●㈱シーエー・アドバンス ●FutureR a y s㈱ ●㈱ファイン  
 ●システム ●山陰ケーブルビジョン㈱ ●㈱NTTビジネスアソシエ西日本

**金融・保険** ●沖縄銀行 ●㈱富山第一銀行 ●㈱鹿児島銀行 ●㈱三重銀行 ●㈱西京銀行 ●日本生命保  
 ●険相互会社 ●㈱フィナンシャル・エージェンシー

**宿泊・飲食** ●カフリゾートフアックコンド・ホテル ●リーリゾートかりゆし ●㈱宮古島東急ホテル  
 ●&リゾーツ ●㈱はま寿司 ●アリスコンホテルズアンドリゾート(株) ●㈱OHANA

**生活関連サービス・娯楽** ●㈱フットネスプロモーション(ジスタス) ●一般財団法人日本ボディセラピ  
 ●ス協会 ●㈱ファーマーズ・フォレスト ●㈱ファクトリー・ジャパングループ ●㈱ヤマト 【スポーツ  
 ●クラブJOYFIT】 ●㈱東洋(ホリススポーツクラブ) ●㈱ルネサンス ●スポーツコミュニティ㈱ ●㈱  
 ●FEEL CONNECTION (フィールネクション) ●セントラルスポーツ ●アイ・ケイ・ケイ ●学校法人  
 ●国際学園 ●㈱ベンチャーバンク

**医療・福祉** ●一般財団法人沖縄県健康づくり財団 ●沖縄マリアクリニック ●社会福祉法人名護学院 ●社  
 ●会福祉法人トゥムスイ福祉会 ●パークレー整形外科スポーツクリニック ●医療法人社団福寿会(介護  
 ●士) ●社会福祉法人エール清光会 ●船橋整形外科病院 ●医療法人社団福寿会

**教育・学習支援** ●国領村立安波小学校(養護教諭) ●今帰仁村立今帰仁中学校(臨時教員) ●那覇市立首  
 ●里中学校(臨時教員) ●北城中学校 ●那覇商業高校 ●東江中学校 ●沖縄県立学校教員採用試験(養  
 ●護科) ●鳥尻特別支援学校(沖縄県教育委員会) ●今帰仁中学校(国頭教育事務所) ●宮崎県立延岡  
 ●市立北方学園小学校(養護教諭) ●鹿児島県教員採用試験(小学校) ●広島市立学校教員採用試験(小  
 ●学) ●大阪府教員採用試験(中学校) ●養父市立宿南小学校(養護教諭) ●愛知県教育委員会(養護教諭)  
 ●結城第一高等学校 ●鹿児島県高等学校

**サービス業** ●JAおきなわ ●一般社団法人南城市観光協会 ●特定非営利活動法人エンカレッジ ●生活  
 ●協同組合コープおきなわ ●日本郵便㈱ ●公益財団法人健康・体力づくり事業財団 ●三原農業協同組合

**公務** ●名護市役所 ●大宜味村役場 ●浦添市役所 ●沖縄県警察 ●警視庁 ●福岡県警察 ●岐阜県警察 ●長  
 ●崎県警察 ●愛知県警察 ●鹿児島県警察 ●根拠県警察 ●兵庫県警察 ●宮崎県警察 ●宮崎県職員採用試験  
 ●福岡県大牟田市役所 ●広島市役所(消防) ●大分県佐伯市役所(消防) ●富山県警察 ●南まつ市役所(消防)  
 ●中津市役所(大分県) ●自衛官(航空自衛隊) ●自衛官(海上自衛隊) ●三観広域行政組合(消防本部)

**看護学**

**医療・福祉** ●琉球大学医学部附属病院 ●沖縄県立病院 ●沖縄赤十字病院 ●豊見城中央病院 ●ハートラ  
 ●イ病院 ●中部徳洲会病院 ●南部徳洲会病院 ●中頭病院 ●国立病院機構沖縄病院 ●国立病院機構琉  
 ●球病院 ●北部地区医師会病院 ●沖縄医療生活協同組合 ●那覇市立病院 ●那覇市保健所(保健師) ●沖  
 ●縄県中部保健所(保健師) ●沖縄リハビリテーションセンター病院 ●順天堂大学医学部附属順天堂医院  
 ●順天堂大学医学部附属順天堂東京東区高齢者医療センター ●昭和大学病院 ●日本医科大学附属病院  
 ●東京慈恵会医科大学附属病院 ●東京医科大学病院 ●東京女子医科大学病院 ●北里医科大学附属大  
 ●学医学部附属病院 ●久留米大学病院 ●長崎大学病院 ●千葉県急病医療センター ●大阪急性期・総合医  
 ●療センター ●神奈川県立子ども医療センター ●国立大学法人大分大学医学部附属病院 ●国立がん研  
 ●究センター中央病院 ●国立病院機構 雄野医療センター ●横浜市立市民病院 ●横須賀市立市民病院 ●横  
 ●浜市東部病院 ●川崎市立多摩病院 ●静岡国立がんセンター ●中津川市民病院 ●富山県立中央病院  
 ●上尾中央総合病院 ●東京武蔵野野病院 ●板橋中央総合病院 ●横浜南共済病院 ●横浜共済病院 ●横  
 ●賀共済病院 ●多根総合病院(社会医療法人きつこう会) ●横浜旭中央総合病院 ●聖隷横浜病院 ●神戸  
 ●赤十字病院 ●明石市立市民病院 ●横浜市立みなと赤十字病院 ●神戸市立医療センター中央市民病院 ●鹿  
 ●嶋市立病院 ●徳之島病院(公益財団法人慈愛会)

**教育・学習支援** ●昭和薬科大学附属高等学校・中学校(養護教諭) ●学校法人静岡理工科大学星陵中  
 ●学(養護教諭)

**公務** ●沖縄県庁(保健師) ●浦添市役所(保健師) ●東村役場(保健師) ●恩納村役場(保健師) ●宮崎県  
 ●職員(保健師) ●鹿児島県職員(保健師)

# 教員養成支援 教員免許取得状況

## TEACHING CERTIFICATES AWARDED

### 教職に関する科目

令和2年度入学者適用

科目名		
● 教職概論	● 商業科教育法Ⅰ	● 高等学校教育実習事前指導
● 教育原理	● 商業科教育法Ⅱ	● 養護実習事前指導
● 教育心理学	● 情報科教育法Ⅰ	● 英語教育実践研究
● 教育制度論	● 情報科教育法Ⅱ	● 商業教育実践研究
● 特別支援教育	● 保健体育科教育法Ⅰ	● 情報教育実践研究
● 教育課程論	● 保健体育科教育法Ⅱ	● 中学校教育実習
● 特別活動の指導法	● 保健体育科教育法Ⅲ	● 高等学校教育実習
● 総合的な学習の時間と指導法	● 保健体育科教育法Ⅳ	● 養護実習
● 道徳教育の理論と方法	● 生徒指導の理論及び方法	● 教職実践演習(中・高)
● 教育方法	● 進路指導論	● 教職実践演習(養護)
● 英語科教育法Ⅰ	● 教育相談	
● 英語科教育法Ⅱ	● 中学校教育実習事前指導	

### 教員免許取得実績

教員免許課程開設年度・・・平成9年度

#### 中学校教諭一種免許状

令和2年5月1日現在

課程設置学部・学科	免許状の開設年度	教科	免許状授与初年度	令和元年度免許状取得者			累計(免許状授与初年度から令和元年度取得者)		
				男	女	計	男	女	計
国際学部・国際文化学科(現:国際学群)	平成9	英語	平成12	3	7	10	52	141	193
人間健康学部・スポーツ健康学科	平成17	保健体育	平成20	15	8	23	130	107	237
計				18	15	33	182	248	430

#### 高等学校教諭一種免許状

課程設置学部・学科	免許状の開設年度	教科	免許状授与初年度	令和元年度免許状取得者			累計(免許状授与初年度から令和元年度取得者)		
				男	女	計	男	女	計
国際学部・国際文化学科(現:国際学群)	平成9	英語	平成12	3	10	13	71	171	242
国際学部・経営情報学科(現:国際学群)	平成9	商業	平成12	0	2	2	43	67	110
	平成14	情報	平成17	0	2	2	22	8	30
人間健康学部・スポーツ健康学科	平成17	保健体育	平成20	20	8	28	175	114	289
計				23	22	45	311	360	671

#### 養護教諭一種免許状

課程設置学部・学科	免許状の開設年度	教科	免許状授与初年度	令和元年度免許状取得者			累計(免許状授与初年度からH30年度取得者)		
				男	女	計	男	女	計
人間健康学部・スポーツ健康学科	平成17	養護	平成20	0	8	8	3	101	104
人間健康学部・看護学科	平成19	養護	平成22	0	0	0	0	55	55
計				0	8	8	3	156	159

※平成27年度入学者から看護学科において「養護教諭一種免許」を取得することはできません。ただし、「保健師国家試験受験資格」の取得者については、卒業後、保健師免許取得後、申請により条件を満たすことができれば「養護教諭二種免許」を取得することができます。

## 北部教育研修センター

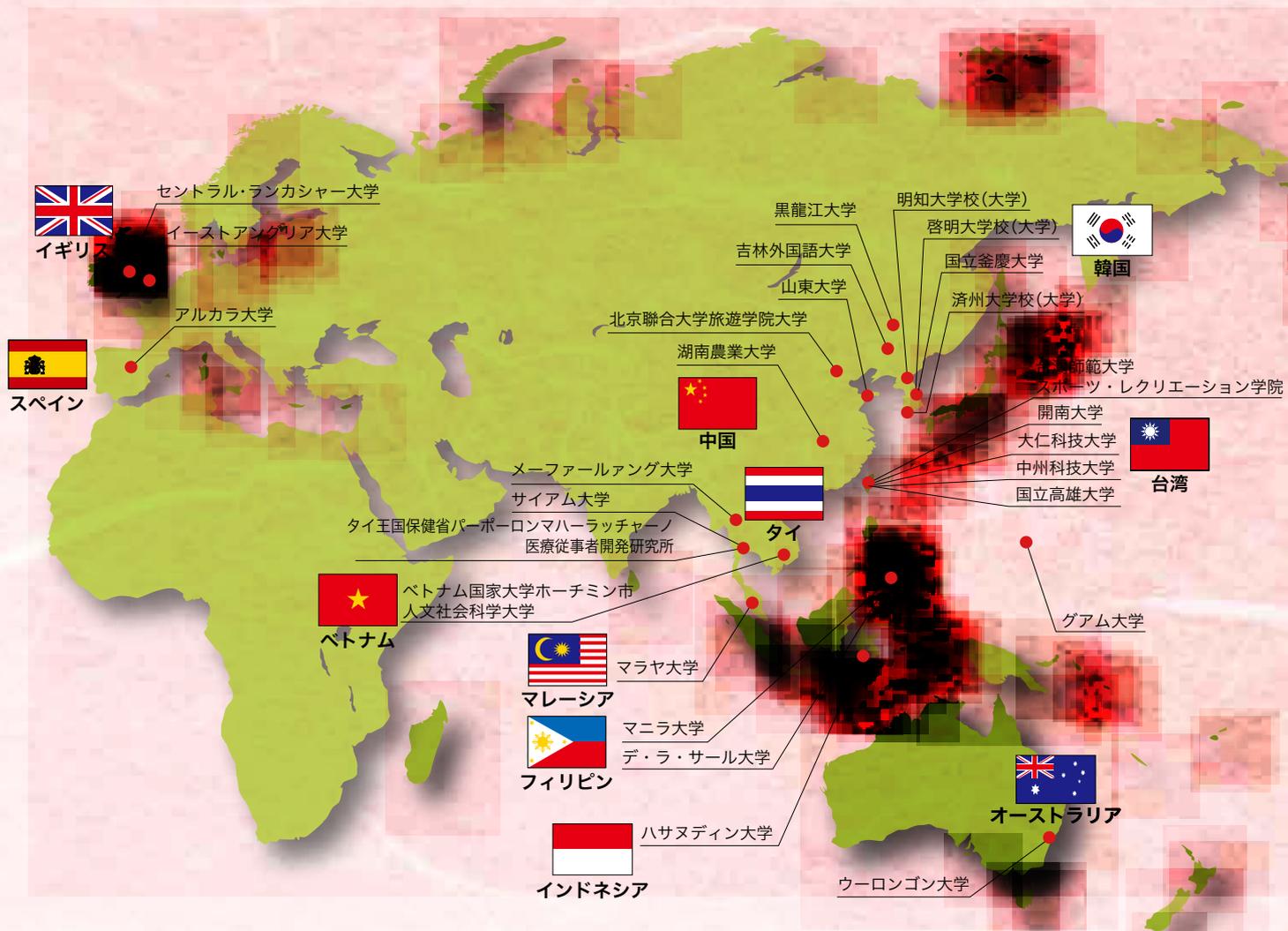
北部教育研修センターは、北部教育職員養成講座を引き継ぎ、平成31年に開所しました。北部広域市町村圏事務組合の委託を受け、北部地域が連携して教育力の向上を図り、児童生徒の学力向上に資することを目的とし、教職員の職務能力の向上を図るより主体的・協働的な諸研修事業を展開しています。

### 教員養成講座実績

#### 教員候補者選考試験の合格者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
県内1次合格	10	10	15
県外1次合格	1	5	7
第1次合計	11	15	22
最終合格	9	10	12

※合格者数は本学学生、一般受講者の合計数



国際交流協定大学(17カ国・1地域の44大学)

2020年3月31日現在

No.	国名 Country	大学名 University	協定年月日 Date of Agreement	令和元年度 学生派遣・受入実績	
				派遣	受入
1	ブラジル Brazil	ロンドリーナ州立総合大学 Universidade Estadual de Londrina	1994年5月25日 May 25, 1994	2	2
2	アルゼンチン Argentina	産業社会科学大学 Universidad de Ciencias Empresariales y Sociales	1994年9月29日 September 29, 1994	0	0
3	ペルー Peru	パシフィコ大学 Universidad del Pacifico	1994年10月7日 October 7, 1994	0	0
4	ベトナム Vietnam	ベトナム国家大学ホーチミン市 Vietnam National University	1995年12月12日 December 12, 1995	0	0
5	マレーシア Malaysia	マラヤ大学 University of Malaya	1996年2月1日 February 1, 1996	4	0
6	アメリカ USA	ハワイ大学ヒロ校 University of Hawaii at Hilo	1996年9月4日 September 4, 1996	1	0
7	アメリカ USA	ロングアイランド大学 Long Island University	1997年7月1日 July 1, 1997	0	0
8	フィリピン Philippines	マニラ大学※ The University of Manila	1998年12月5日 December 5, 1998	0	1
9	アメリカ America	ジョージ・フォックス大学※ George Fox University	2001年5月25日 May 25, 2001	0	0
10	インドネシア Indonesia	ハサヌディン大学※ Hasanuddin University	2002年11月1日 November 1, 2002	0	0
11	タイ Thailand	メーファールアング大学 Mae Fah Luang University	2004年2月2日 February 2, 2004	2	3
12	アメリカ USA	グアム大学 University of Guam	2004年3月29日 March 29, 2004	0	0
13	オーストラリア Australia	ウーロンゴン大学 University of Wollongong	2007年3月20日 March 20, 2007	2	0
14	台湾 Taiwan	大仁科技大学 Tajen University	2008年6月27日 June 27, 2008	0	6
15	中国 China	湖南農業大学 Hunan Agricultural University	2008年11月3日 November 3, 2008	3	4
16	中国 China	北京聯合大学旅遊学院大学 Institute of Tourism of Beijing Union University	2008年11月6日 November 6, 2008	4	2
17	韓国 Korea	啓明大学校(大学) Keimyung University	2008年12月30日 December 30, 2008	3	1
18	イギリス U.K	セントラル・ランカシャー大学 University of Central Lancashire	2009年8月24日 August 24, 2009	1	2
19	アメリカ USA	スプリングフィールドカレッジ※ Springfield College	2011年4月27日 April 27, 2011	0	0
20	韓国 Korea	済州大学校(大学) Jeju National University	2011年6月13日 June 13, 2011	1	3
21	アメリカ USA	サウスイースト・ミズーリ州立大学 Southeast Missouri State University	2012年11月27日 November 27, 2012	2	1
22	タイ Thailand	サイアム大学 Siam University	2013年1月25日 January 25, 2013	4	3

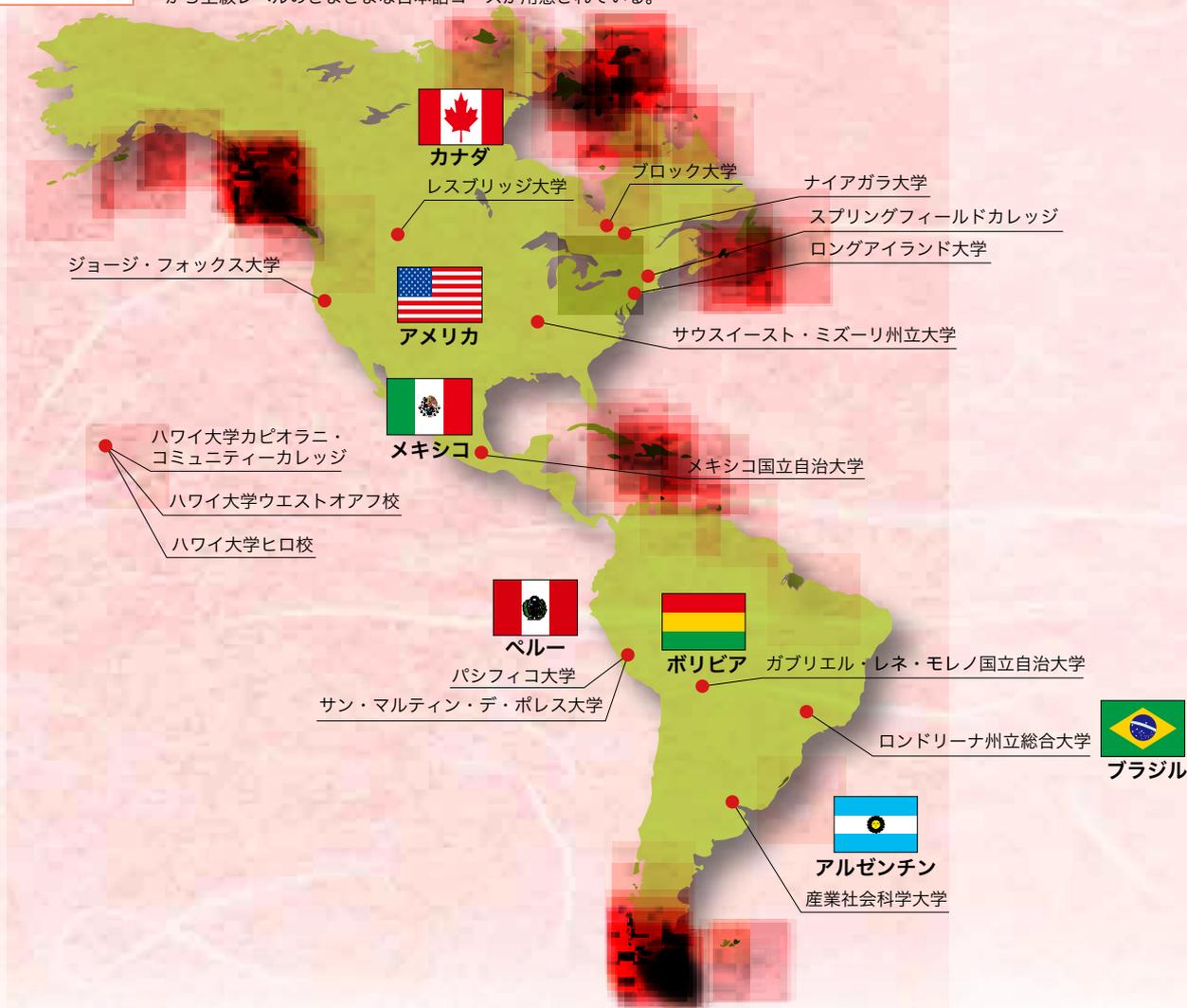
No.	国名 Country	大学名 University	協定年月日 Date of Agreement	令和元年度 学生派遣・受入実績	
				派遣	受入
23	カナダ Canada	ブロック大学 Brock University	2013年9月27日 September 27, 2013	5	0
24	メキシコ Mexico	メキシコ国立自治大学 Universidad Nacional Autónoma de Mexico	2014年2月26日 February 26, 2014	1	0
25	台湾 Taiwan	中州科技大学 Chung Cheu University of Science and Technology	2014年6月12日 June 12, 2014	0	0
26	台湾 Taiwan	開南大学 Kainan University	2014年6月13日 June 13, 2014	2	3
27	韓国 Korea	明知大学校(大学) Myongji University	2014年10月13日 October 13, 2014	4	3
28	アメリカ USA	ナイアガラ大学 Niagara University	2014年12月22日 December 22, 2014	2	0
29	アメリカ USA	ハワイ大学ウエストオアフ校※ University of Hawaii at West Oahu	2014年12月24日 December 24, 2014	0	0
30	ペルー Peru	サン・マルティン・デ・ポレス大学 University of SAN MARTIN DE PORRES	2016年2月18日 February 18, 2016	0	0
31	台湾 Taiwan	台湾国立高雄大学 National University of Kaohsiung	2016年4月29日 April 29, 2016	3	0
32	中国 China	山東大学 Shandong University	2016年6月8日 June 8, 2016	3	2
33	カナダ Canada	レスブリッジ大学 University of LETHBRIDGE	2016年8月19日 August 19, 2016	2	0
34	台湾 Taiwan	台湾師範大学スポーツ・レクリエーション学院△ National Taiwan Normal University College of Sports & Recreation	2016年10月19日 October 19, 2016	0	0
35	韓国 Korea	国立釜慶大学 Pukyong National University	2017年2月20日 February 20, 2017	2	0
36	フィリピン Philippines	デ・ラ・サール大学 Delasalle University	2017年5月24日 May 24, 2017	1	0
37	アメリカ USA	ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジ University of Hawaii Kapiolani Community College	2017年8月30日 August 30, 2017	3	0
38	ボリビア Bolivia	ガブリエル・レネ・モレノ国立自治大学 Universidad Autónoma Gabriel Rene Moreno	2018年2月28日 February 28, 2018	0	0
39	スペイン Spain	アルカラ大学 Universidad de Alcalá	2018年11月22日 November 22, 2018	0	0
40	タイ王国 Thailand	タイ王国保健省パーポーロンマハーラッチャーノ医療従事者開発研究所▲ The Paboronrakon Institute for Health Workers Development Ministry of Public Health, Thailand	2019年01月25日 January 25, 2019	0	0
41	中国 China	吉林外国語大学 Jilin International Studies University	2019年9月29日 September 29, 2019	0	0
42	中国 China	黒龍江大学 Heilongjiang University	2019年11月4日 November 4, 2019	0	0
43	ベトナム Vietnam	ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 Jilin International Studies - Vietnam National University, Hanoi	2020年1月8日 January 8, 2020	0	0
44	イギリス U.K	イーストアングリア大学※◇ University of East Anglia	2020年2月20日 February 20, 2020	0	0

※現在学生の派遣は行っていません。 △スポーツ健康学科との部局間協定となっています。

▲看護学科との部局間協定となっています。 ◇国際学群との部局間協定となっています。

## 国際交流協定

本学が教育・研究の対象としている国・地域の諸大学と国際交流協定を締結し、単位互換制度や地域・文化実習の協力体制を整えている。2019年度用「大学の真の実力情報公開BOOK(旺文社)」では、外国人教員比率が高い大学(国公立大学8%以上:本学9.7%)、留学をした日本人学生が多い大学(国公立大学40人以上:本学62人)で紹介されるなど、本学は、積極的に国際交流事業を展開している。協定大学間で学生は、1年間を上限に交換留学生として留学することができる。協定大学から本学に留学する外国人学生のために、初級から上級レベルのさまざまな日本語コースが用意されている。



## 国内交流協定大学

本学は、国内の諸大学と交流協定を締結している。協定内容は、「単位互換協定」「学術交流及び連携に関する包括協定」「教育・研究等に関する連携協定」の3種類あり、単位互換や学生交流をはじめ、教職員の交流、地域社会への貢献に関する連携等、各大学間で交流事業を展開している。

単位互換協定の場合、学生は、協定大学に国内留学し、関連する授業科目を1学期あるいは2学期間履修し単位を取得できる。

## 国内交流協定大学等(13都道府県・22大学)

令和2年5月現在

大学名 University	協定年月日 Date of Agreement	令和元年度 学生派遣・受入実績	
		派遣	受入
放送大学	1994年3月7日(単位互換)	0	0
札幌国際大学	1995年3月31日(単位互換)	0	1
環太平洋大学短期大学部	1997年11月4日(単位互換)	0	0
桜美林大学	1999年3月12日(単位互換)	1	2
大阪国際大学	2000年1月28日(単位互換)	0	0
文教大学湘南キャンパス	2001年6月15日(単位互換)	0	0
文京学院大学	2002年11月29日(単位互換)	0	0
横浜商科大学	2003年12月25日(単位互換)	0	0
奈良県立大学	2008年3月24日(単位互換)	0	0
静岡産業大学	2009年7月24日(単位互換) 2018年5月17日(教育研究等連携協定)	0	0
東海大学札幌キャンパス 国際文化学部	2011年5月11日(単位互換)	0	0

大学名 University	協定年月日 Date of Agreement	令和元年度 学生派遣・受入実績	
		派遣	受入
開智国際大学	2013年5月24日(単位互換)	0	0
公立ほこだて未来大学	2015年10月22日(教育研究等連携協定、単位互換)	0	0
多摩大学	2016年1月5日(学術交流等包括、単位互換)	0	0
朝日大学	2016年5月10日(学術交流等包括、単位互換)	0	0
追手門学院大学	2017年6月20日(教育研究等連携協定)	0	0
関西国際大学	2017年12月14日(教育連携等連携) 2018年2月23日(単位互換)	0	0
沖縄工業高等専門学校	2018年3月19日(単位互換)	0	0
上越教育大学	2019年7月1日(教育研究等連携協定)	0	0
法政大学	2019年10月2日(単位互換)	0	0
阪南大学	2019年12月11日(教育研究等連携協定)	0	0
高知県立大学	2020年2月14日 (教育研究等連携協定、単位互換)	0	0

# 学費・奨学金等 STUDY FEES & SCHOLARSHIPS

## 公立大学法人名桜大学 学費等納入金

令和2年度入学生適用

### 入学金・学費(学群・学部・研究科・専攻科)

(単位:円)

学群・学部・大学院・専攻科		国際学群	人間健康学部		大学院		専攻科		
学類・学科・研究科・専攻科		国際学類	スポーツ健康学科	看護学科	修士課程	博士後期課程	助産学専攻科		
入学検定料		17,000			30,000		18,000		
学費	入学金	(地域内) 125,000	(地域内) 125,000	(地域内) 125,000	(地域内) 125,000	(地域内) 125,000	(地域内) 125,000		
		(地域外) 250,000	(地域外) 250,000	(地域外) 250,000	(地域外) 250,000	(地域外) 250,000	(地域外) 250,000		
諸経費	授業料	前期	267,900	267,900	267,900	267,900	267,900		
		後期	267,900	267,900	267,900	267,900	267,900		
諸経費	後援会費	入学手続時	大学4年間分			大学院2年間分	大学院3年間分	専攻科1年分	
			40,000	40,000	40,000	20,000	30,000	10,000	
			学生教育研究災害傷害保険	3,300	3,300	3,300	1,750	2,600	1,000
			学研災付帯賠償責任保険	1,360	1,360	2,000	—	—	500
総合保障制度		—	—	18,000	—	—	4,500(総合保障制度!Will2)		
合計	入学手続時納入金	(地域内) 437,560	(地域内) 437,560	(地域内) 456,200	(地域内) 414,650	(地域内) 425,500	(地域内) 408,900		
		(地域外) 562,560	(地域外) 562,560	(地域外) 581,200	(地域外) 539,650	(地域外) 550,500	(地域外) 533,900		
	入学検定料除く。授業料は前期分のみ計上。								
	初年度納入総額	(地域内) 705,460	(地域内) 705,460	(地域内) 724,100	(地域内) 682,550	(地域内) 693,400	(地域内) 676,800		
(地域外) 830,460		(地域外) 830,460	(地域外) 849,100	(地域外) 807,550	(地域外) 818,400	(地域外) 801,800			
入学検定料除く。授業料は前期・後期計上。									
2年次以降の授業料納付金	2年次(前期・後期)	535,800	535,800	535,800	535,800	535,800	—		
	3年次(前期・後期)	535,800	535,800	535,800	—	535,800	—		
	4年次(前期・後期)	535,800	535,800	535,800	—	—	—		
4年間(大学院修士2年間/博士後期3年間/専攻科1年間)授業料等納付金(総額)(入学検定料除く)	(地域内) 2,312,860	(地域内) 2,312,860	(地域内) 2,331,500	(地域内) 1,218,350	(地域内) 1,765,000	(地域内) 676,800			
	(地域外) 2,437,860	(地域外) 2,437,860	(地域外) 2,456,500	(地域外) 1,343,350	(地域外) 1,890,000	(地域外) 801,800			

地域内…沖縄県北部12市町村関係者等、地域外…地域内以外の者(公立大学法人名桜大学学費等及び諸納入金に関する規程)  
外国人留学生は本学の規定により入学金が地域外の半額となります。

### 研究生(1年間)

(単位:円)

学群・学部・大学院		国際学群	人間健康学部		大学院		
学類・学科・研究科		国際学類	スポーツ健康学科	看護学科	国際文化研究科	看護学研究科	
入学検定料		9,800					
学費	入学金	30,000					
		前期	100,000	119,000	137,000	100,000	100,000
諸経費	授業料	後期	100,000	119,000	137,000	100,000	100,000
		入学手続時	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
合計	入学手続時納入金	131,000	150,000	168,000	131,000	131,000	
		入学検定料除く。授業料は前期分のみ計上。					
		年間納入総額	231,000	269,000	305,000	231,000	231,000
入学検定料除く。授業料は前期・後期計上。							

### 科目等履修生

(単位:円)

種別	区分	項目	履修料	備考
科目等履修生	国際学群	1単位	15,000	入学検定料5,000
	スポーツ健康学科			
	看護学科			
	大学院			
	助産学専攻科			

### 学生支援:

名桜大学では、学生の学業、体育活動及び学生諸活動等の奨励並びに経済的支援を目的に、各種奨学金や授業料免除制度を整備している。

### 名桜大学奨学金

(単位:円)

奨学金	種別	支給額	支給対象年次
学業奨励奨学金	第一種	200,000	2年~4年次
	第二種	100,000	
スポーツ奨励金	第一種	200,000	2年~4年次
	第二種	100,000	

※支給対象年次とは、願書の提出・選考を経て奨学金(1年間)を支給される年次をいう。

※令和2年度からは対象年次が2年次からとなります。

### 令和元年度奨学金支給実績

(単位:円)

名桜大学奨学金(1年次)	奨学金種別	1人当たり支給額	令和元年度	
			採用人数	支給合計
学業奨励奨学金	第一種	200,000	5	1,000,000
	第二種	100,000	7	700,000
スポーツ奨励金	第一種	200,000	2	400,000
	第二種	100,000	1	100,000
やんばる奨励金	第一種	200,000	15	3,000,000
	第二種	100,000	7	700,000
合計			37	5,900,000

(単位:円)

名桜大学奨学金(2年~4年次)	奨学金種別	1人当たり支給額	令和元年度	
			採用人数	支給合計
学業奨励奨学金	第一種	200,000	8	1,600,000
	第二種	100,000	34	3,400,000
スポーツ奨励金	第一種	200,000	1	200,000
	第二種	100,000	18	1,800,000
合計			61	7,000,000

### やんばる奨学金

(単位:円)

奨学金	支給額	支給対象年次
やんばる奨学金	100,000	1年次

## 名桜大学学長奨学金 (平成30年5月制定)

本学の教育目標である国際社会で活躍できる人材の育成に資する者で、在学中に所定の検定試験等に合格したものに、奨学金を給付することにより、修学を奨励することを目的に奨学金を支給している。

### 語学に関する検定等

(単位:円)

言語	検定等名称	認定された等級	奨学金額
英語	実用英語技能検定	1級合格	100,000
		準1級合格	50,000
	TOEFL iBT	100点以上	100,000
		80点以上	50,000
	TOEIC	908点以上	100,000
		751点以上	50,000
IELTS	7.0以上	100,000	
	6.0以上	50,000	
ドイツ語	ドイツ語技能検定	1級合格 準1級合格	100,000 50,000
フランス語	実用フランス語検定	1級合格 準1級合格	100,000 50,000
スペイン語	スペイン語技能検定	1級合格	100,000
		2級合格	50,000
	DELE (スペイン語)	C2 (最上級)合格 C1 (上級)合格	100,000 50,000
ポルトガル語	国際ポルトガル語検定	大学級合格	100,000
		上級合格	50,000
	Celpe-Bras (ポルトガル語)	上級の上合格 上級合格	100,000 50,000
中国語	中国語検定	1級合格	100,000
		準1級合格	50,000
	HSK (中国語)	6級 (240点以上) 6級 (180点以上) または 5級 (240点以上)	100,000 50,000
韓国語	ハングル能力検定	1級合格	100,000
		2級合格	50,000
	韓国語能力試験	6級合格	100,000
		5級合格	50,000
タイ語	実用タイ語検定	1級合格	100,000
		2級合格	50,000

### その他の検定等

(単位:円)

検定等名称	認定された等級	奨学金額
実用数学技能試験	1級合格	100,000
	準1級合格	50,000
統計検定	1級合格	100,000
	準1級合格	50,000

### 令和元年度支給実績

(単位:円)

検定等名称	級・スコア	1人当たり支給額(年額)	令和元年度	
			採用者数	支給合計
実用英語技能検定	準1級合格者	50,000	6	300,000
TOEIC	751点以上	50,000	3	150,000
韓国語能力試験	6級合格	100,000	4	400,000
	5級合格	50,000	2	100,000
合計			15	950,000

## 名桜大学授業料減免

授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀な学生に対し全額又は半額、1/3を免除している。

### 令和元年度実績

(単位:円)

	学群・学部	種別	減免額(円)	令和元年度	
				採用者数	金額(円)
前期	国際学群	全額免除	267,900	18	4,822,200
		半額免除	133,950	16	2,143,200
		3分の1免除	89,300	23	2,053,900
	スポーツ健康学科	全額免除	267,900	3	803,700
		半額免除	133,950	5	669,750
		3分の1免除	89,300	14	1,250,200
	看護学科	全額免除	267,900	4	1,071,600
		半額免除	133,950	8	1,071,600
		3分の1免除	89,300	7	625,100
	国際文化研究科	全額免除	267,900	0	—
		半額免除	133,950	0	—
		3分の1免除	89,300	0	—
	看護学研究科	全額免除	267,900	1	267,900
		半額免除	133,950	0	—
		3分の1免除	89,300	0	—
	助産学研究科	全額免除	267,900	0	—
		半額免除	133,950	0	—
		3分の1免除	89,300	0	—
小計				99	14,779,150
後期	国際学群	全額免除	267,900	18	4,822,200
		半額免除	133,950	14	1,875,300
		3分の1免除	89,300	26	2,321,800
	スポーツ健康学科	全額免除	267,900	3	803,700
		半額免除	133,950	5	669,750
		3分の1免除	89,300	14	1,250,200
	看護学科	全額免除	267,900	4	1,071,600
		半額免除	133,950	8	1,071,600
		3分の1免除	89,300	7	625,100
	国際文化研究科	全額免除	267,900	0	—
		半額免除	133,950	0	—
		3分の1免除	89,300	0	—
	看護学研究科	全額免除	267,900	1	267,900
		半額免除	133,950	0	—
		3分の1免除	89,300	0	—
	助産学研究科	全額免除	267,900	0	—
		半額免除	133,950	0	—
		3分の1免除	89,300	0	—
小計				100	14,779,150
合計				199	29,558,300

## 名桜大学大学院奨学金

(単位:円)

奨学金名	1人当たり支給額
国際文化研究科	240,000
看護学研究科	総額480,000(採用人数によって決定する)
留学生奨学金	240,000

### 令和元年度支給実績

(単位:円)

奨学金名	1人当たり支給額	令和元年度	
		採用者数	支給合計
国際文化研究科	240,000	0	0
看護学研究科	総額480,000(採用人数によって決定する)	2	480,000
留学生奨学金	240,000	1	240,000
合計		3	720,000

## 名桜大学専攻科奨学金

(単位:円)

奨学金名	1人当たり支給額
助産学専攻科	総額240,000(採用人数によって決定する)

### 令和元年度支給実績

(単位:円)

奨学金名	1人当たり支給額	令和元年度	
		採用者数	支給合計
助産学専攻科	総額240,000(採用人数によって決定する)	1	240,000
合計		1	240,000

## 留学生授業料減免

外国人留学生を対象に、経済的支援並びに学習の奨励を図ることを目的として、単位取得状況及び成績に応じ、授業料減免を実施している。

### 令和元年度実績

(単位:円)

	令和元年度	
	採用者数	支給合計
前期	34	4,554,300
後期	34	4,554,300
延人数/減免総額	68	9,108,600

体育系 部活/サークル	活動内容・目標
陸上競技部	週5日、名桜大学多目的グラウンドにて短距離跳躍ブロック、中長距離ブロックに分かれて練習し、週に1度トレーニング室で筋力トレーニングを行っている。
硬式野球部	週6日、名桜大学野球場にて技術の向上、人間形成及び部員相互間の親睦を図りながら練習に励んでいる。
男子ハンドボール部	週6日、名桜大学体育館及び生涯学習センターにて練習を行っている。また、名護市内のイベントの際には、ボランティアとして積極的に参加し地域との交流を深めている。
女子ハンドボール部	主に体育館を練習場所とし、週6日個々やチーム全体の技術向上のために練習に励んでいる。また、地域貢献としてボランティア活動も行っている。
男子バスケットボール部	九州リーグ1部昇格というチーム目標のもと、日々練習に励んでいる。他チームとの練習試合を行い、技術・チーム力向上に努めている。また、ボランティア活動も行っている。
女子バスケットボール部	九州リーグ2部優勝を目標に、週5日北部生涯センターにて練習に励んでいる。他チームとの練習試合を行い、技術向上に向け切磋琢磨している。また、ボランティア活動も行っている。
男子バレーボール部	週5日、名桜大学体育館で練習に励んでいる。また、他校との合同練習や練習試合を行いながら、地域行事へのボランティアにも参加している。
女子バレーボール部	九州リーグに照準を合わせ、全員バレーで日々練習に励んでいる。また、ボランティア活動や大会審判、補助役員、強化試合などに積極的に参加している。
男子ソフトボール部	平日は、基礎練習や体幹トレーニングを行い、休日は対外試合などを行っている。また、ボランティア活動も行っている。
女子ソフトボール部	平日は多目的広場で基礎的な練習を行い、週末は他チームとの練習試合を行い実践力を身につけている。
サッカー部	週6日、名桜大学多目的グラウンドで練習を行いチームの組織力の向上に努めている。また、ボランティア活動にも参加している。
軟式野球部	週3日、名桜大学多目的広場にて、実践に近いゲーム形式の練習を行っている。また、他校との練習試合を行っている。
ゴルフ部	個人練習を基に、週1回の全体練習や、月1回のラウンド練習を行い技術の向上を図る。
水泳競技部	週5日の練習では、水中練習、陸上練習、筋力トレーニングなどを行い、技術や体力の向上に努めている。また、大会運営ボランティアにも積極的に参加し地域貢献を行っている。
硬式テニス部	週3日、名桜大学テニスコートにて練習を行い技術の向上に努めている。
ソフトテニスサークル	週3日、名桜大学テニスコートにて試合形式の練習を行い、技術の向上に努めている。
フットサルサークル	週2日名桜大学体育館にて、学年、学部、男女問わずゲームを行い楽しみながら活動を行っている。
ラグビー部	未経験者も多く、基礎的な練習やチームの苦手分野の克服のための練習を行っている。また、高校生や社会人チームとも練習を行い技術向上に努めている。
空手道部	名桜大学武道場にて、筋力トレーニングや空手の形・組手の稽古を行っている。
卓球部	週2回、名桜大学体育館にて練習を行っている。部員が少ないため、少人数でもできる練習を工夫しながら行っている。
男女バドミントン部	平日は北部生涯センターで練習に励んでいる。また、他校の学生や社会人との合同練習なども行っている。
剣道部	学生が練習メニューを考案し実行している。また、名護市剣道連盟との交流を行い、小学生への指導、大会審判などの活動も積極的に行っている。
トライアスロン部	スイム練習を基本に、陸上トレーニングやロングライドを行っている。また、陸上部の練習に参加したり、県外自転車チームの合宿などにも参加したりして技術向上を図っている。
女子サッカー部	週3日を活動日とし、名護高校女子サッカー部や社会人チームとの練習試合を行い、日々経験を積んでいる。
バレーボールサークル	初心者でも楽しくバレーボールができることを目標に、ゲームを行っている。また、ビーチバレーのシーズンには、大会に参加している。
バスケットボールサークル	週2回、北部生涯センターでゲーム形式でバスケットボールを楽しんでいる。
名桜大学チアリーディング部	週4日、柔軟や筋力トレーニングなどの体力づくりを基本に、タンブラリングやモーションなどの技術の向上に努めている。
Paddle & Surf	カヌー競技、ウインドサーフィン競技の技術力向上、大会出場に向けて活動している。

文化系 部活/サークル	活動内容・目標
吹奏楽部	各種コンクール、演奏会、名護市を中心とする地域行事への参加、名桜大学の学内行事を通しての音楽活動を行っている。
名桜エイサー	県内外でのエイサー祭り、旧盆の店周りや道ジューネーなど様々なイベントに参加している。また、結婚式や修学旅行生のエイサー体験などにも対応している。
HIPHOPサークル	週4日、名桜大学武道場で練習を行っている。地域のダンスイベントに積極的に参加し、ボランティアとして運営に携わっている。
VAG(The Volunteer Activity Group)	7チームに分かれ、毎月1回、地域住民を対象に健康診断、健康相談活動、ゆんたくカフェなどを行い、健康の維持増進を図っている。
名桜ラテンダンスサークル	ラテンダンスを通じた学生同士の交流を行っている。
ポルトガル語研究会	ポルトガル語の語学力向上に加え、ポルトガル語圏及びブラジル等の文化、歴史を学ぶ。
ミュージックサークル	サークル室またはスタジオで、楽器の練習やバンド単位で演奏の練習をしている。また、ライブに出演し、CDの作成・販売をすることで練習成果を発表している。
現代中国研究会	中国語習得(会話練習、資格試験対策等)、地域と連携して地域貢献に関わる活動を進めている。
MSI	保健センターだよりの作成、ランチョンミーティング、ポスター作成、名桜祭での健康フェアなどの活動を行っている。
IGCC(International Global Communication Circle)	英語を使ったゲーム、英語での会話、海外の行事を行っている。
ホスピタリティ研究会	ホテルや観光施設を訪問し、施設見学やテーブルマナー付きお食事会、スタッフの方々へのインタビューを通してホスピタリティを学ぶ。
将棋同好会	将棋の対局を通して、部員同士の親睦を深めている。
K-POPサークル	K-POPアーティストのダンスをコピーして、学内外のイベントでパフォーマンスをしている。
学生リーダー	スポーツ健康学科棟での活動ミーティング、オープンキャンパスの運営補助、オリエンテーションの運営補助などを行っている。
ANSA	看護学科卒業生との交流や国際的な医療現場に携わっている方との交流を通して楽しみながら学びを深めている。
REAL	小中学生を対象とした英語教育補助活動を行っている。
国際ボランティア研究会(IVL)	国際協力に関する学習、学生が参加可能な国際協力プログラム等の情報共有を行う。
健康教育サークル ヘルス・コミュニケーション・クラブ	北部離島や僻地住民の健康づくりのために役立つ健康情報を伝え、一緒に楽しく健康について考える機会となる健康教室を開催している。
スペイン語研究会	スペイン語の習得、留学生や留学経験者との交流を通してスペイン語圏の文化を学ぶ。
琉球芸能研究会	三線初心者講座、学内イベントへの出演、他大学サークルとの交流会を行っている。
Meio-Gaming	e-sportsの大会に向けて、主催側として準備に参加したり、選手は自主トレーニングに励んでいる。
ボランティアサークルぐるくん	沖縄県内におけるボランティア活動を行っている。
第27回名桜大学祭実行委員会	第27回名桜大学祭開催のための準備活動及び、次年度引継ぎのための活動。
名護市学習支援教室びゅあ	名護市内の生活困窮世帯の児童生徒の学習支援や居場所づくり。
green bird	名護市を拠点とした街の清掃活動を行っている。

2020年度 名桜大学学年暦

令和2年9月29日(火)現在

前学期		
4月	4月1日(月)	学年及び前学期開始
	4月2日(木)~4月10日(金)	新入生ガイダンス(看護学科)
	4月2日(木)~4月14日(火)	新入生ガイダンス(スポーツ健康学科・編入生含む)
	4月3日(金)~4月10日(金)	新入生ガイダンス(国際学群)
	4月3日(金)	新入生学力調査
	4月3日(金)	助産学専攻科オリエンテーション
	4月4日(土)	入学式(中止)
	4月4日(土)	大学院オリエンテーション(午前中)【国際文化研究科(博士後期・修士)・看護学研究科】
	4月6日(月)~4月15日(水)	成績通知・登録関係資料等配付 <看護学科:6日(月)~スポーツ健康学科:8日(水)~国際学群:13日(月)~>
	4月7日(火)~4月10日(金)	在来生オリエンテーション(看護学科・編入生含む)
	4月8日(水)~4月9日(木)	在来生オリエンテーション(スポーツ健康学科)
	4月9日(木)~4月10日(金)	新入生オリエンテーション(全学)
	4月13日(月)	在来生オリエンテーション(国際学群・編入生含む)
5月	5月7日(木)	前学期講義開始
	5月11日(月)~7月31日(金)	4年次臨地実習(看護学科)
6月	6月15日(月)~6月26日(金)	助産学実習Ⅰ(助産学専攻科)
	6月27日(土)	「ケアリング文化実習 戦跡めぐり」(看護学科)
7月	7月2日(木)	オープンキャンパス(助産学専攻科)
	7月11日(土)・18日(土)	「ケアリング文化実習(午前中)」(看護学科)
	7月13日(月)~10月2日(金)	助産学実習Ⅱ(助産学専攻科)
8月	8月3日(月)	1年次「基礎看護実習Ⅰ」<事前ガイダンス>(看護学科)
	8月3日(月)~9月11日(金)	4年次総合実習(看護学科)
	8月14日(金)	大学院修士論文中間発表会、修士論文計画テーマ発表会及び研究生研究計画概要発表会(国際文化システム専攻)
	8月15日(土)	修士論文中間発表会及び後学期オリエンテーション(看護学研究科)
	8月24日(月)~8月28日(金)	学期末試験期間
	8月29日(土)~9月24日(木)	夏季休業
	8月29日(土)~9月24日(木)以内に実施	「インターンシップ(国際学群)・(スポーツ健康学科)」
	8月31日(月)~9月4日(金)	夏季休暇(教職員)
	9月9日(水)	追試験実施期間
9月	9月10日(木)	再試験実施期間
	9月14日(月)~9月24日(木)	1年次「基礎看護実習Ⅰ」(看護学科)
	9月23日(水)~9月25日(金)	3年次臨地実習ガイダンス(看護学科)
	9月24日(木)	2年次キャリアアップセミナー(国際学群)
	9月24日(木)	前学期終了
	9月24日(木)	成績通知書・登録関係資料等配付
	9月25日(金)	後学期開始
	9月25日(金)	オリエンテーション(国際学群・人間健康学部)
	9月25日(金)	大学院オリエンテーション【国際文化研究科(博士後期・修士)】、助産学専攻科

後学期		
9月	9月28日(月)	後学期講義開始
	9月28日(月)~R3年1月29日(金)	3年次臨地実習(看護学科)
	9月30日(水)	9月卒業式・修了式
10月	10月3日(土)・4日(日)	・総合型選抜試験(国際学群)
	10月10日(土)	・総合型選抜試験(人間健康学部 スポーツ健康学科) ・大学院入学試験 10月試験 <国際文化研究科(博士後期課程)・看護学研究科> ・助産学専攻科(地域枠)
	10月11日(日)	・大学院入学試験 10月試験 <国際文化研究科(修士課程)>
	10月28日(水)	インターンシップ報告会(国際学群)
11月	11月1日(日)	2年次キャリアアップセミナー(スポーツ健康学科)
	11月13日(金)	卒業研究発表会(看護学科)
	11月21日(土)	ケアリング実習発表会(看護学科)
	11月23日(月)~12月4日(金)	助産学Ⅲ・母子ケアリング実習(助産学専攻科)
	11月26日(木)・11月27日(金)	MEIO FESTIVAL2020 準備
	11月28日(土)	MEIO FESTIVAL2020
	11月30日(月)	MEIO FESTIVAL2020 後片付け
12月	12月5日(土)	・学校推薦型選抜試験(人間健康学部) ・特別選抜試験(人間健康学部) ・編入学試験(人間健康学部)
	12月6日(日)	・特別選抜試験(国際学群) ・編入学試験(国際学群)
	12月12日(土)	・学校推薦型選抜試験(国際学群) ・助産学専攻科(一般枠)
	12月21日(月)	創立記念日
	12月26日(土)~1月5日(火)	冬季休業
1月	1月6日(水)	後学期講義再開
	1月6日(水)~1月8日(金)	助産管理実習(助産学専攻科)
	1月15日(金)	2年次対象 英語能力試験(午前中)
	1月16日(土)~1月17日(日)	大学入学共通テスト
	1月23日(土)	卒業研究発表会(国際文化教育研究学系)・(経営情報教育研究学系)・(スポーツ健康学科)
	1月24日(日)	卒業研究発表会(観光産業教育研究学系)
	1月29日(金)	大学院修士論文最終試験(口述試験)【国際文化研究科(修士)】
	1月30日(土)~1月31日(日)	大学入学共通テスト
	2月1日(月)~2月5日(金)	学期末試験期間
	2月5日(金)	後学期講義終了
2月	2月6日(土)	大学院入学試験 2月試験 <国際文化研究科(修士課程)> <看護学研究科>
	2月7日(日)	大学院入学試験 2月試験 <国際文化研究科(博士後期課程)>
	2月8日(月)~3月12日(金)	2年次領域実習(看護学科)
	2月8日(月)~3月31日(水)	春季休業
	2月9日(火)	追試験実施期間
	2月10日(水)	再試験実施期間
	2月13日(土)	大学院修士論文最終発表会(看護学研究科)
	2月19日(金)	大学院修士論文最終発表会・修士論文概要発表会・研究生研究計画報告会発表会【国際文化研究科(修士)】
	2月23日(火)	大学院博士課程論文作成計画発表会(2年次 第2回中間発表会)・研究 計画発表会(1年次 第1回中間発表会)【国際文化研究科(博士後期)】
	2月25日(木)	一般選抜試験・前期日程(国際学群・人間健康学部)
3月	3月1日(月)	3年次キャリアアップセミナー(看護学科)
	3月2日(火)	学内病院合同説明会(看護学科・診療情報管理専攻)
	3月12日(金)	一般選抜試験・後期日程(国際学群・人間健康学部)
	3月20日(土)	卒業式・修了式(春分の日)
	3月31日(水)	学年終了及び後学期終了

国民の祝日等		
講義を行わない日	2020年4月29日(水)	昭和の日
	2020年5月3日(日)	憲法記念日
	2020年5月4日(月)	みどりの日
	2020年5月5日(火)	こどもの日
	2020年5月6日(水)	振替休日
	2020年7月24日(金)	スポーツの日
	2020年11月23日(月)	勤労感謝の日
	2020年1月11日(月)	成人の日
	2020年2月11日(木)	建国記念日
	2020年2月23日(火)	天皇誕生日
	2020年3月20日(土)	春分の日
	2020年6月23日(火)	慰霊の日
	2020年11月26日(木)	MEIO FESTIVAL2020 準備
	2020年11月27日(金)	MEIO FESTIVAL2020 準備
	2020年11月30日(月)	MEIO FESTIVAL2020 後片付け
2020年12月21日(月)	創立記念日	
2020年1月15日(金)	大学入学共通テスト会場設営	

**【注】休日及び公休日に講義を行う日について**  
 前学期  
 2020年7月23日(木)「海の日」は火曜日の講義を行う。  
 2020年8月10日(月)「山の日」は月曜日の講義を行う。  
 後学期  
 2020年11月3日(火)「文化の日」は火曜日の講義を行う。

**【注】講義日程の変更について**  
 後学期  
 2020年11月25日(水)は月曜日の講義を行う。  
 2020年12月23日(水)は月曜日の講義を行う。  
 2021年1月12日(火)は月曜日の講義を行う。

## 1. FD(ファカルティ・ディベロップメント)の概要

本学では、教育水準の向上や授業の内容及び方法の改善を図るための全学的なFD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会を設置し、学生による授業評価に加え、教員の資質・教育指導能力のレベルアップへ向けて取組んでいる。

## 2. 実施方法

### (1) 授業評価

授業の内容及び方法の改善を目指して、学生に対し授業に関するアンケートを実施し、その評価結果を委員会及び事務局で集計する。評価結果は教員へフィードバックし、学生にとってより魅力のある授業の実施や研究指導内容等の充実など、教員のティーチングスキル向上を目指す。

### (2) 講習会・研究会

教育研究上の目的に応じ、外部より講師を招聘して講習会・研究会を開催することとする。また、教員を他

大学や学外団体等が主催する各種講演会へ講師として派遣することも予定している。積極的に他大学や学外団体と交流し、意見や情報の交換を行うことによる相互啓発が、教育者としての意識を喚起する効果を期待している。

### (3) 研修会

教育の質向上等に関連したテーマを設定し、教員が話題を提供するFD研修会、外部講師を招聘した研修会、ワークショップやグループディスカッション形式を取り入れた研修会を実施している。

## 令和元年度 FD活動実績

### FD研修会

回数	日時・場所	「テーマ」・講師
1	2019年5月29日(水) 学生会館SAKURAUUM 3F 大講義室B	名桜大学情報セキュリティポリシー、ICTの活用について 1 名桜大学情報セキュリティポリシー 発表者:メディアネットワークセンター長 天願 健 2 .学内メールシステムについて 発表者:メディアネットワークセンター保守員 3 平成30年度前学期・後学期 アクティブラーニング及びICT導入調査結果報告 発表者:国際学群国際学類 教授 中里 収 4 ICTの活用例①ユニバーサルパスポートを用いた授業について 発表者:人間健康学部スポーツ健康学科 上級准教授 遠矢 英恵 5 ICTの活用例②授業サポートツール(Google Classroom)の紹介 発表者:リベラルアーツ機構 准教授 立津 慶幸
2	2019年7月26日(金) 環太平洋地域文化研究所1F 研修会議室	「科研費の採択なくして大学運営なしの時代を迎えて」 講演者:名古屋市立大学 学長 郡 健二郎
3	2019年10月30日(水) 学生会館SAKURAUUM 3F 大講義室B	事例に学ぶ障がい学生支援～発達障がい学生支援を中心に～ 講演者:信州大学 教授 高橋 知音
4	2019年11月28日(木) 学生会館SAKURAUUM 6F スカイホールB	アカデミックアドバイザーとしての指導教員のあり方 分科会形式(ディスカッション) 分科会A「ゼミ指導経験からの接し方、課題」 ファシリテーター:国際学類 上級准教授 坪井 祐司 分科会B「オフィスアワー、個人相談の経験からの接し方、課題」 ファシリテーター:スポーツ健康学科 准教授 山本 健司 分科会C「講義の提供経験からの接し方、課題」 ファシリテーター:看護学科 教授 小西 清美 分科会D「部活、サークル顧問等からの接し方、課題」 ファシリテーター:国際学類 教授 佐久本 功達 分科会E「キャンパス内外の経験からの接し方、課題」 ファシリテーター:国際学類 教授 林 優子(教務部長)
5	2020年1月29日(水) 学生会館SAKURAUUM 3F 大講義室B	入学前教育の実践とその課題について 講演者:滋賀大学 特任准教授 児玉 英明
6	2020年2月13日(木) 学生会館SAKURAUUM 3F 大講義室B	アメリカの大学における学者・研究者のあり方 講演者:名桜大学客員教授(ハワイ大学マノア校教授)吉原 真理

※FD (Faculty Development): 教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称

## 自己点検・評価、認証評価の取組み

### 自己点検・評価

名桜大学は、教育研究の水準の向上に努め、教育研究活動の活性化と社会的責務を果たすため教育研究活動及び大学運営等について自己点検・評価を実施しています。

主な取組みは、自己点検・評価活動を通して

- ・学部組織及び全学的委員会の年次報告書の作成
- ・自己点検・評価報告書の作成
- ・改善・向上(将来計画)の達成状況の確認
- ・認証評価の受審
- ・自己評価等の結果の公表

を行い、自己改革、改善との連動・連携を重視し、大学の自主的な質保証機能を高めるために実施することです。

### 認証評価

平成16年4月から、学校教育法第109条により、全ての大学は教育・研究等の状況について7年毎に文部科学大臣が認証する評価機関の評価を受けることが義務付けられました。

認証評価は、大学の自己点検評価書に基づいて実施されます。



名桜大学は、平成26(2014)年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、「評価の結果、名桜大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定する」との通知を受けました。

## 交通アクセス ACCESS

### 高速バス【那覇空港→名護市バスターミナルまで】

那覇空港到着ロビーを出て、バス乗り場から高速バスに乗車します。

【名護バスターミナルまで】

所要時間：約1時間45分、バス乗車料金：2,230円

### タクシー【那覇空港→名桜大学まで】

那覇空港到着ロビーを出て、遠距離タクシー乗り場から乗車します。

【名桜大学まで】

所要時間：約1時間30分～2時間

料金：約15,000円

※上記の金額は沖縄自動車道の料金を除く

※初乗り560円（1.75kmまで）以降365mごとに70円プラス



### レンタカーなどお車での移動【那覇空港→名桜大学まで】

那覇空港近隣のレンタカー各社からは、西海岸を延びる国道58号を北上するコースと沖縄自動車道を利用する方法があります。

【一般道路（58号北上）の場合】

所要時間：約1時間30分～2時間

【沖縄自動車道の場合】

所要時間：約1時間30分（那覇IC～許田ICまで1,040円）

### 送迎バス（無料）【名護市内】

名桜大学では、送迎バス（無料）を運行しています。時刻表は本学ホームページの名桜大学送迎バス運行時刻表をご確認ください。（ただし、祝日・夏季・冬季・春季休業中等、大学休学時は運休します。）

### 名桜大学アクセスマップ（名護市内）



※1～14は名桜大学送迎バス（無料）の各停留所となりますので、詳しくは本学ホームページをご覧ください。



全国で最も開花の早い桜の名所沖縄県名護市にある名桜大学のシンボルマークは、四角の中に桜の花びらが描かれています。桜の五枚の花びらは、真・善・美・聖・健の人類普遍の価値を象徴し、途切れのない四辺は、四海同胞を意味しており、平和・自由・進歩の建学の精神を、沖縄県北部やんばるから世界に発信する核となろうとする象徴です。

---

〒905-8585 沖縄県名護市字為又1220-1 TEL.0980-51-1100 FAX.0980-52-4640  
E-mail:info@meio-u.ac.jp <https://www.meio-u.ac.jp/>



公式HP



公式Facebook